

三井物産「内地支店長会議々事録」(明治三三年) 第三回・  
 第四回

吉川 容・大島久幸

前号に引続き、三井物産「内地支店長会議々事録」(明治三三年)の第三回(第三日目)分と第四回(第四日目)分を翻刻掲載する。第三回分の一部を吉川が、第三回分の一部と第四回分を大島が翻刻したうえで、両名が二回分を通した原本照合を行った。また原本照合に当っては、秋葉直子氏ならびに鈴木邦夫氏に御協力いただいた。

凡例

一、原則として漢字は通用の字体を用いたが、固有名詞や慣用句などで原本通りとした場合もある。

一、合字はカタカナに改めた。

一、「( )」内は翻刻者による注記である。

一、判読不能の文字については□で示すか、「( )」内で注記した。

一、原本では発言者名を一字ないし二字分上げて記載しているが、翻刻では冒頭に「◎」を付加したうえで発言者名をゴチで表記した。

一、表9は原本では本文中で横に寝かされた横書き罫線無し

の表であるが、収録の都合上独立した横書きの表として作成した。表の番号は翻刻に際して付したものである。誌面の都合により原本での当該箇所に近い位置に配置し本文中に原本
---

での位置を注記した。

一、原本の丁の区切りを【】内に示した。原本での丁数は用紙右下（原本は袋綴製本されているのでその状態では左頁のど側下）に漢数字もしくは算用数字で記されており、その数字は会議各回毎（回によってはさらに午前・午後と思われる区分毎）に更新されている。参照の便を考え【】内には回数（午前・午後）の区分がある場合は「一」「二」で区分と丁数（算用数字）を記しさらに用紙前半（袋綴じでは左頁となる）の場合は「a」後半（袋綴じでは次の右頁）の場合は「b」を付した。

本史料の翻刻を許可くださり諸々ご高配を賜った公益財団法人東洋文庫に感謝申し上げます。本史料の所在を翻刻者にご教示くださり翻刻にあたってご助言をいただいた鈴木邦夫氏に記して御礼申し上げます。

〔翻刻原本 公益財団法人東洋文庫所蔵 三井物産〕内地支店長会議事録〕請求記号六四二〕

第三回ノ一 一月二十日

【三回ノ一 1 a】

◎上田 昨日ニ引続キ会議ヲ開クヘシ本日ハ正午頃迄専務理事

事差支アリ出席無之故余ニ於テ暫ク会長席ヲ汚スヘシ

先ツ左ノ議案ニ付御協議致スヘシ

一、清国、朝鮮、南洋各地方ニ出張員ヲ常置スルノ必要得

失及其場所

清韓兩國ノ各開港場ニ於ケル貿易ハ近來欧米各國ノ最モ注目スル所トナリ各自銳意其設備ヲ為セルノ際ニ当リ我社ハ昨年仁川、芝罘、厦門及ヒ漢口ニ常置出張員ヲ置キ商売ノ拡張ヲ計レリ而シテ今後モ尚各要地ニ出張員ヲ派遣シテ益々業務ノ伸張ヲ計ラントス即チ遼東半島ニ於ケル新開港地ノ商売、元山津ニ於ケル北部朝鮮露領西比利亞ノ貿

【三回ノ一 1 b】

易亦不遠米國ノ版図トシテ種々ノ新事業起ルヘキ馬尼刺等ハ我社カ今日ヨリシテ出張員ヲ常置シ相当ノ業務ヲ經營スヘキ地ナリト信ス之常置員ナルモノハ即チ当会社ノ代表者ニシテ其一挙一動ハ直チニ会社全体ニ関スルモノナレハ其

出張員ノ責任ハ実ニ容易ノモノニアラス從テ其派遣スヘキ人物ノ選択及存廢ハ大ニ慎重ヲ要スルヲ以テ其場所及其取扱フヘキ商務ノ輕重ヲ講究セント欲ス

既ニ御承知ノ如ク清國ニ於テハ厦門并芝罘ニ出張員アリ又漢口ニ於テモ鉄、石炭并棉糸ノ商売ノ為メ藤原氏ヲ出張員トシテ常置セシムルコトナリタリ此他ニ尚出張員ヲ置くノ必要ナキヤ又朝鮮ニ於テハ既ニ仁川ヘ藤木秀次郎氏ヲ出張セシメアルモ此外ニ尚元山津ヘモ出張員ヲ派出セシメントノ

【三回ノ一 2 a】

内議アリ又遼東半島ヘハ過般長崎支店長松尾氏ヲ出張視察セシメタル結果今日ハ未タ目星シキ金額ノ注文ヲ引受ケ得ラレサルモ向後大ニ見込アリ即チ今日ハ少々面倒ニテモセメント石炭等纏リタルモノ、外セメント樽瓦ノ如キ其他小口雜貨ノ如キ何レモ親切ニ取扱ヒ置ケハ大ニ先方ノ氣受ヲ宜クシ信用ヲ増加シ他日大高ノ商売ヲ掌握スルノ階段トナルヘシト考フ故ニ旅順口大連灣地方ヲ兼ネテ出張員ヲ常置スルコトニ決シタリ右ハ既ニ出張員ノ派出シアルモノ及派出ニ決シタルモノニ付テ述ヘタルモノナルカ此他ニ尚出張員ヲ派出セシムルノ必要アル場所ナキヤ御考ヲ承リタシ

◎飯田 元山津二人ヲ派出スルコトハ略ホ御決定ニ相成リタ

ルヤ

◎上田 此点ニ付テハ追々諸君ヨリノ御申出モアリ旁派出ノ必要アルヘシト

ノコトニ大略内決セリ

【三回ノ一 2b】

◎北村 元山津ハ未タ充分ニ開ケ居ラス金融機関ノ設備ナキハ勿論陸上ケ等ノ工合モ面白カラスト聞キ及ヒ居リタリ此辺ハ御調付キ居レリヤ

◎上田 機関ハ備ハレリト云フヲ得ス船舶ハ浦塩斯德行ノ郵船カ寄港ス蓋シ此機関ノ備ハラサル丈ケ夫レ丈ケ面白味モ多キ次第ニテ若シ機関備ハリ居ルトキハ何人ニテモ自由ニ往復シテ商売ヲ為スヘキモ機関備ハラサル為メ從來余リ商業上ノ交通ナシ從テ棉系ノ売込等案外多望ナルヘシト考フ

◎福井 日本ヨリ朝鮮ニ輸出セララル、棉布ハ合計百二十万円ナルカ其七分通りハ元山津へ輸送セララル、モノナリ從テ元山津ノ商売ヲ掌握スルトキハ朝鮮ニ於ケル日本棉布ノ商売ノ關鍵ヲ握ルコト

トナルヘシ且愛知県ノ人ニテ是迄元山津トノ棉布商売ニ熱心從事シ居リタル人カ物産会社ニ依頼シテ一層其商売ノ拡

【三回ノ一 3a】

張ヲ計リタシトノ申出ヲ為シタリシ旨耳朵ニセリ旁以テ元山津二人ヲ派出スルコトハ必要ナリト考フ

◎上田 仁川ニ藤木氏出張以來棉系商売上大ニ功能アリタリトノコトヲ聞テ「二字抹消カ」而シテ釜山へハ兵庫ヨリ先年石油ヲ売込ミ米ヲ買取ル為メ人ヲ派出シ居リタルモ其後米ノ買入ヲ止メタルトキ出張員モ引返シタリ然ルニ釜山ヨリ東側ニテ元山津地方二人ヲ派出シ置カサレハ棉系布商売上到底充分ノ仕事ヲ為シ能ハストノ考ヲ起シ同地ニ出張員派出ノ事ヲ内決シタル次第ナリ然レトモ朝鮮貿易ニ就テハ大阪支店最モ関係深キ故充分飯田氏ノ御意見ヲ承リタシ能ハサ

【三回ノ一 3b】

ルモ今日迄ノ処ニテハ朝鮮ノ貿易ハ總テ仁川ヲ通シテ為シ得ヘシト信シ居リタリ即チ畜ニ棉系布ノ商売ノミナラス更ニ一步ヲ進メテ米又ハ豆ノ商売ヲ為ストスルモ仁川ニ於テ之カ取扱ヲ為シ得ヘキモノト考ヘ居リタリ然ルニ福井氏ノ話ニ依レハ棉布ノ輸入額中七分ハ元山津ニ入ルモノナリトノ事故左ル重要ノ関係アル所ナレハ勿論同地ニ出張員ヲ派遣スルカ又ハ代理店ヲ設ケテ連絡ヲ付クルコト必要ナリト考フ

◎呉 余毛朝鮮ノ事ニハ詳カラサルヲ以テ詳細ニ意見ヲ述フ  
ルコト能ハサルモ大体ニ付テ一言センニ從來日本人ハ朝鮮  
ヲ外国視シタルノ嫌アレトモ朝鮮ハ実ニ政治上并商業上密  
接ノ關係アル所ナレハ之ヲ日本化セシメ単ニ棉糸布ノミニ  
止ラス其他ノ物品ニ付テモ凡テ日本品ヲ嗜好セシムル様仕  
向ケサルヘカラス從テ出張員ヲ朝鮮ニ増派

スルコトニハ大体ニ於テ賛成ス

【三回ノ一 4 a】

◎上田 元山津へ鉄道連絡スルカ又ハ汽船ノ往復頻繁ナルト  
キハ仁川ヨリ商売ヲ営ムコトモ出来得ンモ今日ハ交通極メ  
テ不便ナレハ棉糸布商売ノ為メニモ元山津へ人ヲ派スル方  
可ナリ又前公使加藤増雄氏ノ説ヲモ叩キタルニ釜山仁川等  
ニハ日本人沢山ニ入込居リ他國ノ開港場へ入込ミタルカ  
如キ感ナリ恰モ我國內ニ在ルカ如キ心地ス即チ居留地ヲ歩  
メハ腰ノ曲リタル老嫗ヤ垂髻ノ子供アリ一見日本内地ニ異  
ナラス然レトモ資産家其他有力ナル商人ニ乏シク多クハ一  
獲千金ノ目的ヲ以テ渡航シタル者ナレハ其行動甚タ感心ス  
ヘカラルモノアリ為メニ朝鮮人ハ強チ日本人ノ来航ヲ厭  
ハサルモ去リトテ勿論歡迎セス殊ニ甚タ不都合ナル事ニハ  
時々詐欺手段ヲ以テ朝鮮人ヲ苦シマシムルモノアリ為メニ  
信用ヲ失墜スルヲ免カレス之

【三回ノ一 4 b】  
ニ反シテ米國人其他ノ外國人ノ有様ヲ見ルニ大抵相当ノ資  
産家ニテ其談話ニモ夫々憑拠アリ有望ナル事業ニハ資金ヲ  
投スルヲ惜マス自然朝鮮人ハ外國人ヲ信用シテ日本人ヲ信  
用スルコト薄シ夫ノ人參商売ニ付テモ日本人ノ遣リ方ハ甚  
タ面白カラス其為メ一時日本人ノ手中ニ取メ得タリシ本商  
売モ再ヒ日本人ノ手ヲ離レントスルノ傾アリ又朝鮮皇室ニ  
於テモ有力ナル人來リ着実ナル事業ヲ經營セントナレハ隨  
分其筋ノ人ヲシテ耳ヲ傾ケシムル迄ニ漕キ付クルコトハ容  
易ナリ故ニ三井家ノ如キハ須ラク立派ナル人ヲ平城辺ニ常  
置セシムルコトニ致シタシ決シテ失望スルカ如キ結果ヲ持  
来スコトハナカルヘシ云々ノ談話モアリタリ之ヲ要スルニ  
大体ニ於テ人ヲ派出スルコトハ決シテ不利ニ非ス棉糸并棉  
布ノ取扱ノミトスルモ決シテ商売ノ不足ヲ憂ヘサルヘシ故  
ニ差向キ元山

【三回ノ一 5 a】

津ニハ出張員ヲ派出致度考ナリ  
◎飯田 呉氏ノ説ノ如クセハ朝鮮并支那ノ何レノ地方へ人ヲ  
出スモ可ナリトノ論結トナルカ勿論人ヲ出セハ出シタル丈  
ノ事ハアルヘキモ一時ニ各地方ニ出張員ヲ派出シ得ヘキモ

ノニアラス殊ニ一時二人ヲ得ルコトハ非常ニ困難ノ次第ナレハ出張員ヲ派出スルニハ先以テ最モ見込多キ場所ヲ先ニセサルヘカラス大阪辺ノ俚諺ニ朝鮮商売ヲ三商七盜ト云フコトアリ即チ七盜ニアラサレハ商売成立タサルヲ云フ如此ハ固ヨリ小商人ノ事ニシテ堂々タル物産会社ノ仮リニモ念頭ニ浮フルコトサヘ為スヘカラスルモノナレハ這般ノ商人ト対峙シテ確實ナル營業ヲ為スコトハ非常ニ困難ナリト云ハサルヘカラス現ニ仁川出張員ノ如キ相当ノ利益ヲ挙げ且商売高モ可ナリニアリト云フ迄ニ進歩スルハ容易ノ業ニ非スト思惟セラル斯ル有

【三回ノ一 5b】

様ナルヲ以テ朝鮮二人ヲ出スニ当リテハ元山津ナルト將タ新開港場タル木浦馬山浦等ナルトヲ問ハス十分ノ取調ヲ為シタル後ナラテハ手ヲ下シ難シト考フ何カ參事ニ於テ朝鮮貿易ニ付キ取調ヘラレタルモノアレハ承リタシ

◎**白井** 朝鮮貿易ニ付テハ參事ニ於テモ別ニ取調ヘタルモノナシ但先年服部山本兩氏出張ノ節取調ヘタル報告書アリ之ニ領事ノ報告ヲ參酌セハ大要ヲ知悉シ得ヘシ  
元山津ト平壤ト何レカ商売上見込アルヘキヤ

◎**上田** 平壤モ勿論見込アルヘキモ仁川京城ヨリ距ル遠カラス交通亦容易ナルヲ以テ既ニ商人ノ入込ミタルモノ多ク余

リ面白キ商売モナカルヘシ反之元山津ハ交通不便ニシテ何人モ未タ余リ手ヲ下サ、ルノミナラス棉糸布ノ商売ハ朝鮮中第一位ヲ占ムル

【三回ノ一 6a】

ヲ以テ若シ出張員ヲ派出スルトセハ元山津コソ然ルヘシト考ヘタル訳ナリ併シ尚何レカ最モ見込アルヘキヤ調査審究ノ上決スルコトトナスヘシ

◎**遠藤**

元山津ニハ取引先一二軒アリ積送ルモノハ石油ニシテ先方ヨリ輸入スルモノハ大豆ナリ大豆ハ朝鮮中ニ於テ最モ多ク元山津ニ出廻ハルモノニシテ岡崎八町味噌ノ原料ハ元山津ノ大豆ニ限レリ故ニ同地ニ常置員ヲ派出セラル、トキハ棉糸商売ノ傍大豆ノ取扱ヲ為スコトヲ得ヘク又元山大豆ノ取扱ヲ為スカ為メ牛莊大豆ヲ売込ムノ手蔓トナルコトモアルヘシト考フ三州ノ岡本八左エ門氏ハ帆前船ヲ以テ元山津トノ商売ヲ營ミ往航ニハ金物、棉布、石油等ヲ積行キテ復航ニハ大豆、沙金并牛角等ヲ積來リ居レリ大豆ハ即チ八町味噌ノ原料トシテ売込ムモノニテ注文常ニ幅漕シ却テ注文ニ応シ切レサル程ナリト云フ

【三回ノ一 6b】

◎**寺島** 岡本氏カ最初棉布ヲ売込ムニ当リテハ大ニ辛苦ヲ為

シタルモ兩三年間勉強ノ結果追々其販路ヲ拡張シ今日ハ一  
ヶ年十五万疋即チ三十万反ノ棉布ヲ売捌ク趣ニテ岡本ノ商  
標ニテ通ル迄ニ進ミタリト云フ

◎長谷川 從來会社ニ於テ出張員ヲ派出スルニハ先以テ其地  
二人ヲ出張セシメテ視察ヲ遂ケシメ其報告ニ基キ果シテ見  
込アルコトヲ確カメタル上初メテ出張員ヲ常置セリ蓋シ出  
張員ハ会社ヲ代表シテ仕事ヲ為スモノナレハ其行為ニ付テ  
ハ会社自カラ責任ヲ帯ヒサルヘカラス從テ出張員派出ニ付  
テハ須ラク慎重ノ注意ヲ用ヒサルヘカラス然ルニ元山津へ  
ハ棉布類カ沢山行クソウナリト云フカ如キ抛所ナキ薄弱ナ  
ル理由ニ依リテ出張員ノ派出ヲ決スルコトハ大早計ニアラ  
サルカ殊ニ或ル人カ該地方トノ商売ヲ為シテ結構ナル旨申  
居

【三回ノ一 7a】

リタリトテ他ニ是ヨリ一層見込アル場所之アルヘキヤモ知  
ルヘカラス勿論朝鮮人ハ総テ木綿ヲ着用スル人種ナレハ同  
地ニ対スル商売ハ固ヨリ着目スヘキモノナルモ其仕事ノ難  
易并商売ノ大小等ヲ深く考査スル所ナカルヘカラス故ニ朝  
鮮へ出張員増遣ノ事ハ釜山及元山津ノ実情ヲ充分視察調査  
シタル上ニ御決定相成リテハ如何

◎上田 実ハ其辺ノ御意見モ承知シタキ為メ御諮問ニ及ヒタ

ル次第ナレハ尤モナル御意見トシテ聞き取り置クヘシ  
次ニ清國ノ方へ移ルヘシ

◎福井 余ハ一体商売ヲ為スニハ可成其土地ノ人ト直接取引  
ヲ為ス方便利ニシテ且実効ヲ奏スルコトモ多シト考フ例へ  
ハ日耳曼人又ハ亜米利加人カ商売ヲ為スニ付テモ皆然リ而  
シテ土地ノ者ト直接ニ商売ヲ開キ一廉ノ商売トナリ支店又  
ハ出張所ヲ設ケ然ルヘシ

【175a】

【三回ノ一 7b】

トノ目途立チタル上ニテ初メテ店舗ヲ設クヘシ乍去清國ト  
朝鮮トハ殆ント日本内地同様ト考ヘテ取引ヲ為スヘク從來  
恰モ外国ノ如ク見做シタルハ其當ヲ得ス即チ清國又ハ朝鮮  
トハ直接ニ取引ヲ為サントスルモ可然引合先ナキヲ以テ広  
ク出張員ヲ差出シ取引ノ衝ニ當ラシムヘシ反之歐米ニ対シ  
テハ可成其土地ノ商人ト直接商売ヲ開キ愈必要ニ迫ル迄ハ  
人ヲ常置セシメ若クハ支店出張所等ヲ設クルノ要ナシト考  
フ

◎上田 御氣付ハ尤モニテ当社ノ方針モ亦容易ニ店舗ヲ開カ  
ス前年香港ニ於テ三ヶ年間太古洋行ニエヂエントヲ托シタ  
ルカ如キ將タ新嘉坡支店芝罘出張員ノ如キモ久シク其土地  
ノ商人ト直接取引ヲ為シタル末初メテ開店又ハ常置シタル

カ如キ実例既ニ之ヲ証セリ尚談カ岐路ニ入りタルモ只今清  
国へ出張員ヲ派出スルコトノ要否ニ

【三回ノ一 8 a】

付テ詳議シツ、アル際故可成其事ノミニ話ヲ纏メタシ

◎吳 支那ニ出張員ヲ派遣セラル、ニ付テハ何レ其場所ニ就  
テ充分調査セラル、コトナランカ御参考迄ニ余ノ考ヲ略述  
セシニ揚子江沿岸中漢口ニハ既ニ出張員アル故之ヲ省キ江  
西省ノ開港場ナル九江ニハ出張員ヲ置クノ価値アリト考フ  
蓋シ同地ハ上海支店ヨリ其商売取引ヲ為シ得ヘシトノ説ア  
ルヤモ知ラサレトモ兎モ角九江ハ江西省産物ノ出入スル衝  
路ニシテ鉄石炭等ノ鉱物ニ富ミ日本并英國モ同地方ニ注目  
シツ、アル程ナレハ揚子江沿岸中ニ於テハ重要ナル位置ヲ  
占ムルモノト謂フヘシ其次ハ上海ニ近キ鎮江ナリ同地ハ南  
京ノ入口ニシテ南京ニ入ル貨物ハ悉ク此処ニ集ル且北京ヨ  
リスル運河并杭州ヨリスル運河モ亦集中スルヲ以テ貨物ノ  
一大集散地ナリ故ニ出張員ヲ常置スルノ価値アリト考フ

【三回ノ一 8 b】

◎上田 小室氏ヨリモ丁度吳氏ノ説ノ如ク旧臘九江并南昌ニ  
人ヲ派出致シタキカ適當ナル人物ナキヤト申来リタリ  
大阪ニテハ棉糸布売捌ノ為メ支那内地ニ人ヲ派出セントノ

考ナキヤ

◎飯田 充分其考アリ既ニ北清ニハ天津牛莊芝罘等ニ支店又  
ハ出張員アリ之レニテ差支ナキモ四川筋ニテ重慶ニ至ル迄  
ノ間ニハ僅カニ一ノ漢口ニ出張員アルノミナレハ九江鎮江  
等ハ最モ差向キ必要アリ更ニ進シテ重慶迄ノ重ナル処へハ  
夫々人ヲ派出スルコトニ致シタシ上海ノ商売ハ兎角北清ノ  
方面ニ偏シ四川地方ニ伸ヒサルノ憾アリ故ニ棉糸ノ将来ヨ  
リ推ストキハ北清ハ天津牛莊芝罘ノ三ヶ所ニ於テ十分其販  
路ヲ擴張スレハ別ニ新施設ヲ為スノ要ナキモ四川筋ニハ大  
ニ力ヲ致シ從來印度棉糸ノ占領シ居タル範圍ヲ蚕食セサル  
ヘカラス故ニ四川筋ニテ重慶ニ至ル迄ノ

【三回ノ一 9 a】

間ニ於ケル要港ニハ漸次出張員ヲ派出セラレンコトヲ希望  
ス若シ如此スルトキハ甯ニ棉糸ノミナラス大ニ棉布ノ商売  
ヲモ擴張スルコトヲ得ヘシト信ス

◎上田 南清方面ニ於テハ別ニ出張員ヲ派出スル要ナキカ税  
関ノ統計表ニ依レハ汕頭ニ輸出セラル、棉糸ハ尠少ニ非ス  
同地ノ商売ハ香港ヨリシテ經營シ得ヘキヤ將タ出張員ヲ派  
出スルノ要アリヤ

◎吳 南清ハ福建広東広西ヨリ東京地方ニ至ル迄ノ区域ヲ含  
ム福建省中ニ於テハ既ニ廈門ニ出張員アリ従前外人ヲ以



テ代理店トナシ居リタル時代ト異ナリ商売大ニ進ミ昨年度ニ於テモ三千有余俵ノ棉糸ヲ販売セリ汕頭ハ広東省ノ北方二位スル港ニシテ南清中広東二次テ最モ棉糸ヲ消費スル所タリ

【三回ノ一 9b】

殊ニ其後背ニ潮州府ヲ控ヘ其間機業極メテ盛ニシテ頻リニ棉布ヲ織リ台湾其他南洋諸島海峡殖民地等へ輸出セリ台湾向キハ近時日本製品ノ為メ大ニ其販路ヲ侵奪セラレタルモ南洋并海峡殖民地々方ニ輸出セラル、モノ少ナカラス而シテ汕頭ニハ商売ノ盛ナル割合ニハ外国商館少ナク港湾并陸上ノ設備モ不完全ニシテホテルノ如キモ適當ナルモノナシ乍併段盛ナル商業地ナレハ我社ニ於テ出張員ヲ常置スルトキハ必スヤ好結果ヲ奏スヘシ殊ニ同地ハ牛莊ト大豆并大豆粕商売頻繁ナレハ支那人ト競争シテ牛莊大豆并大豆粕ヲ同地方ニ販売スルコトトセハ困難ハ困難ナルヘキモ一廉ノ商売トナルヘキ望アリ且燐寸ノ商売モ助成セシムルコトヲ得ヘシ厦門ニ於テモ近来燐寸ノ商売ハ發達シ鯉印燐寸ハ立派ナル一商品トナレリ

香港ヨリ北ニハ汕頭ノミナルモ進ンテ西ニ入レハ梧州ト称

【三回ノ一 10a】

スル内地ノ開港場アリ同所ハ内地ニ入り込ミ居ル為メ海洋ヲ航行スル船舶ハ進航スルヲ得ス故ニ荷物ハ香港ヨリ河船ニ積替ヘテ輸送セサルヘカラス旁出張員ヲ置クモ他ノ開港場ニ於ケルカ如ク盛ニ商売ヲ經營スルコト能ハサルヘキカ又東京并海防地方ニハ日本棉糸ノ輸入セラル、モノ少ナカラサルヲ以テ此辺ノ二三港(ハノイノ如キ)ハ取調ノ価値アルヘシ

又広西湾バクホウニ北海ト称スル所アリ当時仏領ナルカ之ヨリ三四十哩ノ奥ニ南甯ト唱フル場所アリ広西省内ニ於テハ梧州ニ優ル市場ナリト云フ余ハ实地踏査セサルモ西洋人ノ旅行記ニ徴スルモ亦支那人ノ言ヲ聞クモ疑ナキモノ、如シ梧州并南甯ハ雲南ヘノ通路ニシテ日本十手棉糸ハ雲南ヘモ販路ヲ有スルニ依リ若シ梧州

【三回ノ一 10b】

南甯等二人ヲ派出スルトセハ広西并雲南地方ニ対スル棉糸商売ヲ拡張シ得ヘシ尤モ南甯ハ開港場ニ非サルカ故ニ出張員ヲ常置スルニハ及ハス単ニ視察員ヲ派出スレハ可ナランカ

◎上田 松尾氏ニ承り度ハ長崎ト浦塩斯徳トノ商売ナリ

◎松尾 浦塩斯徳ヘハ米ヲ輸出セリ但シ之ハ朝鮮米ト日本米トノ直段ノ高下ニ依リ消長アルモノニシテ若シ日本米割高

ナルトキハ朝鮮米輸入セラレ又朝鮮米不作ナレハ日本米輸入セラル又米ト共ニ大麦モ輸入セラル之ハ精ケテ馬糧ニ供ス此他麦粉ハ直接米国ヨリ輸入ス曩ニ長崎ニ於テ浦塩斯徳ヲ目的トスル麦粉会社起リタルモ麦粉不良ノ為メナルカ将タ浦塩斯徳ニ於ケル買方思ハシカラサリシ故ニヤ麦粉会社ハ手ヲ引キテ麦粉器械ハ運転ヲ中止シツ、アリ之ヲ要スルニ格別ノ商売ナシ加之露国ニ於テ愈総

【三回ノ一 11 a】

督ヲ旅順口ニ置クトセンカ浦塩斯徳ハ其管轄ノ下ニ属スベキヲ以テ向後盛大ニ赴クヘシトハ思考セラレス最モハバロフカトノ鉄道全通セリ浦塩斯徳ヲ経テニコライスク等へ盛ニ糧食ヲ〔印字が薄くニ文字ほど判読不能〕スヘシトノ説モアレハ十分本社ニテ御取調ヲ仰キタシ今日ノ処ハ〔同右〕トノ間ニ於テ格別経営スヘキ商売ナシ

◎遠藤 従来浦塩斯徳へハ長崎ヨリ白米ヲ輸出シタルコトアルモ〔同右〕ハ仁川ヨリ粃米ヲ磨擦米トシテ浦塩斯徳へ送りツ、アリ而シテ仁川ノ米ハ兵庫へ来リ壱石ニ付日本米ヨリ壱円三十銭安キヲ以テ浦塩斯徳へ送ルモノハ長崎ヨリ日本米ヲ送ルニ比シテ壱石ニ付式円位安直ニ当ルヘシ従テ朝鮮飯令少々ノ不作ナリトモ向後長崎ヨリ浦塩斯徳へノ日本米ノ輸出ハ見込ナカルヘシ

◎上田 西比利亞鉄道全通ノ曉ニハ浦塩斯徳モ立派ナル港トナルベク大

【三回ノ一 11 b】

連湾開港ノ為メニ衰頹ヲ来タスカ如キコトナカルヘシ尚此点ハ取調ヲ要ス

◎飯田 要スルニ支那并西比利亞方面モ鉄道ノ關係如何ニ依リ大ニ変化ヲ来タスヘク且支那鉄道ノ開発ハ三十年間ノ歴史ヲ五ヶ年間ニ短縮スルノ結果トナルヲ以テ速ニ取調ニ着手セサルベカラス

◎上田 南洋馬尼刺、東京、盤谷方面ニ対スル長谷川氏ノ御意見ヲ承知致シタシ

馬尼刺ノ商売ハ今日ノ処重ニ砂糖ト石炭トノ關係ニテ出来得ルナレハ一名出張員ヲ派出致度考ナルモ適當ナル人ヲ得サルト人手不足ナルトノ為メ荏苒今日ニ至レリ惟フニ米國非律賓間ノ競争モ遠カラスシテ平定ニ帰スベク然ル上ハ米國ハ兵卒一萬位ヲ駐屯セシメテ守備隊トシ港湾其他ハ大ニ資金ヲ投シテ

【三回ノ一 12 a】

改造ヲ計ルナルヘク又澳太刺亞トノ關係モ生スヘキヲ以テ毎ルヘカラサル商業地トナルヘシ故ニ此際大ニ注目スヘキ

所ト考フ

◎長谷川 馬尼刺ハ西班牙ノ所屬ヨリ米國ノ所屬ニ移ル大変化ノ時代ナレハ之カ取調ノ必要ヲ感シ吳氏香港支店長タルノ日小林正直ヲ同地ニ派遣シテ取調ヲ為サシメ余吳氏ノ後ヲ襲ヒタル後モ商売上ノ用事アリテ山本庄太郎ヲ派出シ取調ヲ為サシメタリ然ルニ時恰モ戰時中ニ屬シタルヲ以テ詳細ナル調査ヲ為シ能ハサリシモ要スルニ米國カ非律賓ヲ其所屬ト為シタル上ハ巨資ヲ投シテ諸般ノ經營ヲ為スヘク就中第一ニマニラ、イロイロ及セブニ於ケル砂糖商売ニ變革ヲ來タスヘシ從來西班牙政府ノ政策ハ總テ之ヲ自然ニ放任シ地方ノ僧侶ヲシテ金ヲ取ラシメタルカ如キ有様ナリシモ米國ニ於テハ大ニ之カ啓發ヲ計リジャバノ方法ニ倣フテ砂

【三回ノ一 12b】

糖ノ耕作ヲ為サシメ製造品ニハ夫々階級ヲ付スルナルヘク自然買入ノ信用ヲ増スニ至ルヘシ殊ニ馬尼刺ノ砂糖ハ日本向ニ適當シ精製モ亦容易ナレリ爪哇糖同様大ニ日本ニ輸入セラルヘク加之爪哇糖ノ歐洲ニ輸出セラル、ト馬尼刺ノ砂糖カ歐洲ニ輸出セラル、ト便不便ノ差少ナカラサレハ日本ヘハ重ニ馬尼刺糖ノ輸入ヲ見ルニ至ルヘシ然ルニ曉ニハ是迄通り馬尼刺ニ在ル二三会社ト引合ヲ為スヘキヤ將タ直接地元買付ヲ計ルヘキヤ大ニ研究ヲ要ス

砂糖商売ニ次クハ「ヘンプ」ノ商売ナリ是迄ハ二個ノ製糖会社ノミヲ相手トシテ取引シタルニ止マリ從テ日本ヘノ輸入ハ少ナカリシモ向後ハ追々取引成立スヘシ一昨年来ハ戰争ノ為メ「ヘンプ」ノ出ツル沿海諸港ヲ封鎖セラレタルヲメ取引殆ント成立セサリシ  
次ニ取引アルハ石鹼ノ材料タル「コブラ」ナリ此取引モ向後發達スルナラン

【三回ノ一 13a】

日本ノ石炭ヲ馬尼刺ヘ送ルニハ運搬便宜シカラサルノミナラス陸揚等ニ要スル設備完全ナラサル為メ荷渡ニ日子ヲ要シ滞船久シキニ互ルコトヲ免カレス即チ香港ニ於テハ一日ノ荷扱高一千五百屯乃至二千屯ナルモ馬尼刺ニ於テハ一日僅ニ三百屯内外ニ過キス從テ馬尼刺向ケハ運賃割高二テ商売ノ發達ヲ妨ケタルコト少ナカラサリシノミナラス屢船ノ戻荷ニ積取ラレタル豪州炭ノ為メニ販路ヲ壟斷セラレタルコトアリシ年去戰爭平定ノ曉ニハ六万屯ノ船舶ヲ以テ馬尼刺ト「パシフヒツク・コースト」トノ間ニ航海ヲ為ス船会社ノ設立ヲ見ル趣ナレハ必スヤ米國ヨリ來ル船舶ハ日本ヲ經テ香港ヲ終点トナサスシテ馬尼刺迄航路ヲ続クルカ又ハ日本ヨリ直接馬尼刺ニ赴クナルヘク何レニシテモ馬尼刺ハ汽船ノ「ターミナル」トナリ沿岸船并馬尼刺ト他ノ各港ト

ノ連絡十分ナルニ至リ商業上有望ナル一市場トナルヘク石炭商売ニ付テモ亦大二見込アルヘシト考フ

【三回ノ一 13 b】

◎上田 菲律濱群島ニ対スル棉布燐寸ノ商売并後藤毛布膝掛等ノ商売ハ如何勿論防寒品ハ入用ナカルヘキモブランケット等ノ入用ハ多少ハ之アルヘキカ

◎長谷川 雜品ニ付テモ取調ヲ為シタルカ素ト々々裸体人種ナルヲ以テ沢山ノモノハ需用ナシ且西班牙ノ風ニ做レタルヲ以テ自然雜品ノ需用アルモ欧州製品ヲ使用スルナルヘシ毛織物ハ全然見込ナシ又木綿類ハ一時支那人ノ移住ヲ禁シタル故其必要ノ原因ヲ失ヒタルモ亦再ヒ此禁ヲ解キタレハ是等移住者ニ対シテハ多少供給ノ望アルヘシ但多クハ其本国タル厦門汕頭ノ綿布ヲ購入スヘキヲ以テ此商売ハ寧ロ日本品ヨリモ支那製品ヲ引合フ方望アルヘシ

◎上田 毛織物望ナシトスレハ寒冷紗、金巾、木綿縮ノ類ハ如何

◎長谷川 金巾杯ハ輸入アルヘク亦燐寸モ輸入セラルヘシ要スル二何時モ西班牙

政府時代ノ例ヲ以テ推論スルコト能ハス向後ハ米国人ノ使

【三回ノ一 14 a】

用スル上等物ト日本人ノ使用スル位ノモノト双方需用アルヘシ麦酒ノ如キモ亦売行アラム兎モ角モ十分出張員ヲ派出スヘキ価値アリ

◎上田 綿糸ハ如何

◎長谷川 極メテ需用少ナシ

◎飯田 単ニ縫糸位ノミニ止ラム

◎長谷川 熱帯地方ニ於テ米カコボレ雨力降りテ自然ニ成育シ收穫ヲ得ルカ如ク馬尼刺ニ於ケル砂糖ハ別ニ耕作ヲ施スニ非ス自然ニ發育シタル砂糖ノ幹ヲ集メ之ヨリ砂糖ヲ搾取スルノミ其懶惰ナル推シテ知ルヘシ

◎南 煙草并珈琲ノ商売ハ如何

◎長谷川 珈琲ノコトハ余リ聞キタル所ナシ

【三回ノ一 14 b】

◎上田 熱帯国ナル故煙草ノ外珈琲ノ産出モアルヘシト考フ此等ハ米國ヘハ米人持チ行クヘキモ英吉利并独逸ヘ輸出スル見込ナキヤ

◎長谷川 見込アルヘシ是迄西班牙人ハ少シモ自カラカルチベートシタル形蹟ナシ從テ其商人ノ数モ少ク馬尼刺、イロタタ、セブ、ヲ合シテ僅ニ三十軒内外ニ過キス而シテ之トテモ単ニ定マリタル事ヲ為スノミニシテ少シモ輸出貿易ノ伸長ニ力ヲ致ス等ノコトナシ從テ輸出入統計表ヲ見ルモ

輸出品ハ寥々タルノ有様ナリ

◎上田 然ラハ益々以テ常置員ヲ置クノ価値十分之アリト信ズ

◎長谷川 且馬尼刺ニ対スル商売ハ其種類太甚面白シ

◎白井 従来馬尼刺ニハ重モ二英國製品ノ輸入アリタルモ昨年来大ニ減少シテ三分ノ一二下リ其代リニ米國品ノ輸入ヲ見ルニ至レリ

◎上田 磐谷ニ付テノ長谷川氏ノ意見如何

【三回ノ一 15 a】

◎長谷川 暹羅ノコトハ取調シタルコトナシ藤田領事婦朝ノ際其談話ヲ聞キタル位ニ止ル石炭ハ吳支店長時代ニ送荷シタル分未ダニ残存セリ同国ハ非常ニ日本好キノ国ナレハ英仏人カ互ニ争ヲ為シツ、アル間ニ漁夫ノ利ヲ占ムルハ兎モ角モ商売トシテハ思ハシキモノナク米并ニチーク材ヲ除キテハ殆ント望ナシ石炭ノ需用ハ一ヶ年僅カニ一万屯内外ニ止リソーミルノ如キハ大抵皆自家ノ材木ノ挽屑ヲ燃料ニ使用セリ但電気鉄道出来ノ趣キナレハ之ニ多少石炭ノ需用アルヘキカ山本庄太郎両度同地ヘ出張取調ノ結果稍有望ナル旨ノ報告ヲ為シ居レトモ格別見込アルモノナク特ニ常置員ヲ置クノ必要ヲ認メス米ノ用事アル場合二人ヲ臨時ニ派出スル位ニテ可ナルヘシ

◎吳 長谷川氏ノ説ハ御尤千万ナルカ他ヨリ聞込ミタル品ニテハ暹羅

【三回ノ一 15 b】

ハ独立国ナル為メ兵隊アリ其使用スル羅紗并毛布ハ最近歐州ヨリ取寄セタルモ割高二付若シ日本ニテ割安ニテ割安ノ物製造セラル、ナレハ買取り度旨陸軍大臣ヨリ其筋ヘ交渉アリタリト就テハ在暹羅ノ日本公使ヲ通シテ交渉セハ後藤毛織物製造会社ノ製造ニ係ル羅紗并毛布等ヲ売込ミ得ヘキヤモ計ラレズ

◎北村 常置員ヲ置キテ売捌ク程ノ必要ナシ唯需用アル際条

約定ヲ為セハ可ナラム

◎福井<sup>カ</sup> 常備兵ハ五千人ナリ一人二枚トスルモ一万枚ニ過キ

ス極メテ小サキ商売ナリ

◎長谷川 暹羅ノ如キハ別ニ別ニ常置員ヲ置クノ要ナキモ通

信員ノ如キモノヲ置クコトニ致シタシ

◎上田 東ン京并西貢ニ付テモ磐谷ト同一ナルヘシ

【三回ノ一 16 a】

◎大野 暹羅ニ輸入セラル、品物ハ大抵皆皇室若シクハ皇族ノ御用品ニシテ他ハ在留外国人ノ所用品ノミ士人ハ殆ント何物ヲモ使用セス故ニ通信員ヲ之ヲ置クノ要ナカラム

◎上田 福井氏先年豪州出張ノ結果羊毛并鉛ノ商売ハ大ニ発達セリ向後同地ニ常置員ニテモ派出スルノ要ナキヤ

◎福井 豪州ハ面積我國ノ二十倍アルモ人口ハ稀少ニシテ三百五十万人余ニ過キス從テ人口多キ我國トハ往々其趣ヲ異ニシ商売モ同一ノ場所ニテ成立セス夫々買付場所ヲ異ニス例ヘハ鉛ノメルボルンニ於ケル羊毛ノシドニーニ於ケルカ如シ蓋シメルボルンニ於テ羊毛ノ買付ヲ為シ能ハサルニ非サルモ非常ニ割高ニ當リ不利益ナルヲ免レス鉛ヲシドニーニテ買付ケントスルモ亦同シスル有様ナ故豪州ノ商売ハ勢ヒ各所在地ノ確實ナル商人ト直接引合ヲ開始

【三回ノ一 16 b】

セサルヘカラス依テ当社ハ鉛ニ付テハメルボルンニ於ケル鉛ノ山ノ持主ト直接取引ヲ開クノ必要ヲ感シブロークンヒル、プロフレターリ、コンパニート取引ヲ初メタルニ同社ハ能ク東洋ニ於ケル鉛商売ノ大体ニ通シ大抵ノ事ハ後日ノ取引ヲ思ヒテ我慢シ呉ル、ニ依リ近頃大イニ本商売ノ発達ヲ致セリ向後モ依然同社ト取引スルノ考ナリ斯ル次第ナルヲ以テ当分出張員派出ノ要ナシ

◎南 昨年中東京、大阪、上海并香港ノ四店ニテ何程鉛ノ商売ヲナシタリシヤ

◎福井 少クトモ四千屯此金六十万円位ナルヘシ

◎南 然ラハ豪州ニハ矢張是迄通りメルボルン、シドニー、ブリスベーン等夫々引合店ヲ作り置ケハ別ニ出張員ヲ置クノ必要ナシト云フカ

◎福井 然リ

◎飯田 藤瀬氏新嘉坡ニ在リシ時申立テタル爪哇ニ出張員ヲ派出スルノ件ハ如何ナル御評議ニナリタルヤ

◎上田 其當時爪哇ヘハ一名派出致シタシト考ヒ居リタルモ人ナキ為メ実行ヲ見ルニ至ラスシテ打過キタリ其後爪哇糖ノ商売ハ益増加シ来リ一時ハ双方ノ事情疎通セサルカ為メ甚タ心ヲ勞シタルコトアリシモ幸ニ取引先ナルマクレイン社ハ有力ニシテ確實ナル為メ円滑ニ取引ヲ完了シツ、アリ向後モ益親密ニ取引シ大ニ斯業ノ擴張ヲ計ル考ナリ而シテ爪哇トハ砂糖以外ノ引合ナキヲ以テ出張員ノコトニ付テハ別ニ本店ニ定リタル考ナシ

◎飯田 爪哇ノインヂゴハ大ニ評判宜シクカルカツタ、マドラス等ノインヂゴヨリモ勢力アリ此事ニ付新嘉坡支店ト書帖并電信ヲ以テ往復セルモ更ニ

【三回ノ一 17 a】

【三回ノ一 17 b】

其要領ヲ得ス単ニ見本ヲ送り来リタルノミニテ之ニ対シ注

文ヲ与フルモ商売成立セス如何ニモ残念ノ次第ナリ只砂糖ノ商売ニ付テハマクレイン社力巧者ニ立廻リ居リタリトテ  
 豪州メルボルンニ於ケルブロークンヒル、プロフレータリ  
 ー、コンパニートハ異ナリマクレイン社ハ生産者ニ非ス他  
 ヨリ砂糖ヲ買集メテ供給スル一種ノ商人ナルコト尚ホ亦印  
 度棉ノライオン社ニ於ケルカ如シライオン社モ最初ハ確實  
 ナリト考被取引シタルモ其後出張員ヲ孟買ニ派出シタル結  
 果土地ノ事情取引ノ模様等ヲ詳カニスルニ從テ同社ト取引  
 スルノ不利益ナルコトヲ悟リ遂ニ出張員ニ於テ自カラ買付  
 ノ任ニ当ルコト、トナリ爾來ライオン社ヨリハ更ニ棉花ヲ  
 買入レサルコト、ナリタリ故ニ矢張爪哇ニモ砂糖商売ノ為  
 メ一人ノ出張員ヲ派出セシメタシ況ンヤインヂゴノ商売ア  
 ルノミナラス燐寸商売ノ如キモ大ニ同地方ニ新販路ヲ求ム  
 ルノ要アルニ於テオヤ

◎上田 御説ノ如ク人サヘアレハ出張セシメタシマクレイン  
 トノ關係ニ付テハ本社

【三回ノ一 18 a】

ニ於テモ一時心配セルコトアリ昨年七月ノ交東京精製糖會  
 社ノ注文ハ益々大高トナリ且同社ノ専務取締役ノ鈴木藤三  
 郎氏ハ斯業ニ掛ケテハ中々巧者ノ人ナレハ之ヲ満足セシム  
 ルニハ一通リノ働ニテハ不可ナリト考ヘ倫敦ヘモ電信シテ

他ノ相場ヲ聞合ハセ他ノ口ヨリモ買入ヲ為サント試ミタル  
 処藤瀬新嘉坡支店長ヨリ非常ノ抗議ヲ申込来リタリ其要旨  
 ハ新嘉坡支店ニ於テハマクレイン社ト約束ヲ結ビ当社ニ於  
 テ入用ノ砂糖ハ総テ同社ヨリ買付クヘキ意味ノ約定ヲ為シ  
 在ルニモ拘ラス此約定ヲ無視シ他ヨリ砂糖ヲ買付ヲ為サン  
 トスルカ如キハ將來ノ商売上大ナル障害ヲ来スヘシ何故マ  
 クレイン社ノ取扱振ニテ御不満足ナルヤ今日迄ノ先方ノ取  
 扱振ヲ見ルニ一モ批難スルヘキ点ナシ且マクレイン社ハ有  
 力ナル会社ニシテ手広ク此商売ヲ為シ居レリ成程同社ハ自  
 家ノ製品ヲ以テ注文ニ応スルニ非ス他ヨリ品物ヲ買集メ之  
 ヲ供給スルモノナレトモマ社以外ノ

【三回ノ一 18 b】

商人ヨリ買約スルモ亦均シク他ヨリ品物ヲ買集ムルモノニ  
 シテ而モ其勢力ハ遠クマ社ニ及ハス何ソマ社ニ勝ルノ働ヲ  
 為スコトヲ得ン且マ社ハ香港ニ於ケル太古并怡和ノ注文ヲ  
 モ年来取扱ヒ凡テ満足ノ結果ヲ得セシメツ、アルモノナレ  
 ハ当社ノ注文如何ニ拡大スルモ裕々之二応スルノ力アリ故  
 ニ同社ヲ信用シ安心シテ取引ヲ為スヘク直段ノ如キモ他社  
 ノ直段ヨリ安キモ決シテ高キ様ノコトナシ云々ト申来リ  
 其旨倫敦ヘモ出帖シ茲ニ再ヒマ社ノミト取引スルコト、ナ  
 リタリ去レハ砂糖之事ニ付テ後日出張員ヲ派出スルコトア

ルヘキヤ知レサレトモ今日ノ処ハ少シモ懸念ナシ尤モ飯田氏ノ説ノ如クインチゴ其他燐寸等雜貨商売ノ為メニ出張員ヲ出ス事ハ別論ニテ出張員ヲ常置セシムレハ夫丈ノ効能ハ必ス之アルヘキモ何分今日ノ処人手不足偶ニ之アレハ差勝リタル急務ノ方ヘ差向クル為メ適當ナル出張員ヲ得ル能ハサルコトハ焦慮ノ至リナリ

【三回ノ一 19 a】

◎益田 是ヨリ營業機関ノ設備テフ議題ニ移ルベキ管ナルモ先ツ其前ニ一応營業資金并金融ノ現在ヲ報告セサルベカラス何トナレハ如何ニ設備ノ完全ヲ期セントスルモ資金ノ許サ、ル程度ニ迄進ムコト能ハサレハナリ

当社ノ資本金其他ハ如左

- 一、資本金 一、〇〇〇、〇〇〇円
- 一、積立金 三、六五〇、〇〇〇〃
- 一、社船積立金 七五三、三六〇〃
- 合計 五、四〇三、三六〇〃

右ノ外尚銀行ヨリノ借金アリ勿論銀行ヨリ鉅額ノ融通ヲ得ルコトハ好マシカラサルモ該行ニ於テハ三井各商店ノ為メ六百万乃至七百万迄ノ需用ニ応スルノ余裕アリ現在融通セラルモノハ五百万円位ナルベシ

【三回ノ一 19 b】

此内現ニ物産会社ノ借入レ居ルモノハ貳百万円余ニシテ此外ニ手形ヲ振出シ割引ヲ受ケ居ルモノ等アリ夫此ヲ合シ四百万円位ニ上ルヘク此高ハ常ニ三井銀行ヨリ融通ヲ受ケ得ヘキ高ナレハ之ヲ前記五百四十万円ニ合スレハ九百四十万円トナル

此内

- 一 所有汽船 一、三三二、六三三五円
- 一 不動産 四八八、〇五〇〃
- 一 公債 四一七、八八八〃
- 一 株券 一一四、五六五〃
- 合計 三、三三三、一三八〃

ノ固定セルモノヲ差引クトキハ残額六百万円余カ即チ營業資金ナルヘキモノニシテ此資金ヲ以テ約八千万円ノ商売ヲ經營シ

【三回ノ一 20 a】

タルナリ此他尚正金銀行クレンウォルト及渣打銀行等ヨリクレヂットヲ得ツ、アルモノアレトモ是等ハ単ニ一時ノモノナレハ營業資本ト見ルコト能ハス故ニ前記六百万円ヲ資本ト見做シ之ヲ腦裡ニ収メ置キテ營業機関ノ設備ニ関スルコトヲ講セラレタシ



營業機関ノ設備

從來我社カ商売ニ要スル機関即チ取扱掛員、倉庫、舁下船、曳船、庫船、其他ノ設備ハ必要ノ緩急ニ応シ事情ノ許ス限り之ヲ為セリト雖トモ近来營業ノ膨張及今后一層商業ノ擴張ヲ計ルト共ニ之ニ対スル機関ノ設備ヲ十分ニセサルヘカラス而シテ之ヲ為スニ自ラ緩急得失アリ依テ后日取捨ノ參考トモナルヘキ各店長ノ希望ヲ陳述セラレンコトヲ望ム

【三回ノ一 20 b】

右議案ニ明記セル如ク事自ラ緩急アリ素ヨリ一時ニ設備ヲ計ル能ハス然レトモ各店ニ於テ必要ナリトスル設備ヲ述ヘラル、コトハ大ニ參考トナルベシ

◎飯田 大阪支店ニ於テハ其後追々設備ノ事ニ付申出シタルニ付殊更擴張ヲ要スルモノナキモ倉庫ハ今一層擴張ヲ要スト考フ

蓋シ先年小野浜ニ倉庫ヲ設クルコトヲ出願シ許可ヲ得テ建設ノ上當時使用シツ、アル次第ナルカ建築ノ當時ニハ少シク過大ナルヤノ感アリタルモ今日トナリテハ却テ不足ヲ感スル位ナリ故ニ今一層擴張ヲ願ハサルベカラズ尤モ大阪并神戸築港ノ成行如何ニ依リテハ倉庫ヲ設置スヘキ場所ニ関

係ヲ及ホスヘキモ右築港ハ如何ニ成行クヘキヤ今日ニテハ未タト知シ能ハサルヲ以テ先ス小野浜之倉庫

【三回ノ一 21 a】

ヲ取扱ケ可然ト考フ

又石炭運送ノ為メ先般川舁ヲ二三十隻造ルコトノ許可ヲ得既ニ着手セリ本月中ニハ式三艘ハ出来スベシ之ハ全ク一部分ノ用ニ充ツルニ過キサレハ今后其成績如何ニ依リ増設ヲ願出ツルコトアルベシ又神戸ト大阪トノ間ニ於ケル舁船ノコトニ付保險会社ヨリ相談アリ各会社連合シテ舁船ヲ造ルカ又ハ保險会社ニ於テ舁船ヲ造リ各会社ノ荷物ヲ取扱フコト、スルカノ相談シアリ相談未タ熟セサルモ今日ノ処ニテハ自身ニテ舁船ヲ造ラサレハ不便尠ナカラサルベシト考フ尚十分取調ノ上願出ツルコトトスベシ

若松ト神戸并大阪間ノ汽船ニ就テハ既ニ図面モ出来シ予算書モ只今相談シテ調製シツ、アリ近々提出ノ考ナリ又石炭倉庫モ追々狹隘ヲ感スヘキニ付早晚擴張方ニ付キ

【三回ノ一 21 b】

願出テサルベカラス大阪支店ノ設備ハ先ツ是位ノ処ナリ

◎益田 大阪ノ築港ハ今后八年ヲ經過スレハ完成スヘク其眺ニハ大艦巨舶モ自由ニ出入スルコト、ナリ從テ大阪ハ荷物

ノ集散地トナリ倉庫等モ建設セラルベシ而シテ八年ハ実ニ一瞬時ナレハ我社ニ於テ入用ナルヘキ倉庫地等ハ今ヨリ用意シテ買入置カサルベカラス郵船会社ノ如キハ既ニ広キ土地ヲ買取り居レリ用意実ニ周到ナリト云フベシ

◎飯田 港ノ工合如何ニ相成ルヘキヤ分ラサルモ石炭倉庫ハ安治川附近ニ設クルコト然ルヘキカ港頭ニハ何レモ倉庫ノ建築ヲ見ルヘキモ是等ハ重ニ雜貨ヲ倉入スルコト、ナルヘク石炭ノ如キ安物ハ倉入ニ適セサルベシ

◎益田 紡績系ノ如キモ安治川辺ヘ舁ニテ持ち来リ倉入スルコト、ナルベシ

【三回ノ一 22 a】

神戸ニテモ築港ヲ計画セルモ大阪ノ築港落成ノ上ハ海外ヘ輸出セラル、モノモ大率皆大阪ニ入ルヘク大阪ハ実ニ荷物ノ集散地トナルモノト覚悟セサルベカラス從テ小野浜ノ倉庫ハ今日ハ設立スルモ他日不用ニ属スルコトアルヘキモ知ルベカラス尤モ茶ノ如キ神戸ニ集散スルモノモアルヘキモ綿糸ノ如キハ勿論大阪カ其集散地トナルニ相違ナシ

◎飯田 大阪ノ築港ハ予定ノ通り成効スルトハ信シ得ス矢張大阪ハ沿岸ノ汽船カ入港スル位ニ止リ海外航ノ汽船ハ神戸ニ入港スヘシト考フ

◎益田 其ハ誤解ニテ大阪ノ築港成効セハ大阪附近ノ産物ハ

大阪ヨリ輸出セラルヘク単ニ神戸ニハ出港ノ際立寄りテ神戸ニ集リタル荷物ヲ積込ム位ニ止マルベシ從テ今日ヨリシテ之ニ備フルノ策ヲ

樹テサルヘカラズ

【三回ノ一 22 b】

◎飯田 安治川辺ノ倉庫地ヲ買入レ置ケハ何レニシテモ間違ナシト思料ス西成鉄道全通以來大和地方ヨリ来リ荷物ハ同鉄道ニ依リ大ニ便利ヲ得ルニ至レリ依テ石炭置場ヲ西成鐵道ノ敷地内ニ設ケ盗人除ケニハ柵ヲ造リ屋根ヲ垂鉛板葺トシ鐵道会社ニテ該敷地入用ノ場合ニハ六ヶ月前ニ予告シ得ル条件ニテ借入方交渉中ナリ相談纏ルトキハ大和地方ノ紡績会社等ヘ石炭ヲ送ルニハ大ニ便利トナル

◎益田 我社ト銀行ニテ東区ノ末端ニ聯合建築ヲ為スコトハ大ニ頷ク傾ケタル処ナルカ今日ハ既ニ場所ノ選定其宜ヲ得サリシヲ悔ユ尤モ大阪築港ノ設計ヲ信用セサレハ夫迄ナルモ天保山沖ニ赴キテ築港ノ現状ヲ見レハ設計通り成効スルモノト信セサルヲ得ス而シテ築港

【三回ノ一 23 a】

ニシテ成効スルトキハ大阪ハ実ニ日本ニ於ケル中央市場トナルヲ以テ之ニ対スル設備ヲ為サルベカラス幸ニ築港附

近二ハ新田多キヲ以テ之ヲ埋立ツルトキハ如何ナル設備ヲモ為スコトヲ得ヘク大阪ニハ向後七千屯位ノ飛脚船モ容易ニ入港シ得ルコト、セサルベカラス否ナ入港スルコト、ナルベシ尚又西成鉄道カ出来タル丈ニテモ大和地方トノ連絡便利トナリタリト云フ位ナレハ今後四五本ノ鉄道敷設セラレ且聯貫鉄道モ通スルニ至レハ荷物ハ皆大阪へ集中シ大阪港ヨリシテ他へ輸送セラル、コト、ナルベシ

◎長谷川 神戸ノ築港少シク後レタリ併シリバプールトマンチェスタートノ關係ヲ考察スレハ大阪ハマンチェスターニシテニシテ其製造品ノ出入ハリバプールノ地位ニアル神戸ヲ經由スルコト、ナルヘキモ知ルベカラズ

◎益田 一体神戸トカ大阪トカ云フ地方的ノ考ヲ起スハ誤ナリ何レモ全ジ

【三回ノ一 23 b】  
日本ノ内ナレハ便利ナル方ニ築港スルコト適當ナリ而シテ大阪ハ製造力ノ大、商人ノ衆、資本ノ豊富、鉄道ノ集中ニ於テ適カレ神戸ノ上ニアリ從テ一朝築港ヲ完成スル以上ハ強テ不便ノ存セサル限リ大阪カ商売ノ中心点トナルヘキハ敢テ弁ヲ要セス從テ神戸ハ石炭積込場所位ニハナルヘキモ船ノ「ターミナス」ハ大阪ニ歸スルモノト断言セサルヲ得ス

◎飯田 大阪築港事業ハ資本不足ナクト考フ

◎益田 其事ハ別論ナク大阪ノ築港ハ大阪一地方ノ築港ニアラズシテ日本ノ築港ナリ既ニ之ニ着手スル以上ハ之カ完成ヲ為サシメサルベカラズ

◎飯田 日本政府遣リ方悪シ大阪並神戸ノ築港論盛ンナリシトキ政府ニ於テ今少シク十分ノ調査ヲ遂ケンナランニハ大阪ノ築港ヲ見合ハセ神戸ノ築港ニ全力ヲ尽スコトニナリタリシヤ知ルベカラズ

【三回ノ一 24 a】  
◎益田 今日之ヲ云フハ時期既ニ遅シ加之築港ハ可成中央市場ニ近キ所ニ於テセサルベカラズ此点ヨリスルモ大阪ノ築港ハ当ヲ失シタルモノニアラズ其ハ偕措キ大阪築港ノ事ハ日本政府モ既ニ可決セル所ナレハ必スヤ其完成ヲ期スルナルヘク從テ今日ニ於テ予シメ大阪築港完成後ニ備フル策ヲ樹テ完成後曩ノ計畫カ大ニ其凶ニ当リシコトヲ思ヒ合ハスル様致度モノナリ

◎吳 神戸ノ設備ハ大阪ニ關係多シ而シテ余ハ大阪ノ築港モ神戸ノ築港モ成効スルモノト見做シテ立論スベシ差向キ築港ニハ大阪八年神戸十年ノ日子ヲ要スルカ其間ニ夫々ノ設備ヲ完カラシメサルベカラス倉庫ハ小野浜ニ五百坪許リヲ建築シ外ニ上屋四百坪ヲ設ケタル結果荷物ノ倉入上大ニ

便利ヲ得タリ向後入用ノ場合ニハ三井銀行ニテ建築セル分  
ヲ借入ル、コトヲ得ヘク又貿易倉庫

【三回ノ一 24 b】

会社等へ貸渡ス分モ期限ヲ一年位ト為シ置キ当社ニテ入用  
ノ時ハ期限后之ヲ引上ケテ借受ケ得ルコトニ三井銀行支店  
ト交渉済ナレハ向後倉庫建築ノ必要ハ之ヲ認メス只小野浜  
ハ船繋惠シク且一方ニ偏在セル故別ニ棧橋ヲ造リ又税関構  
内ヨリ連絡スル鐵路ヲ敷設スルコト、セハ大ニ便利ナルベ  
シ

又大阪築港并神戸築港完成ノ暁ニハ荷物ノ陸揚、卸ノ事ハ  
当社ノ手ニテ為スコトニ致シタシ蓋シ其頃迄ニハ物産会社  
ノ商売モ大ニ發達シ神戸ニ出入スル荷物ノ過半ハ当社ノ取  
扱ニ歸スルコト、ナルヘク又爾カ致シ度考ナレハ此取扱ヲ  
他人ニ托スルカ如キ事ニテハ到底満足ナル結果ヲ得ヘカラ  
ズ故ニ当社自ラ之ヲ經營スルカ若クハ当社ノ手ニテ組織シ  
タル株式会社等ニ之カ取扱ヲ為サシムルコトニ致シタシ而  
シテ当社ノ荷物ノミナラズ神戸ニ出入スル荷物ハ凡テ其陸  
揚

卸ヲ引受クルコトニ致シ度希望ナリ

【三回ノ一 25 a】

右ハ大阪関係ノ設備ナルカ是ヨリ神戸支店ノ設備ニ付テ述  
ヘンニ神戸ニテハ石炭ノ商売ヲ拡張シ郵船会社ノ燃料供給  
鐵道局并山陽鐵道、鐘紡、川崎造船所等ヘノ石炭売込ヲ取  
扱ヒツ、アリ此運搬ヲ從來合ノ子船ヲ利用シタル為メ運賃  
ハ割安ナルモ帆力ニテ二百五十哩余ノ海路ヲ駛走スル事故  
ニ危険少ナカラサルノミナラス期限延引スルコト屢次ナリ  
且盆正月ハ仕事ヲ休ミ時化続キニハ更ニ出帆セス旁到底引  
当トスルヲ得ス然ルニ一方ニ於テ郵船会社ノ定期船ハ毎回  
必ス何百屯カラ積込シ若シ当社ニ於テ之カ供給ヲ為サ、ル  
トキハ出帆ヲ延引スルノ已ムヘカラサル事トナルニ依リ當  
社之責任ハ太甚重ク運炭機關ニ付テハ十分用意シ置ク所ナ  
カルヘカラス此点ニ付テハ大分研究ノ

【三回ノ一 25 b】

末曳船ヲ以テ運炭ヲ為スノ餘算ヲ立テツ、アリ不日提出ノ  
積リナルカ其要領ハ先ツ參百屯ノ曳船ヲ造リ式拾五万斤積  
ノ和船五艘ヲ曳カシムルニ在リ此勘定ハ算當ニアタルモ只  
茲ニ一ツ困難アルハ若松并神戸共三百屯ノ船ハ横付ケヲ為  
シ能ハス為メニ舁ヲ用ユルノ要ヲ生シ其費用若松ニ於テ三  
十錢神戸ニ於テ二十九錢合計六十錢弱ヲ要ス故ニ之ヲ横付  
ケニスルノ設備ヲモ為サ、ルヘカラス然ラサレハ曳船ヲ用  
ユルノ功能ナシ

◎益田 三百屯位ノ曳船ニテハ途中少シク風波ニ遭ヘハ単船他ヲ棄テ、逃ケサルヘカラサルコトアルヘシ

◎呉 先年大阪神戸ノ運送家、石炭商人并船長等関係シテ関西曳船会社ノ設立ヲ計画セリ而シテ自カラ其任務ニ当リタル船長ノ意見ヲ叩キタルニ一ケ年数度ノ天候ヲ除クノ外曳船ニ差

支ナシトノ事ナリ

【三回ノ一 26 a】

◎益田 大阪築港ノ処ヘ石ヲ積ミ来ル船ヲ見ルニ形皿ノ如ク艫ニ汽鐘アリ深サ十呎ニテ千屯位ヲ積ムト云フ斯ル種類ノ船ヲ造リテハ如何

◎呉 若松神戸并大阪ニ於テ横付ケニナル様セサレハ不可ナリ

◎益田 若松ニテハ横付ケニスルコトヲ得ヘシ只今迄ノ設計ハ十二呎ノ船カ入り得ル様ニ為ス目的ナリシモ此度更ニ十六呎迄ノ船カ入り得ル様ニ為ス筈ニテ此度更ニ議會ニ於テ五十万円ノ支出ヲ可決スル都合ナリ故ニ若松ノ方ハ安易ナルモ大阪并神戸ニ於テ八十呎ノ船ヲ入り得ヘキヤ

◎飯田 八呎位ナラム

◎呉 神戸八十一呎ニテモ十二呎ニテモ可ナリ

◎長谷川 新在家町ノ方ハ棧橋ノ二間程先キハ深サ二十二三

呎アリ小野浜

【三回ノ一 26 b】

ノ方モ今少シ棧橋ヲ出セハ差支ナカラム

◎益田 若松并阪神間ノ石炭運送船ノ設備ハ支給之ヲ実行シタシ

◎長谷川 若松ノ方十三呎ニテモ十六呎ニテモ可ナリトセハ十呎ノドラフトニテ神戸并大阪ヘ石炭ヲ運送スヘキ汽船ヲ造リ之ヲ牛莊又ハ武豊行ニモ流用スレハ便利ナラン

◎益田 浅井監督并三好工学博士ノ説ヲ聞キタル二十呎位ノ水入ニテ千屯以上ヲ積ム船ヲ造ルコトハ出来得ヘシトノコトナリ併シ浅井ハ此船ニテ遠州灘ヲ乗り切ルコトハ御免ヲ蒙ル方ナリト申居リタリ

◎松尾 三菱ハ若松長崎間ニ使用スル為メ初音丸ヲ造リタルモ若松ノ築港未タ完成セサル為メ初音丸ヲ門司長崎間ニ使用シ居レリ

◎北村 若松ニ廻ハシタルモ積入ニ二時間ヲ要スル為メ門司ヘ廻ハスコトニ改メタルナリ

【三回ノ一 27 a】

◎上田 名古屋ニテ必要ナル設備ニ付テ述ヘラレタシ

◎寺島 名古屋ニハ是迄会社所有ノモノナシ当初店舗ヲ開ク

二方リテハ商売ノ傾向如何ニ成行クヘキヤ分ラサリシヲ以テ必要ニ応シ順次其設備ヲ為スコト、シ店舗モ単ニ伝馬町ニ借宅シタリ其後石炭商売ヲ開始シタル結果熱田ニ石炭置場ヲ設クルノ必要ヲ感シ地所ヲ借入レ又肥料商売ノ為メニ納屋町ニ倉庫付ノ家屋ヲモ借入レタリ斯ル有様ニテ名古屋支店ニハ一ノ土地ナク一ノ家屋ナシ幸ヒ肥料商売ニ付テハ三井銀行ヨリ百八十坪ノ肥料倉入ニ適當ナル倉庫ヲ借入レ得タルヲ以テ該商売ニモ差支ヲ来サ、ルモ今日既ニ該倉庫ハ手一杯ノ姿ナレハ此上商売高増加スルトキハ倉庫ノ不足ヲ来スヘシ

又近頃牛莊ノ大豆并大豆粕ハ四日市武豊兩地方ヘモ輸入セラ

### 【三回ノ一 27 b】

ル、コト、ナリタルカ武豊ハ物産会社ノ豆粕輸入ヲ以テ外國品輸入ノ嚆矢トスル位ナレハ一モ設備ノ見ルヘキナシ乍去三河付近ノ商売ハ向後武豊ニ抛リテ成立スルコト、ナルヘキヲ以テ相当ノ地所アレハ買入シ倉庫ヲ建築スルコトニ致シタシ尤モ今日税関モ単ニ仮事務所ニテ執務ノ有様ナレハ不日他方ヘ移転スルヤモ計リ難シ其際余リ税関ト遠カリテハ不都合ナレハ地所買入ニハ一考ヲ要スヘシ  
四日市ニモ荷物随分出入スルモ会社ノ倉庫ナシ故ニ適當ノ

モノアレハ上申ノ上購入シタシト考ヘ昨年以來取調ヘタルモ更ニ売物ナク今日迄上申スル程ノモノナカリシ就テハ少々ノ場所丈ニテモ買入置キタシ

熱田ハ四日市并武豊カ貿易港トナリタル結果商売ヲ兩地方ニ奪ハルヘキ傾アリ其為メ築港ニモ影響シ目下休止ノ姿ナリ

【三回ノ一 28 a】  
旁同地ニハ不用ノ土地倉庫等モ生スヘク只今買入ヲ為スノ必要ナシ

名古屋支店現今ノ借家ハ非常ニ狹隘ナルノミナラス益家賃ヲ引上ケ来ル故店丈ナリトモ良キ場所ニ土地ヲ買入レテ建築シ又倉庫敷地トシテ相当ノ場所アレハ買入置キタシ此節丁度適當ナル場所見当リタル故上申シ置キタリ右ハ官有地ニテ不日入札払下アル筈ナレハ其節当店ニテモ入札スルコト、致シタシ坪数ハ一万余ニシテ家ヲ建ツルニモ倉庫ヲ造ルニモ便宜ノ地ナリ且地内之堀割ヲ通スレハ各所トノ交通自由ニシテ荷物集散上非常ニ便利ナルヘシ

◎益田 遠藤氏ハ出京ノ際武豊ヘ赴キタルカ

◎遠藤 赴キタリ三河地方ノ商売ヲ經營スルニハ必要ノ地ナラム

【三回ノ一 28 b】

◎益田 同地ニテハ棧橋アリヤ

◎寺島 棧橋ヲ設クルノ計画アリ今日我社ニ於テ土曾会社ノ

棧橋ヲ借りテ使用セリ

◎益田 倉庫ハ入用ナキカ

◎寺島 入用ナリ又四日市ニモ倉庫入用ナリ

◎益田 四日市ニハ在来ノ倉庫少ナカラス之ヲ借入ル、コト

ヲ得ルナラン

次二門司支店ノ希望ヲ述ヘラレタシ

◎水谷 門司支店ハ東ノ端ニアリテ万事非常ニ不便ナリ先達

来毛利家ヨリ陸軍省ヘ移シタル地所ノ約二百坪払下出願方

ノ事ヲ上申シ既ニ毛利家ヘハ交渉アリタル様ニ承知セルカ

其結果如何俟リニ此地所カ出来ルモノトスレトモ単ニ二百

坪ニ過キサレハ支店ヲ建築スルニ漸ク足ルノミ然ルニ先般

大阪ノ山本氏三池ヨリノ帰途

【三回ノ一 29 a】

門司ニ立寄リタル節向後綿花并綿糸ヲ門司ニテ取扱フコ

ト、為スニ付テハ倉庫建築ノ必要アリ故ニ今ヨリ予シメ取

調ヲ為シタキ旨相談アリタリ、現在ノ家ノ裏ニ二百坪程

ノ地所アルモ鉄道連絡セサル故綿糸ノ倉入ニ適セス尤モ差

当リハ九州倉庫会社ヨリ借庫ヲ為スコトヲ得ンカ故ニ端の

支障ハ来サ、ルモ追々入用ヲ成スヘク其位置ハ陸軍省ノ地

所即チ毛利家ノ地所カ最モ適當ナリ何レ倉庫ヲ建テサルヘ

カラストセハ一日モ速ク建ツル方利益ナリ然ルニ今日門司

ニハ適當ノ地所ナキ故倉庫地ヲ買フコトハ困難ナリ幸ヒ毛

利家ノ地所ハ是迄我社ニ於テ借入シ居リタル縁故モアリ旁

先方ヘ相談セハ譲受ノ出来サルコトモ勿ルヘシ若シ毛利家

ニテ地所ノ代リカ入用ナレハ当社ノ所有地ト交換スルモ可

ナリ

◎益田 埋立地ヲ買ヒタル分ハ如何同所ヘハ鉄道連絡ノ筈ナ

リ

【三回ノ一 29 b】

◎水谷 鉄道ノ連絡付クヘキヤ否ヤ太甚怪シ高橋氏九鉄社長

タリシトキ鉄道連絡ノ筈ニテ貿易倉庫会社カ倉庫ヲ建築シ

タルモ鉄道未タ連絡セス宝ノ持チ腐リノ如キ有様ナリ

◎益田 鉄道ハ必ス連絡スヘシ

◎水谷 鉄道連絡スレハ右ノ埋立地ニテ可ナリ陸軍省ノ地所

ハ都合如何

◎益田 未タ結果ノ不明ナリ先以テ六ヶ敷モノ思ハサルヘカ

ラズ

◎水谷 仲津手前ノ宇ノ島ヘ豊州線延長ノ計画アリ門司迄ハ

四十三哩ナルモ宇ノ島八十哩程近シ從テ神戸并大阪送りノ

豊前炭<sup>ビ</sup>ハ行ク々々ハ此所ヨリ出ツルコト、ナルヘシ今日ハ未タ機関整備セス從テ船ヲ雇フニモ高ク付キ十哩近キモ費用却テ多シ来ル三十五年迄ニハ豊州鐵道会社ニ於テ埋立ヲ為シ波止場ヲ造ル計画ナレハ此計画成ルノ日ハ豊州炭ハ宇ノ島へ出ツルコト、ナルヘシ故ニ当社ニ於テモ商売上ノ

【三回ノ一 30 a】

便益ヲ計ル為メ予メ宇ノ島ニ三千坪計リノ地所ヲ買ヒ取り置キタシ

◎上田 同地方へハ是迄三田尻地方ヨリ米ヲ運送スル船カ来往セリ石炭ヲ積込ムトスルトキハ冬期ハ風浪高クシテ積込出来サルモ夏期ハ都合宜シ若シ防波堤ヲ築造スルトキハ冬期ニテモ荷役ニ差支ナキニ至ルヘシ

◎水谷 山本氏ヨリ紡績会社行ノ綿花ヲ神戸ヨリ大阪へ運送スルニ付完全ナル舁<sup>ウ</sup>造ル時ハ保険料普通十二銭ノモノモ四銭ニテ可ナルニ依リ門司ニテモ舁<sup>ウ</sup>ノ改良ヲ計リテハ如何トノ相談アリタリ右ノ舁<sup>ウ</sup>ハ「チヨキ」形ナルヲ以テ幾分カ安全ナレトモ門司ニテハ雜貨少キヲ以テ常ニ雜貨積ノミニ使用スルヲ得スシテ雜貨ナキ場合ニハ石炭積ニ之ヲ使用セサルヘカラス從テ「チヨキ」形ニテハ不可ナリ若シ

【三回ノ一 30 b】

之ヲド船トスルトキハ保険料ヲ割安ナラシムルコトヲ得ス乍去門司ノ舁<sup>ウ</sup>ハ平均五六万斤積ナルモ其形ヲ大ニシテ十万斤積位トシ荷物ヲ少シ積込ムトキハ危険ナシ元来舁<sup>ウ</sup>船ノ沈没スルハ荷物ヲ十分積込ミタル場合ニ波ノ動揺ヲ来スニ依ルモノニテ荷物ノ積方少ナケレハ此危険ナシ是レ即チ輪出来ノ舁<sup>ウ</sup>船ニ難船少キ所以ニシテ船ノ積量ヲ十万斤位トシ棉花二百本ヲ積込ムモノナレハ百五十本位積込ミ置ケハ危険ノ憂ナシ而シテ其舁<sup>ウ</sup>船ノ經濟ヲ取調ヘタル処石炭サヘ積込メハ十分算盤ニ当ルコトヲ發見セリ

◎益田 舁<sup>ウ</sup>業者ニ於テ改良舁<sup>ウ</sup>造ラサルヤ

◎水谷 舁<sup>ウ</sup>業者ヲシテ取扱ハシムルトキハ危険多キヲ以テ自カラ舁<sup>ウ</sup>ヲ持ツ方可ナリ

◎益田 金ヲ貸シテ舁<sup>ウ</sup>造ラシメテハ如何

【三回ノ一 31 a】

◎水谷 金ヲ貸サ、ルモ石炭ノ積方ヲ特約スレハ舁<sup>ウ</sup>造ルヘシ年併舁<sup>ウ</sup>業者ハ二百五十本積込船ニハ二百五十本丈積込ムニ依リ危険ヲ避クル能ハス故ニ矢張自身ニテ舁<sup>ウ</sup>有シ二百五十本積込船ヘ二百本丈積込ムコト、セサルヘカラス

◎益田 若松神戸間ノ運送船ニ付テハ名策ナキヤ

◎水谷 汽船ヲ造ルトスレハ且下ノ和船積ニ比シ運賃高値トナルヲ以テ荷主ハ汽船積ヲ好マサルヘシ



◎益田 何故割高二付クヤ

◎水谷 若松ノ曳船業者ノ実験ニ依レハ割高二付ク趣キナリ

尤モ曳船構造ニアラサル船ヲ使用シタル故ナランモ仮令曳

船ノ構造ニ作リタル船ヲ用ユルモ幾分高値トナルヘシ

◎長谷川 構造ニ入費嵩ミ且通信省ノ免状ヲ得ルニ付色々面

倒ナル

【三回ノ一 31 b】

事項アルカ故ナリ

◎呉 和船ノ運賃ハ常ニ割安ニ非ス時トシテ非常ニ割高ナル

コトアリ殊ニ其危険多キヲ思ハ、少々運賃ノ高キ事位ヲ論

スルノ違ナシ

◎益田 長崎ニ於ケル庫船阿房丸ノ実験ハ如何

◎松尾 庫船ハ石炭積ハ第二ニシテ棉、砂糖等ノ雜貨類ヲ積

ムコトカ第一ノ目的ナリ之ハ賃錢ニ拘ラス品物ヲ濡ラサ、

ル点カ最モ価値アル所ナリ而シテ本船ヨリ荷物ヲ受取りタ

ル上之ヲ他ヘ配送スル迄ハ庫船中ニ積込ミ置クモノニテ其

時日長キニ亘ルコトアリ即チ三池送り棉花ノ如キ便船ノ来

ル迄庫船中ニ置キ便船来リタルトキ取出シテ三池ヘ送付ノ

手續ヲ為ス是迄ノ経験ニ徴スレハ船ノ經濟ハカツタナリ

然レトモ之カ為メ便利ヲ得ルコトハ非常ナレハ尚ニ艘位造

リタシ

◎益田 神戸ノ倉船ハ結果如何時化ノ時ニモ差支ナキヤ

◎呉 大ニ便利ナリ荒レノ時ニモ差支ナシ尤モ送り方深ク未

タ完全ノ庫船ト云フヲ得サルモ要スルニ之アルカ為メ尠ナ

カラサル便利ヲ得ツ、アリ

◎益田 門司ニテハ此種ノモノハ入用ナキヤ

◎水谷 西風ノ吹キ荒ム場所柄ナル故到底望ナシ

豊前炭ノ取扱ハ近来益増加シ鉄道ニテ続々着炭アリ然ルニ

鉄道線路ノ通セル置場ハ毛利家ヨリ借入ノ地所アルノミニ

テ之トテモ地形三角ニナリ居リ全ク使用シ能ハサル場所ア

リ貯炭増加ノ場合ニハ非常ニ困難ヲ感ス然ルニ丁度三池炭

置場ノ隣地ニ浅野総一郎氏所有ノ地所千百坪余アリ当時蔵

内次郎作氏之ヲ借受ケ居レルカ坪六十五円ニテ買取り方申

出アリ蔵内氏ハ六十円ニ附直シ未タ相談纏マラス右ハ荏苒

日ヲ経ルニ於テハ邪魔ノ入ルコトナシトモ限ラス而モ同地

所ハ是非共入用ノ地所ナル故物産会社ニ

【三回ノ一 32 b】

於テ買入資金ヲ貸与セラル、カ又ハ自身之ヲ買取ラル、コ

トニ致度旨相談アリ余ハ比地所ヲ当社ヘ買入致度モノト考

フ

◎遠藤 兵庫ノ店ニ於テハ倉庫モ既ニ不足ヲ感セサルニ依リ

別段新タニ設備ヲ仰クヘキモノナシ併シ近來倉庫カ益奧深クナリタル故輕便レールヲ架設スルコトニ致シタシ

◎松尾 関東省ニ対スル商売ハ一昨日余ノ述ヘタル如ク尙尙大ニ見込アルヲ以テビクトリヤベイニ相当ノ地所ヲ買取リ置クコト必要ト考フ何レ出張取調ノ上、上申スル所アルヘシ

◎益田 長崎支店ニ於テ要スル設備ナキカ

◎松尾 長崎ハ追々有望ナル商売地トナルヘク又先般港務局ヲ置カレテ以來市街モ漸次増加ノ傾向アリ為メニ倉庫敷地ノ如キハ益々拵底ヲ來セリ先年竹田氏支店長タリシトキ木鉢ニ埋立地ヲ造リタルモ一部分

【三回ノ一 33 a】

ハ肥料会社又一部分ハ築港事務所ニ貸渡シアル為メ当社ハ僅カニ三分ノ一即チ一千坪余ノ地所ヲ使用セルニ過ギス之ニテハ何分手狭ヲ感シ石炭置場ニモ差支ユルヲ以テ過般上申許可ヲ得テ女神ノ地所ヲ購入シ石炭置場ニ供シツ、アリ然ルニ石炭ヲ雨曝ラシ日曝ラシト為シ置クトキハ大ニ品質ヲ損スルヲ以テ速ニ倉庫ヲ建設スルコトニ致シタシ現ニ三菱ノ如キモ港口ニ立派ナル倉庫ヲ建設セリ尙雜貨倉庫モ一棟位ハ入用ナルヘシ右ノ地所ハ実ニ買物ニテジヤードンノ

如キハ英國ノ御用炭置場ニ供スル為メ地所搜索中ナレトモ未タ見当ラサル有様ナリ

又長崎ノ店舗モ大分古クナリタレハ新築ヲ願ヒ度モノナリ

◎益田 次ニ東京ノ設備ハ如何

◎福井 別段ニ廉立チテ云フヘキコトナシ東京ニ於テハ幸ヒ三井銀行箱崎倉庫

【三回ノ一 33 b】

アリ雜貨倉庫ニハ事ヲ欠クコトナシ此節同行ニ対シ当社ノ為メニ特ニ三百坪余ノ倉庫建築方ヲ交渉中ナリ若シ此倉庫ニシテ出來スルトキハ是迄ノ如ク數個ノ倉庫ヲ借入ル、コトヲ止メ右専用倉庫ニノミ倉入シ倉番ヲ一名当社ヨリ付シテ受渡ヲ一切取扱ハシムルトキハ大ニ便利ナリト考ヘツ、アリ又石炭ノ為メニハ石川島ノ地所アリ差当リ不足ヲ感スルコトナシ

又横浜支店考モアランカ横浜ヨリ東京ヘ石炭ヲ船船ニテ積取ルコトハ大ニ不便ナリ若シ吃水十呎位ノ汽船ヲ造リ得レハ横浜揚ヲ止メテ品川ヘ直送スヘキモ此事ハ直チニ実行ヲ見ル訳ニモ行カサレハ是迄通り横浜ニテモ石炭ノ取扱ヲ為サ、ルヘカラス然ルニ横浜ニ於テ石炭ヲ渡スニハ從來ノ慣行上公明正大ノ取扱ヲ為スニ非常ノ支障アリ之ヲ防ク為メ倉庫ヲ建築スルノ必要ナキニシモアラス尙ホ

【三回ノ一 34 a】

此事ハ研究中ニ属スルヲ以テ北村氏トモ相談ノ上申立ツル  
コトモアルヘシ元來横浜ニテ石炭ヲ渡スニハ看貫ヲ為サス  
蓋シ看貫ヲ為ストキハ滞船料ヲ支払ハサルヘカラス結果ト  
ナリ却テ不利ナルヲ以テナリ乍去若シ倉船ヲ作り一度本船  
ヨリ倉船ニ積移シ看貫ノ上得意先ニ荷渡スルコト、セハ石  
炭受渡上正確ヲ保スルヲ得利益モ少ナカラスト考フ又横浜  
東京間ノ船船ハ石炭積ト棉花積トヲ問ハス郵船会社ノ船ニ  
テ積来リタルモノハ同社ノ達磨船ニ抛リ得ル故便利ナルモ  
其他ハ何レモ破レ船ニ依頼セサルヘカラス從テ少シク風波  
高キトキハ直チニ海難ニ遭遇スルノ恐アリ危険此上ナキヲ  
以テ船改良ヲ画策セサルヘカラス殊ニ昨今ハ毛類トツブノ  
如キ容積小ニシテ金高多キモノ、取扱漸ク増加シ此等ハ一  
艘ノ船ニテ五六万円ノ金高二上リ少シノ潮濡ヲ蒙ルモ直チ  
二四五千円ノ損失ヲ醸スノ有様ナレハ船ノ改良

【三回ノ一 34 b】

ヲ計ラシムル為メ当業者ニ資金ヲ貸与スルカ將タ又自カラ  
船船ヲ製造スルカ何レカノ方法ヲ執ラサルヘカラス尚未篤  
ト取調ノ上ニ答申スル所アルヘシ

◎北村 是ヨリ横浜支店ノ希望ヲ述ヘンニ横浜支店ノ事務所

ハ未タ古キニアラサルモ倉庫ハ非常ニ広古ク且茶ヲ倉入ス

ル為メニ建テタルモノナレハ生糸倉入ニハ不適當ナルノミ  
ナラス現ニ狹隘ヲ来シツ、アリ故ニ三階建位ノ大倉庫ニ改  
築致シタシ又事務所モ奥行浅ク箆箱然タル家ニテ日本第一  
ノ開港場タル横浜ニ於ケル密ノ事務所トシテハ余リニ狹隘  
ニシテ且不体才ナリ之モ事務ノ取扱ノ便利ニシテ外觀ノ見  
苦シカラサル様改築ヲ願ヒタシ

又東京送りノ船船等ノ事ニ付テハ福井氏ノ説ニ同感ナリ尤  
モトツブノ如キ金高物ハ鉄道便ニテ陸送スル方安全ナルヘ  
シ

【三回ノ一 35 a】

◎益田 今年ハ海ト鉄道トカ連絡スル筈ナレハ重要品ハ稅務  
手續ヲ了リタル後直チニ鉄道ヘ渡シ陸送スルコト、為ス方  
可ナラン

◎福井 東京ノ築港出来得ル迄ハ陸送ヲ取ルノ外ナキモ只今  
ノ鐵道線路丈ニテハ荷物ヲ搬送スルニ不足ナリ横浜東京間  
ノ線路ハ是非共四五本ニハ為サ、ルヘカラス

◎山口 横浜新橋間ハ四本ト為スコトニ定マリ居ルモ大蔵省  
ニ於テ金ヲ出サ、ル為メ未タ実施ノ運ニ立至ラサルナリ

◎益田 之ハ是非共速カニ四本ニセシメタシ高架鐵道出来ノ  
上ハ旅客ハ凡テ常盤橋内ニテ上リ下リヲ為スコト、ナルヘ

ク新橋ハ貨物ノ集散場所トナルヘシ

次二三池ハ如何

◎**浅野** 三池ニテハ別段設備ヲ要スルモノナシ棉花ハ追々門

司ノ方ニテ取

【三回ノ一 35 b】

扱フコト、ナリ其設備ハ同地ニテ為スコト、ナルヲ以テ之ヲ略シ社船ニテ口ノ津ヘ積ミ来ル雜貨ニ対シ阿房丸一艘口ノ津ニ現在アルモ尚一艘位ハ入用ナリト考フ

又三池石炭ヲ運搬スル船不足ナリ殊ニ三池粉炭ノ直接売リヲ取扱フ上ハ其方ノ運炭上ニ合ノ子船ヲ使用スルコトモ必要ニ付益々以船船ノ不足ヲ来ス之ヲ鉾山会社ノ方ニ於テ五十艘計リ新造スルコトニ致シタシ

◎**南** 口ノ津支店ニ於テ第一ニ願度ハ石炭荷役上ノ敏速ヲ計ル為プリーニ三箇ヲ増設スルニ在リ只今浅井監督ニ依頼シ費用見積中ナレハ追テ伺出ツルコト、スヘシ

次ニ鉾山会社ノ曳船ハ既存ノ分三艘并出来掛リタル分一艘アルカ此取扱ハ凡テ物産会社ニ属セシムルコトニ致シタシ蓋シ不慣ナル鉾山

【三回ノ一 36 a】

会社カ之ヲ取扱フヨリモ慣レタル物産会社カ取扱フ方船ノ

經濟ニ取りテモ利益ナルノミナラス是迄杵島郡ノ石炭ヲ運

フ為使用スル場合ノ如キハ内証ニテ之ヲ動カシタルカ如キ有様ナリシモ向後ハ物産会社ノ取扱ニ移シ公明正大ニ使用シタシ勿論之カ取扱ヲ為スニ付テハ鉾山会社カ曳船ノ為メ

ニ支出シタル經費ハ物産会社ニ貰ヒ受クルコトニ致シタシ又荷役ヲ迅速ナラシムル方法ニ付テハ團氏ノ持歸ラレタル器械ハ大ニ好結果ヲ呈シツ、アリ之ニ就テハ社船ノウインチヲ改良シ且ハツチヲ尚二個位宛増設スルコトニ致シタシ又本船二三艘入港セル場合ニ荷役ヲ速カナラシムル為メ段平船ヲ増加スルコト、致シタシ之ハ金ヲ貸渡シテ造ラシムルカ又ハ当社自カラ之ヲ造ラサルヘカラス

◎**浅野** 先年鉾山会社ニ於テ資金ヲ貸渡シ段平船五十艘ヲ造ラシメタル

【三回ノ一 36 b】

コトアリ

◎**南** 尚ホ五六十艘ハ入用ナリ一艘ニ付三百円位ツ、貸金セハ可ナランカ

又蛭子鼻ニアル鉾山会社ノ木造セツツ四棟ニ雜貨ヲ倉入シツ、アルカ之ハ鉾山会社ヨリ譲受ケ大屋新開地ノ方ヘ改築致シタシ

◎**益田** 倉庫、船、曳船、倉船等ノコトニ付テハ段々御意

見ヲ承リタシ尚人ノコトニ付テモ御氣付ヲ承知致シタシ元  
來人ヲ採用スルニ付テハ昨年來殊ニ注意シ參事ヲシテ十分  
撰択ニ勉メシメ又我々モ面會シテ人物ヲ見其上ニテ採用シ  
タルヲ以テ昨年七八月ノ交入社シタル人々ニハ必スヤ其選  
ヒ方ノ当ヲ失ハサリシコトヲ信ス尚昨今計算方ノ人ヲ商売  
方ノ方ヘ引拵ケテ使用シタル為計算方ニ從事スル者不足ヲ  
感スルニ至リタルカ夫等ノ補充方并前年來段々入社シタル  
高等商業学校、地方商業学校若クハ工業学校卒業生

【三回ノ一 37 a】

ノ採用方等ニ付心得ト相成ルヘキ事共ヲ承リタシ

◎飯田 各店共人手ノ不足ヲ感シ居ラル、様子ナルカ大阪ニ  
於テモ大ニ其不足ヲ感シツ、アリ昨年ハ余程差廻ハシヲ願  
ヒタル積リナリシ処考課狀調製ノ際取調ヘタル処ニテハ僅  
ニ前年ニ比シ一人ノ増加ノミ本年ハ何卒思ヒ切リテ沢山御  
採用アリタシ大阪支店ニ於テハ今日□人ノ人ヲ増加セラ  
ル、モ更ニ差支ナキノミナラス夫々仕事ヲ見出タシ給料ニ  
超過スル丈ノ効果ヲ拵ケ得ヘシ又是迄入社シタル人ノ成績  
ニ付テ考フルニ早速ニ役立ツハ高等商業学校卒業生ニテ地  
方商業学校卒業生之ニ次ク故ニ差向キ人員ノ入用ナル場合  
等ニハ商業学校卒業生ヲ差廻シ貫フコト一番都合宜シ

◎福井 東京ニ於テモ人手ハ常ニ不足ニテ少シ流行病ニテモ

アルトキハ直チニ

【三回ノ一 37 b】

事務ニ支障ヲ生ス殊ニ受渡掛員ノ不足ニハ困難ヲ感スル所  
ニシテ該掛員ニハ最モ信用ヲ措キ得ル人ヲ廻ハサルヘカ  
サルノミナラズ其掛員ノ働如何ニ依リテハ利益アリシ商売  
モ損失ニ歸スルコト、ナルヲ以テ一時ノ間ニ合ハセ人ヲ此  
掛ニ使用スルハ太甚面白カラス然ルニ今日ハ不得已間ニ合  
ハセノ人ニテモ使用セサルヲ得サル有様ナリ斯ル次第ナル  
故ニ受渡ノ如キ容易ニ出來ソウニテ其実容易ナラサル仕事  
ニハ予備ノ人ヲ平生養成シ置キ其人ノ性質力量如何ヲ考察  
シテ漸次他ノ掛ヘ廻ハスコトニ致シタシ依テ飯田氏ノ説ト  
同シク可成多人數ヲ御採用願度且其人ハ高等商業学校卒業  
カ若クハ之ト同等以上ノ学力アル人ニ願ヒタシ昨年ニ雇入  
アリタル内ニテハ高等商業学校卒業生成績最モ宜シク又大  
学卒業生モ申分ナキノミナラス比較的早く商売上ノ事カ分  
カル様ニ見受ケラル

【三回ノ一 38 a】

故ニ大学ナリ高等商業学校ナリ將タ又之ト同等以上ノ学力  
アル人ナリヲ可成多ク雇入レラル、様致シタシ

◎呉 人ノ事ニ付テハ少シク意見アリ先以テ会社ノ大方針ヲ

定メテ貰ヒタシ是迄ノ成行ヲ見レハ使用人ハ恰モ聖人ナルカノ如ク何ノ用事ニテモ出来得ルモノト認メラレ居ルニハ非サルヤノ感アリ乍去一ノ仕事ニ熟達スルコトハ其仕事ノ上ニ於テ最モ必要ニシテ且有益ナル事ナレハ綿花、綿糸、石炭等商売高ノ大ナルモノニ付テハ夫々専門ノ人ヲ用ヒ其商売ニ専従セシムルコト、セハ大ニ利益ナルヘシト考フ次ニ最モ必要ヲ感シツ、アルハ勘定方ニテ何レノ店ニテモ勘定方ニハ困難ヲ極メツ、アルモノ、如シ蓋シ勘定方ハ何人モ一生涯従事スルコトヲ嫌ヒ機会アレハ他ノ掛ニ転センコトヲ計ル斯クテハ会社ノ計算上不利ヲ醸スノ恐アレハ勘定方ハ終身役員トシ特別ノ取扱

【三回ノ一 38 b】

ヲ為スコト、シ且海軍主計学校ノ如キ三井ノ勘定方ヲ養成スル学校ヲ造リ尋常中学卒業位ノ人ヲ募リテ勘定方ニ仕立テルコト、シ右ニ一言シタル如ク之ヲ終身役員トスルト共ニ特別ノ取扱トシ仮令勘定方ニテモ本店計算課ノ主任トモ為リ得ヘク又海外ノ勘定方主任トシテ赴任スルモ道之アリト云フカ如ク前途ニ希望ヲ抱カシメ安ンシテ其職ニ従事シ得ルコト、シテハ如何

◎寺島 昨年差廻ヲ受ケタル高等商業学校卒業生ハ成績宜シ此度山中塩辭職シタルニ付テハ其代リトシテ納屋町ノ肥

掛ヘ勘定方兼出納方トシテ差廻ハスヘキ年輩ノ一人一人至意入用ナリ又昨今鉄并毛類ノ商売追々増加シツ有ルヲ以テ之ニ従事セシムヘキ人モ一人入用ナリ□商業学校卒業生ヲ御差廻ハシ願ヒタシ

◎上田 年輩ノ人入用ナルハ如何ナル故ニヤ

【三回ノ一 39 a】

◎寺島 金ノ請取方ヲモ取扱ハシムル故落付キタル人入用ナリ

名古屋ニテハ掛員ヲ諸方ニ派出セシメサルヘカラス故二人手ヲ要スルコトモ割合ニ多シ

◎飯田 人ヲ雇入ル、際ニハ十分体格ニモ御注意願ヒタシ近頃ハ学問ニ重キヲ置キタル故ニヤ病身ノ人多ク大甚困却ス

◎上田 御説ノ通り本店ニ於テハ容易ニ人ヲ採用セス容貌体格并生国ニ至ル迄之ヲ吟味ス茲ニ余ノ一ツ感シタルコトアリ日清戦争後社船ノ増加ニ伴フテ船員モ増加シ若手中ニテマセマチツクノ十分出来ル人モ輩出シ機関監督一名ヲ除クノ外機関長ハ凡テ日本人ナルノミナラス古クヨリ会社ニ在リタル機関長ノ内一人ハ辞シテ神戸ノ鉄工所ニ従事シ外ニ尚一人辭職セル人モアリ殆ント若手ヲ以テ満タサル、ニ至レリ此等ノ人ハ何レモ能ク勉強シ不時ノ出来事アル場合モ克ク之ヲ措断

【三回ノ一 39 b】

シ船舶入渠ノ際モ少シモ抜目ナク注意シ殆ント欠点ナキモ只一ツノ欠点ハ身体強壯ナラサルニ在リ尤モ二等機関士位迄ハ可ナルモ一等機関士若クハ機関長トナリ頭ヲ多ク使用スルニ至ルトキハ申合ハセタル如ク脳病又ハ胃病ニ罹リ之ヲ下船セシメ熱海若クハ大磯ニテ加療セシムルトキハ健康旧ニ復ス是ハ決シテ我儘ニテ骨休メヲ為スニ非ス必竟頭ヲ多ク使ヒ勉強ヲ為ス割合ニ養生ニ注意セズ運動不足勝ナルニ原因スルモノナリト信ス西洋人ハ大抵皆戸外ノ遊戯ヲ試ムルモ日本人ニテ之ヲ為ス者少シ蓋シ一欠点ナリ就テハ陸上ノ人ニモ養生方ヘ付テハ十分注意ヲ施サル、様致シタシ幸ヒ近來端艇并玉突等ノ設備アリ之等ニ対シテハ会社ハ相当ノ入費ヲ支出スルコトヲ厭ハサル考ナレハ各自亦其意ヲ体シ平素運動ヲ盛ニシ体力ヲ養ハレンコトヲ望マサルヲ得ス

【三回ノ一 40 a】

◎呉 神戸ニ於テハ運動ノ必要ヲ認め従来ノボートノ外ニライプラーリヲ設クルコト、運動ヲ盛ニスルコト、二付特ニ委員ヲ設ケ各掛ノ主任ヲ要員トシ今後毎週日曜日毎ニ郊外ノ散策其他種類ノ運動法ヲ講スルコト、シ各自月給ノ二分

ヲ出金シテ其費用ニ充ツルノ工夫中ナリ就テハ重役各位ヨリモ補助ヲ得大阪并兵庫店等トモ聯合シテ大ニ体育ノ發達ヲモ計リ度考ナリ

◎南 現行ノ使用人登用試験規則ニ依レハ子供ヨリ日給者トナリ又ハ日給者ヨリ月給者トナルニハ必ス試験ヲ受ケサルヘカラサル成規ナルカ之ヲ支店長ノ見込ニ依リテハ無試験ニテ日給者又ハ月給者ニ拔擢シ得ルコトニ改メタシ

◎上田 試験規則ヲ嚴ニシタルハ可成學問アリ何レヘ出スモ恥シカラサル人ヲ得タシトノ考ニ基キタルモノニテ日進月歩ノ今日ニ在リテハ月給者ハ大学

【三回ノ一 40 b】

若クハ高等商業学校位ハ卒業セルカ又ハ之ニ同等以上ノ学力アル者ナラサルヘカラス日給者トテモ亦同シク地方商業学校又ハ尋常中学位ハ卒業ノ学力ナカルヘカラス此主意ニテ試験規ヲ定メタル次第故何処迄モ之ヲ貫徹セサルヘカサルナリ尤モ門司若松等ニテ石炭ヲ汽車ヨリ請取り之ヲ船二積込ム事ヲ監督スル人ノ如キ又ハ棉花ノ検査人ノ如キハ一種ノ能力ヲ要シ必スシモ學問アル人ニアラサレハ採用セスト云フカ如キ嚴重ノ規則ヲ実行シ能ハサルニ依リ近頃涉外掛ヲ設ケタリ或ハ本店ノ主義嚴ニ過クルトノ御感シモアランカナレトモ之ハ今少ク実行ノ結果ヲ見ルコト、致シ

タシ

◎浅野 大学又ハ高等商業学校ノ人ヲ取ルニ当リテハ其試験ノ成績ヲ参酌スルコトモ必要ナリ勿論試験ノ成績ハ良好ナリシモ実務ニハ余リ役立タスト申ス如キ学問モ之ナキニシモアラサルモ要スルニ成績

【三回ノ一 41 a】

良好ナル人ハ才氣アル人カ然ラサルモ非常ノ勉強家ナルヘケレハ試験ノ成績ハ人ヲ採用スル場合ノコンシデレーション中ニ入レ置クコトニ致シ貫ヒタシ

◎上田 勿論此点ニモ注意シ試験ノ席次ヲ参酌シ居レリ即チ入社申込者アレハ先以テ其卒業ノ席次ヲ見タル上参事ニ於テ面会シ然ル後専務理事又ハ余ニ於テ面晤ノ上種々談話ヲ試ミ一度ニテ不十分ナレハ二度モ三度モ面会シテ当方ノ議論ヲモ持出シ其返答如何モ見テ之ヲ採用ス即チ試験成績モ勿論コンシデレーション中ニ入レアル次第ナリ

◎浅野 子供ハ試験ノ上ニアラサレハ日給者ニ採用シ得ス從テ受験ノ為メ勉強ヲ強ユルノ姿トナリ健康ヲ害セシムルコトナシトセス故ニ本人ノ働キ様如何ニ依リテハ無試験ニテ日給者ニ採用スルコトニ致シタシ而シテ余ハ向後コッピ―ボーイ専門トシテ小使ヲ使用致度考ナリ

◎上田 未タ各店ヘ通達セサルモ本店ニ於テハ子供ハ之ヲ全

廃スルノ方針ナリ

【三回ノ一 41 b】

蓋シ以前ハ父兄ニ於テ子弟ヲ商人ニ仕立テントスルニハ三井ノ如キ御店ニ奉公セシムルヲ最モ良好ノ方便ナリト信シ首尾克ク勤メ上ケタル上ハ之ニ家督ヲ讓ルト云フカ如キ有様ニテ三井ニ入ルレハ自然ニ立派ナル商人トナリ得ヘシト信シ子弟其者モ亦三井ニ奉公スルヲ難有感シタルナリ而シテ今日ニ於テハ尚世間ニテハ此觀念ヲ有シ居ルニモ不拘實際ハ大ニ之ト異ナリ為メニ父兄ヲ失望セシムルコトナシトセス即チ昔風ノ商家ナレハ番頭カ終日小僧ヲ監督シ夜ニ入レハ読書算術ヲ習得セシムル等陶冶ノ道ニ於テ至レリ尽セリト雖モ会社ノ如キハ之ト異ナリ勿論英語漢学算術等夫々教師ヲ定メテ其教ヲ受ケシムルコトニハ為シアレトモ彼等ハ早朝ヨリ夜ニ入ル迄茶煙草盆ノ取扱ニ將タ書状ノコッピ―ニ終日役々トシテ使用セラレ且執務時間後ハ重役以下一同退散シ跡ニハ一人ノ彼等ヲ監督スルモノナキ姿ナレハ自カラ悪習慣

【三回ノ一 42 a】

ニ感染シ易シ故ニ使フ方ニハ極メテ調法ナレトモ子供ノ一身上ヨリ考フレハ寔ニ氣ノ毒千万ナルノミナラス会社ニ其



子供ヲ托シタル父兄ノ考ニモ悖ルル次第ナレハ子供ハ可成之ヲ廢スル方針ニ定メ其代リニ二十歳前後ノ大供ヲ使用スルコト、スヘク社長ニ印ヲ貰ヒニ來ルニモコツピーヲ取ルニモ一々子供小使ヲ使役セス自分自ラ之ヲ為スヘシト申渡シ居レリ現ニ西洋人ノ店テハ子供ヲ使用セス倫敦支店ノ如キハ小使スラモ之ナク唯小使トモ稱スヘキ者ハ店員ノ退散後机ノ上ヲ整ヘ紙屑ヲ掃除シ戸締リヲ為ス位ニ止リ一人ニテ二三十室ヲ受持チ居レリ要之子供小使ヲ使用スル習慣ハ可成之ヲ打破スルコト、致シタシ

◎平田 函館ニ於テハ別段設備ト申ス程ノ事ナシ唯硫黄ノ取扱ヲ盛ニスル以上ハ之カ倉入用ニ供スル為他ヘ貸与シアル倉庫ヲ取戻サ、

【三回ノ一 42b】

ルヘカラズ  
(第三回了)

【四回ノ一 1a】

◎益田 第四回ノ一 一月二十一日 午前  
昨日ハ大分船ノ話出テタル故本日ハ運漕業擴張ノ可  
否ヲ議セム

運漕業擴張ノ可否

創立ト共ニ起リタル社有風帆船ハ頼朝秀吉ノ両汽船ノ補フトコロトナリ漸次隻数ノ増セル当社ノ汽船ハ現今山丸ヲ始メ七隻ニシテ孰レモ幸運ニ乗シ航海シ年々十分ノ積立金ヲナシテ利益ヲ得加之商業ノ補益スルコト尠少ニアラス現金二百三十三余万円ノ資金ヲ之ニ擲テルモ十分ノ価値アリト信ス然レトモ現今ノ社船八年々増加スル石炭ノ運搬ニ殆ント其大部分ヲ要セラレ他ニ大ニ社船ノ利用ヲ渴望セル砂糖豆粕其他ノ回漕ニ従事スルヲ得サルハ

【四回ノ一 1b】

大ニ遺憾トスル処ナリ特ニ露政府ノ北清ニ於ケル經營ハ不遠大ニ支那海ニ於ケル航海業ヲ發達セシムルノ原因タルヤ疑フ容レス又内地各港間ノ石炭運送ノ如キ到底日本形船ノミニヨリテ之ヲ為スヘカラス而シテ帝國汽船主ノ所有船ハ其数少ク而モ雇船契約ヲ重ニセサル結果其商売ニ及ボス危険実ニ少カラス左スレハ孰レノ点ヨリスルモ社船ノ増加ハ一望マシキコトナレドモ又是ニ要スル資金ノ必要及航海奨励法案ノ命運等ニ就キ熟考ヲ要スルモノアリ依テ其可否得失ヲ審議有之度及諮問候也

◎益田 本日八藤村氏出席ナキモ社船ノコトハ上田理事モ御

承知ナレハ御質問ナサルヘシ兎ニ角今日ハ七艘ノ船ヲ有シ何レモ

【四回ノ一 2 a】

使用ニ追ハル、有様ニテ直接ノ利益ヲ拵ケ得ルノミナラス之ガ為メ間接ニ当社ノ商務ヲ助成スルコト尠ニアラス當諸君ノ御意見ハ仔細ニ陳述セラレタシ

◎上田 砂糖商売開始以來社船ヲ爪哇ノ航海ニ用ユルコトトナリ為メニ船ノ不足ヲ感スルコト一層深キヲ致セリ蓋シ爪哇へ社船ヲ送ル場合ニハ往航ニ石炭ヲ新嘉坡へ送り復航ニ爪哇ヨリ砂糖ヲ積取ルモノナレハ砂糖ノ商売ニハ極メテ都合ヨキモ石炭ノ方ヨリ云へハ大ニ運搬力ヲ削減セラル、ノ結果ナルヲ以テ迷惑ノコトトナル即チ香港通ヒノ船ヲ爪哇航ニ充ツルトスレハ唯一口ニ云へハ香港行ノ船ヲ一艘爪哇へ振向ケレハ可ナルコトナルモ香港へハ一ヶ月ニ二航海出來得ヘキモ爪哇へハ約二ヶ月ヲ要スルヲ以テ之カ代船ハ三四航海分ヲ雇ハサルヘカラス故ニ石炭ニ取りテハ非常ニ迷惑ノ事共ナリ

【四回ノ一 2 b】

而シテ昨年ハ砂糖ノ商売成立シタルモ船舶払底ニシテ雇船

ニ困難ヲ感ジ其結果香港行ノ社船ヲ爪哇回航シタシカタメ石炭ノ蒙リタル不利不便尠少ニ非サリシ

◎益田 航海奨励法改正ノ結果本年外国ヨリ買入レタル船ハ

従前ノ半額シカ奨励金ヲ得ル能ハス從テ外国製ノモノヲ買フヨリハ材料ヲ買入レ日本ニ於テ造ル方利益ナリ然ルニ大船ヲ造ルトスレハ四五年前ニ比シ鉄類二三割方モ高価ナレハ資本ノ都合モ考慮シ又商売上ノ必要ヲ斟酌シ造船ヲ必要ト認ムレハ之ヲ決行スルコトアルヤモ計ラレサルモ船ヲ造ル時期トシテハ余リ適當ト云フヲ得ス

◎吳 北清地方ニ付テハ大阪ニテハ棉糸ヲ輸出シ兵庫ニテハ大豆大豆粕ヲ輸入ス故ニ之ヲ組合ハセ社船ヲ応用スルトキハ機敏ノ

【四回ノ一 3 a】

働ヲ為シ得ヘク他人ト競争上実ニ便利ナリ

◎上田 船舶課ニテ取調ヘタル社船ノ運搬表並ニ本年度船腹入用高調ヲ御參考トシテ左ニ掲グベシ

【表9】

【四回ノ一 4 a】

◎遠藤 昨年初布引丸ヲ牛莊商売ニ使用スルコトノ許可ヲ得

表9 三十二年度社船運搬表

上海	社船	150,216	}	203,461	}	社船 408,016 雇船 281,463 689,479 tons石炭		
	雇船	53,245						
香港	社船	212,654	}	302,541				
	雇船	89,887						
新嘉坡	社船	11,765	}	118,859				
	雇船	107,094						
其他	社船	33,381	}	64,618				
	雇船	31,237						
	社船運搬	雇船運搬						
石炭	408,016 吨	381,973 吨						
砂糖	242,887 担							
豆	148,118 担	329,416 担(□□)						
鉄鋼	4,304 吨							
棉糸	11,094 俵							
木炭	42,089 俵							
			Percentage					
			上海	香港	總計			
			社船 73.8	70.3	59.2			
			雇船 26.2	29.7	40.8			
石炭海外雇船数	84艘							
内地 "	67艘							

Estimate of Future Tonnage Arrang'mt.

一ヶ年	入用高	社船運送高	差引不足高
上海運炭	250,000	175,000	75,000
香港 "	350,000	245,800	104,200
新嘉坡 "	150,000	21,000	129,000
其他 "	100,000		100,000
砂糖	25,000	25,000	
大豆	30,000	16,000	14,000
	905,000	482,800	422,200

三航海致シ運賃ハ二十三銭ノ割ニテ計算シタルニ本船ヲ

【四回ノ一 4b】

碇泊セシメ置クヨリハ利方ナリシ商内ハ四日市一艘分代ハ神戸揚ニテ出来セリ其次ニ秀吉丸ヲ雇入レ往航ニハ天津へ滿船棉糸ヲ積ミ復航ニハ大豆大豆粕ヲ牛莊ヨリ積来リ四航海往復セリ内二航海ハ四日市揚又ニ航海ハ神戸揚ナリ此航海ニ於テ結局貳百五拾円ノ損失ヲ来シ大阪ト兵庫ト一日二十五円宛ヲ負担シタルモ本船ニヨリテ大阪兵庫兩店カ棉糸並ニ牛莊商売上便利ヲ得タルコトハ実ニ尠少ナラサリシナリ而シテ又秀吉丸積高ハ壹万三千担ニ過キサルモ此位ノ船ナレハ牛莊ニ於テ何時ニモテ現品ノ買持出来積込ニ差支ノ来サルノミナラス牛莊並ニ神戸四日市

ニ於ケル荷物揚卸ニモ一日ヲ要スルニ止ルヲ以テ非常ニ便利ナリ故ニ若シ牛莊商売ノ為メニ船舶ヲ新造スルトセハ三萬担以下ノ積量ニ致シ度又牛莊名古屋間ニ

【四回ノ一 5a】

一艘牛莊東京間ニ一艘ヲ通ハシムルコトニ致シタシ神戸ニ於テハ郵船会社並商船会社ノ定期船アルヲ以テ雇船ニ不都合ナシ本年モ大阪商船会社ノ船ヲ毎月一艘十八錢ノ運賃ニテ四月ヨリ十二月マテ約定セリ蓋シ五六兩月間ハ商売余リ成立タサルヤモ計リ難キモ其場合ニハ一航海位空船ニテ戻ルコトアルトスルモ尚二十錢内外ノ運賃ニ過キササルヲ以テ割安ナルヘシ即昨年ハ最低運賃十五錢十一月頃ニ至リテハ式十六錢五厘迄ニ雇船セリ他人ハ大抵三十錢位ニテ雇船セリ牛莊開河前并ニ閉河前ニ運賃暴騰スルヲ常トスレハ十八錢ノ約定ハ決シテ不利ニアラス如此神戸揚ハ雇船ニ差支ナキモ東京並ニ名古屋揚ノモノハ雇船極メテ困難ナレハ前ニ述ヘタル如ク此間ニ用ユル船舶ヲ一艘ツ、都合ニ艘新造スルコトニ願ヒタシ若シ牛莊商売間隙ナルトキハ旅順大連灣等ノ商売

【四回ノ一 5b】

用ユルモ可ナリ而シテ屯數八千二百噸内外トシ置ケハ最モ

便利ナリ

- ◎松尾 牛莊通ヒノ船八千二百屯位ノモノ最便利ナリ即チ秀吉丸位ノモノ至極適當ナレトモ今少シ造船方法ヲ改良セハ水入同一ニシテ千二百屯ノモノ千五百屯積ミ得ル様為シ得ヘシト考フビクトリヤベニハ棧橋ノ設備出來ル筈ナレハ積込方ノ時間ヲ要セズ且船ノ大小ニヨリ經濟ニハ左程相違ナキヲ以テ可成積量ヲ多クシ置ク方割方ナリ
- ◎益田 營口開河トナル上ハ大連灣ヨリ大豆大豆粕ヲ積込スコトハナカルベシ
- ◎松尾 鐵道ノ運賃安ケレハ營口ヨリモ大連灣積ノ方利益ナリ

◎益田 營口大連灣間ノ鐵道ハ何哩ナリヤ

◎松尾 九十哩ナリ

【四回ノ一 6a】

- ◎益田 九十哩アリトスレハ鐵道ヲ利用シテ大連灣ニ積出シ同所ヨリ積込ムコト、ナルヤ否ヤ疑ハシ
- ◎遠藤 従來川下シノ運賃ハ高価ナリシ故鐵道吉林へ開通スルノ曉ニ於テ鐵道ノ運賃低廉ナルトキニ川下シヲ止メ鐵路ニ依リテ大連灣へ持チ來ルコト、ナルヤ計リ難シ
- ◎松尾 吉林辺ノ大豆大豆粕ハ大連灣へ集中スヘシト信ス
- ◎益田 遠藤氏ノ説ハ式千屯ノ船ニテハ過大ナル故一千二百

噸位ニ致シタシタシ云フカ

◎松尾 船ノ送り方ニ依リテハ千二百屯ノモノヲ千五百噸モ積ム様ニ為スコトヲ得ルナラン

◎遠藤 船ハ造リ得ルナランモ牛莊ニテノ買方困難ナリ

◎松尾 是迄ハ舢下ニテ川下リヲ為シ陸上セスシテ其儘ニ持チ居タル故

【四回ノ一 6b】

買入方困難ナリシモ向後鐵道ニテ大連灣へ集中スルコト、ナレハ買入方ニハ困難ヲ見サルベシ

◎寺島 売方ニモ關係アリ小船ノ方便ナリ殊ニ四日市武豊等何レモ陸上ニ關スル設備全カラサルヲ以テ益小船ノ方都合宜シキ結果トナル

◎松尾 豆粕ノ商売ノミニ使用スル目的ナレハ小形ノ船ニテモ可然モ豆粕商売ハ常ニ繼續シテ存在スルモノニアラス時ニ他ノ方へ差向ケル必要起ル場合モアル可ケレハ矢張事情ノ許ス限りノ大形ト為シ置ク方可ナリ

◎遠藤 北清航ハ何レノ点ヨリ見ルモ千屯乃至千五百噸位ノ船ナルヲ要ス

◎長谷川 松尾氏ノ言フ如ク豆并ニ豆粕ノ商売ハ年中繼續シテ

【四回ノ一 7a】

アル訳ニモアラス旁豆並ニ豆粕ノ商売ノミヲ目的トシテ船ヲ造ルハ策ヲ得タルモノニアラス元來欧州通ヒノ船ハ其数少ナカラサルヲ以テ香港並ニ新嘉坡向ケノ雇船ヲ為スコトハ敢ヘテ困難ニアラス然ニ北清商売ニ用ユル船ハ其数比較的ニ少ナキニモ拘ラス大豆豆粕ニ関シ広東、厦門、及仙頭等ト牛莊トノ間ニ於テ商売ノ成立ツ時期ト日本ト牛莊トノ間ニ商売ノ成立ツ時期トカ同一ナルヲ以テ那威船主ノ如キハ此時期ニ際シ特ニ船ヲ東洋ニ廻ハス位ナルモ而モ尚船腹ノ不足ヲ來シ雇船方極メテ困難ナレハ茲ニ初メテ造船ノ必要ヲ來スモノナリ然リト雖モ限リアルノ資金ヲ以テ船舶ヲ構造セシトセハ各種商売ニ共同セラル、如キ便利ナル船ヲ造ルコトヲ目的トセザルベカラズ況ンヤ船ノ生命ハ数年ヲ以テ終ルモノニアラス少ナクトモ二十五年以上ハ繼續スベキヲ以テ十数年以後ノコトモ腦裡ニ画クノ必要アルニ

【四回ノ一 7b】

於テヤ現ニ遠藤氏ハ一昨年ハ「ローヤル」号ヲ大ニ便利ナル船ナリト云ハレタリ同船ハ貳千屯以上ヲ積ム船ナリ然ルニ只今承ル処デハ二千屯ノ船ハ不便也秀吉丸ノ如ク千二百屯ノ船カ便利ナリト云ハレタリ如此僅ニ一ヶ年ノ向ニテモ大ニ御説ニ變動アル位ナレハ今日便利ナル秀吉丸モ異

日再び不便ヲ感スルコトアルヘキヤ知ルベカラス故ニ何十年ノ後迄モ使用シ得ヘキ船舶ヲ構造スルニ方リテハ単ニ豆粕ノ商売ト云フカ如ク一部局ニ踞踏セス今少シク其觀察点ヲ広ケサルベカラス仮令豆粕ノ商売ニハ少シノ不便アリトスルモ一般商売ノ便宜ノタメニハ之ヲ忍ハサルヘカラス殊ニ又船ノ經濟ヨリ論スルモ式千屯ノ船ヨリハ式千五百噸ノ船ノ方利益ニシテ又式千五百噸ノ船ヨリモ參千屯ノ船ノ方割合宜シ旁以テ此等諸ノ点ヲ斟酌シ石炭積ニモ豆並ニ豆粕積ニモ適用セラルベキ「カーゴボート」ヲ

【四回ノ一 8a】

造リ「ウィンチ」ヲ多クシ「ハッチ」ヲ廣クシ又万一戰爭起リ御用船ニ供用セラル、コトアルヤ計ラレサルヲ以テ其場合ニ備フルタメ空氣取り明り取りヲ十分ニシ日本沿岸北清南清及馬尼刺ノ商売ニモ利用シ得ヘキ船舶ヲ造ルコト最モ便宜ニアラサルカ、而シテ天津牛莊上海神戸武豊等何レモ十三呎ナレハ差支ナカルヘク造船事業ノ進歩セル今日十三呎ニシテ二千乃至二千五百屯ノ船ヲ造ルコトハ敢ヘテ難キニ非ルベシ一例ヲ挙クレハ「ローヤル」号ハ喫水十七呎九寸ニシテ其積高二千百屯ナリ然ルニ其後二造リタル愛宕山並ニ富士山ハ喫水モヨク浅ク而モ其動揺ハ少クシテ乗船上不便ナク船長海員ノ如キトモ有明丸ニ乗ルヨリモ寧口前

二者ニ乗ルコトヲ好ムノ実アリ又香港ニテ南氏ノ取調ヘタル「ゼルマニヤ」ト称スル船ハ喫水十九呎三寸ニシテ積量式千八百屯也是等ノ事情ヨリ考フレハ支那各港

【四回ノ一 8b】

并ニ南洋ヲ目的トスル二千屯乃至二千二百屯ノ船舶ヲ十三呎乃至十四呎ノマキシムニテ造リ得サルコトナカルヘク其方大ニ利益ナルヘシト考フ之ヲ要スルニ限りアル資本ヲ以テ長生命ノ船舶ヲ造ラントスルニ方リテハ単ニ大豆大豆粕ト云フカ如キ一部ノ考ヲ去リ全体ノ便益如何ヲ熟考セサルベカラス若シ右ノ如ク全体ニ便利ナル船舶ナリトスレハ今日五六艘ヲ新造スルモ決シテ其使途ナキヲ憂ヒサルナリ

◎南 昨年下半年ノ入用噸數ヲ四十二萬屯トシ社船ノ内大船四艘ハ香港ニ航海トシ小形ノ二艘ハ上海三航海トシテ計算スルトキハ半年間ニ社船ノ運搬力三十萬屯トナリ差引十二萬屯即チ一ヶ月二萬屯ノ船腹不足ヲ來ス而シテ余ノ考ニ依レハ我社ノ輸出入商売ハ益増進スヘキヲ以テ此際一ヶ月式萬屯ノ

【四回ノ一 9a】

搭載力ヲ増加スルモ更ニ過剩ヲ感スルノ憂ナシ而シテ如何ニシテ此増加ヲ計ルヘキヤト云フニ余ハ一艘八千屯位ノ大

船ヲ造ル方利益ナリト信ス蓋シ八千屯ノ船ヲ航海セシムルノ費用ハ劍山其他ノ船ヲ航海セシムルニ比シ費用割安ニ当ルノミナラス口之津ノ積入ニハ他ノ小形ニ比シ日數ヲ要スルコト多カルヘキモ香港等ニ於ケル荷渡ニ至リテハ更ニ不便ヲ感セス現ニ彦山劍山ノ荷役ハ有明並ニ勝立ヨリモ荷役速ナルノ実歴ニ徴スルモ一艘ハ八千屯ノ船ヲ造リ今一艘千四五百屯ノ北清通ヒノ船ヲ造ルコト得策ナルヘキカ人或ハ南阿事件平定ヲ見ルノ日ハ御用船解雇セラレ運賃ノ下落ヲ來スヘキヲ思ヒ船舶屯數ノ増加ニ對シテ批難ヲ試ムル者アラシモ知ルヘカラサレトモ余ノ見ル所ヲ以テスレハ運賃市場ノ趨向ハ一般ニ騰貴ノ一方ニ在リト信ス況ンヤ我社ノ船舶ハ今ヤ各港ニ於テ

【四回ノ一 9 b】

信用ヲ博シ万一屯數ニ余裕アレハ之ヲ貸渡スルニ於テ毫モ其借主ナキヲ慮ルノ要ナキニ於テオヤ余ハ断言ス船舶屯數ノ増加ハ実ニ刻下ノ急務ナリト  
尚從來聊遺憾ニ堪ヘサルハ社船ノ船腹ニ余裕アル場合ニ於テ之ヲ同業者ニ貸与スルコトヲ非認セラレ居タル一事ナリ蓋シ彼等ハ若シ当社ニ於テ社船ノ貸渡ヲ為サ、レハ他ヨリ之ヲ借入レテ其当用ヲ充タスカ故ニ何モ局量ヲ小ニシテ貸渡ヲ否ルニ当ラズ從テ向後船ノ余裕アルカ又ハ半荷ハ当社

ノ荷物ヲ積ミタルモ半荷ハ余裕アルカ如キ場合ニハ之ヲ貸渡スルコトトセハ便利ナルヘシト考フ

◎上田 南氏ノ説如ク大船ヲ増加スルモ之ヲ香港並新嘉坡向ニ引当ツレハ使用ニ苦シムコトナシ殊ニ爪哇ノ砂糖商売アリ又時ト

【四回ノ一 10 a】

シテ米國へ棉花積取りノ為メ船ヲ仕立ツルコトアルヘク旁決シテ屯數ノ余裕ヲ感スルコトナカルヘシ且唐津、口之津、門司等ヨリ横浜へ石炭ヲ輸送スルタメニハ從來トテモ常ニ雇船ヲ使用シ其屯數モ少額ニアラス又松尾氏ノ取調ニヨレハ旅順大連灣地方ニハ一ヶ年二十万屯余ノ需用アリ現ニ昨年ニ於テモ北清地方ノ石炭注文ハ漸ク増加シ旅順大連灣ハ勿論威海衛并ニ膠州灣トモ新販路ヲ開始セリ勿論他日支那ニ於ケル炭鉱開發セララル、曉ニハ如何ナル結果ヲ呈スヘキヤ未タ知ルヘカラサルモ刻下北清地方ニ於テ日本炭ノ需用少ナカラサルハ疑ナキ事実ニシテ昨年度ノ如キ雇船不如意ナリシ為メ注文ヲ取逃カシタルコトモ少ナカラサリシ又ハ茲ニ意外ノ感アルハ牛莊並ニ天津閉河スルトキハ北清航路ニ使用セラル、小形船舶ハ大ニ

【四回ノ一 10 b】

閑散トナリ為メニ運賃之下落ヲ致スヲ常トスレトモ昨冬以來今春ニ掛ケテハ依然運賃カ高値ヲ維持スルノ点ニアリ尤モ香港并ニ上海ヨリ北清地方ニ赴ク船舶ハ十二月ヨリ一月ニカケ入渠又ハ繫留シテ修繕ヲナスヲ例トシトシテ上海埠頭二十余隻ノ汽船カ錨下シテ修繕ニ余念ナキヲ見ルコトアリ此等モ船舶不足ヲ繼續シタル原因ナルヘキモ兎ニ角船舶カ一般ニ払底ナルカ蔽フヘカラサル事実ニシテ我國ノ如キモ近年頓ニ船舶ノ増加ヲ來シタルニ拘ラス貿易ノ伸張非常ナルヲ以テ船舶ハ常ニ欠乏ヲ免カレサル有様ナレハ船舶増加說ニハ至極賛成ナリ

◎松尾 從來牛莊商売ニ従事スルモノハ競フテ小形ノ汽船ヲ借入レタルモ大連灣ニシテ間斷ナク大豆大豆粕ノ集中市場トナルトスレハ却テ式千屯位ノ船ヲ造ルコト適當ナラン

◎淺野 船ヲ造ルコトハ大ニ考慮ヲ要スル問題ナリ昨日常務理事ヨリ指示セラレタル所ニヨレハ当社ノ運轉資金ハ六百萬円ナリ然ニル仮リニ八千屯ノ船舶ヲ新造スルモノトセシカ約壹百萬円ヲ要シ資本ノ六分ノ一ヲ固定トナル元來物産会社ニ於テ從來既ニ資本ヲ固定セシメタルモノ多カリシニ此上更ニ資本ヲ固定セシムルハ策ノ得タルモノニアラス且ツヤ商売ノ幼稚ナリシ時代ニ於テハ自カラ運輸機關ヲ備フ

【四回ノ一 11 a】

ルノ必要ヲ感シタルモ商業發達ノ曉ニハ運輸機關ハ至テ其進捗ヲ致スヘキヲ以テ商業者自ラ之ヲ備フルノ要ナキニ至ルベシ故ニ我社ニ於テハ今後二三十年後ノ商界之成行ニモ着目シ大形新造ノコトハ之ヲ見合ハセ差向キ北清商売ニ使用スヘキ船舶不足ノ為メ商売上差障ヲ來ストセハ千五百噸乃至式千屯ノ喫水淺キ船舶一艘丈ヲ備フルコトニ

スレハ可ナラム

【四回ノ一 11 b】

◎小田柿 船ノ事ニ付一言希望ヲ述ヘンニ一昨々日来話ノアリタル風帆船モ今日ノ商売ニ適セストスレハ汽船ヲ一艘太平洋面ニ浮ヘルコトニ願ヒタシ

◎益田 荷物ノ都合宜シク且船ノ計算モ立ツヘキ場合ニハ何時ニテモ船ヲ廻スヘシ然ラサレハ廻スヲ得ス

◎小田柿 折角商売ノ進歩ヲ計リ且鐵道会社トノ關係モ付ケ引合フ様ニ勉ムヘシ

◎益田 先刻遠藤氏ハ一担十八錢ニテ約定セリトノコトヲ述ヘラレタリ一担十八錢トスレハ一ヶ年ノ運賃收入六万余円ニ過キスポロ船ナレハ夫ニテ引合フヘキモ千五百屯ノ船ヲ今日新造スルトセハ參拾万円内外ヲ要スヘキヲ以テ六万円位ノ運賃ニテハ到底



【四回ノ一 12 a】

引合ハサルナリ尚此計算ノコトハ船舶課ニ於テ取調ハシムルコト、スベシ

◎福井 足ノ浅キ石炭船ノ計算モ御調査願ヒタシ

◎益田 東京マテ汽船ニテ持来ルコトハ到底望ナシ

◎福井 十呎位ナレハ可ナラン

◎益田 三好博士八十呎位ニシテ千屯余ノ船ヲ造ルコトヲ得ヘシトノコトナレトモ遠州灘ヲ乗切ルコトヲ船長厭フトスレハ致方ナシ

◎松尾 三池口之津長崎間ニ用ユル船ヲ少シ多ク作り貰ヒタシ住之江口之津間ノ船モ不足ナリ

◎南 住之江口之津間ノ船ハ現在四十余艘ニテ八千屯ノ炭ヲ運搬スル次第故到底不足ナリ且船ヲ作ルト否トハ別問題トシ船ヲ多クスルノ利害ヲ調査シタルニ昨年下半年間二ハ可也

【四回ノ一 12 b】

杵島ノ炭ヲ積ミ来リタル船ヲ滞船セシメタルモ滞船料ハ一屯ニ付二十七錢ニ過キス然ルニ之ヲ陸揚シ更ニ陸ヨリ積込ムトスレハ陸上并ニ船側迄持チ来ル費用二十五六錢ヲ要ス從テ船舶ヲ十四五日間(住之江出帆二十三日間)滞船セシムルモ更ニ損失ナシ去レハ右ノ船ヲ倍數トスルモ経

濟上毫モ不利益ヲ来スコトナシト考フ

◎益田 船ノ方ハ夫レニテ不利益ヲ蒙ラサルヤ

◎南 引合フモノト見ヘ船頭ハ却テ滞船ヲ喜ノ感アリ

◎浅野 船頭ハ一向構ハサルモ船主ハ迷惑ヲ蒙ルモノ、如シ

◎益田 三池口之津間ノ船ハ如何

◎浅野 凡ソ五十艘不足ナリ

◎南 住之江ヨリ口之津迄モ凡五十艘入用ナリ

【四回ノ一 13 a】

◎益田 船ノコトニ就テハ大抵諸君ノ意見ヲ承リタリ此上ハ計算ヲ立テ、利益トナレハ新造スルコトモアルヘシ先船ノコトハ之レニ止メ次ハ石炭部ヲ門司ニ新設スルノ可否ニ付討議スヘシ

石炭部ヲ門司ニ新設スルノ可否

三池石炭ノ販売ニ得タル經驗ハ能ク他ノ雜種石炭ノ取扱ニ応用サレ会社ノ信用ト相俟ツテ年々販売高ノ増進著シク昨三十二年度ニ於ケル内外各地ノ取扱高ハ無慮壹百五十拾万屯ニ達セントス其大部分ハ三井鑛山会社ヲ初メ貝島太助氏其他ノ鉱業家ヨリノ委託荷物ナレハ取扱ニ最モ親切且周到ナラサルベカラサルト同時ニ一方ニ於テハ販売方ニハ三菱会社北海道炭鉱会社安川

【四回ノ一 13 b】

商店等ノ勁敵ト競争ノ覚悟ナカルヘカラス是等ノ諸点ヲ熟考スルトキハ炭坑所在地ニ近接セル門司ニ於テ新ニ石炭部ヲ設置シ敏活ニ運動セハ今日ニ比シ幾分ノ便利ヲ感セシカ内外各店共ニ關係スル所多キヲ以テ特ニ慎重ニ審議セラレタシ

◎益田 曩ニ商品ノ種類ニヨリテ特ニ一部ヲ設ケ其商売ニ最モ密接ノ關係アル支店ヲ首部トシ所謂分業主義ヲ実行シタル結果大ニ該商売ノ發達ヲ助ケタルモノ、如シ從テ亦之ニ做フテ石炭部ヲ門司ニ新設スルトキハ石炭商売ノ發達ヲ計リ得ベキカ是レ茲ニ諸氏ノ意見ヲ叩カントスル所ナリ尤モ此問題ガ共通計算規定ニ關スル件ヲ諮問シタル後ニ議題トスルノ至當ノ順序ナレトモ出席員ノ都合上

【四回ノ一 14 a】

先ツ以テ本件ヲ議スルコト、ナシタル  
従前ハ石炭ノ引合方区々ニシテ大ニ其統一ヲ欠キタル為メ兩三年前石炭部ヲ東京ニ置キ以テ本商売ヲ總轄セシムルコト、為シタルカ一昨年余ノ香港並ニ上海ヲ巡回シタル結果香上兩店共偏ニ本店石炭部ノミニ依頼シ活動ノ自カラ遅緩ヲ極メ神經亦内地石炭ノ狀況ニ遠ルノ弊アリ門司ノ石炭相場ハ何程ナルヤノコトモ香上兩店ニ通シ居ラス又香上兩地

ノ炭況ハ門司ニ於テハ全然不明ナルカ如キ有様ニテ其間一ノ脈絡ナルモノナシ是必竟本店ノ指図ノミニ依リテ進退スルノ極此弊ニ陥リタルモノナルコトヲ感知シ爾來門司炭ハ直接引合ヲ為スヘキ旨ヲ命シ其後大ニ神經ノ銳敏ヲ致セリ然ルニ近頃ニ至リ鉦山会社ヨリ石炭部ヲ

【四回ノ一 14 b】

門司ニ設クルコトニ付相談アリ蓋シ石炭部ヲ東京ノ如キ石炭ニ緣故薄ク神經銳敏ナラサル処ニ置クハ不可ナリ殊ニ近來日本炭ヲ支那各港ニ売込ム事ニ付テハ一般ニ非常ノ發達ヲ來シ香港並ニ上海ニ赴キテ石炭ノ引合ヲナスコトハ實ニ容易ナルコトヲ悟リ何人ニテモ直ニ香上ヘ渡航□□有様トナリ此商売ハ最早物産会社之專売ニアラズ且門司ニ在ルトキハ此等競争者ノ動靜ヲ偵知スルノ便ナルノミナラス常ニ石炭ノ間ニ起臥シ日々耳ニスル所モ石炭談ヲラサルハナキ有様ナレハ斯ル場所ニ適當ナル人ヲ置キテ海外トノ引合ニ當ラシムルハ最モ必要ナリト云フニ在リテ三池炭ハ引目ニハ關係ナシト思ヒタル鉦山会社ヨリ却テ石炭ヲ門司ニ置クノ企望ヲ申出テラル、ニ至リタリ

【四回ノ一 15 a】

要スルニ従前ハ香港、上海、新嘉坡等ニ支店ヲ有シ居タル

コトハ石炭商売上我社ノ他競争者ニ勝リタル所ナリシモ今日ハ何人モ右等各地へ出掛クルコトトナリ更ニ優劣ノ理由トナラス唯僅ニ倫敦ニ支店ヲ有スルコトノ一事カ聊カ他ニ超越スルノミナレハ此際門司ニ石炭部ヲ新設シテ大ニ本商売ニ尽瘁スルコトハ必要ノコトナルヘキカ尚此点ニ付十分意見ヲ述ヘラレタシ

尚一言御注意迄ニ述フヘキハ前ノ議案ニハ三十二年度ノ取扱高百五十八万屯トアルモ本年ノ取扱予算高八門司ノミニテモ壹百万噸ニ達シ此他三池七十万噸杵島唐津等三四十万屯ニ上ルベケレハ総取扱高ハ約二百万屯トナルベク我國ノ石炭産出高ノ三分ノ一弱ハ即チ我社ノ取扱ニ

【四回ノ一 15 b】

属スヘキモノナリ

◎**水谷** 是迄門司ニテ他ヘ石炭ヲ売却シタル場合ニ何故ニ斯ル手筋ヘ売却シタリヤ等ノ小言ヲ蒙ルコトアリ蓋シ門司ニ於テハ其手筋ヘ石炭ヲ売ルトキハ我社之商売上不利益ヲ計ルコトヲ知悉シ居タランニハ素ヨリ商売之駆引上売却ヲ見合スヘキモ一方ニ於テ坑主ヨリ売却ヲ迫ラレ他方ニ於テ斯ル事情ヲ審ニセサルタメ往々前文ノ如キ行違ヲ来スコトアリ故ニ門司ニ於テ夫等ノ駆引ヲ為シ得ヘキ石炭部ヲ置クコトハ焦眉ノ急務ニシテ一日モ速〔急〕を抹消〕ニ其実行ヲ

望マサルヲ得ズ

◎**寺島** 是迄取扱上ノ經驗ヨリ云ヘ八門司ニ石炭部ヲ置カル、コトハ至極結構ナルコトト考フ現ニ門司并ニ若松ト直接

【四回ノ一 16 a】

取引ヲ開キタルノミニテモ大ニ便利ヲ受ケ居レリ元來一昨年共通計算規程ヲ定メ各取扱店中主モナル一店ヲ首部トスルコトニ定メラレタル時ニ当リ石炭部ハ門司ニ置カサルヘカラストノ議論出テタルモ其論行レズ遂ニ東京ノ石炭課ニ於テ本商売ヲ統一セラル、コトトナリ爾來暫ク実行シタル結果其不便ヲ感シタル所ヨリ門司若松へ直接引合ヲナシ得ルコトヘ改正セラレタルナリ此点ヨリ考フルモ石炭部ヲ門司ニ置クコトハ極メテ便宜ノ方法ニシテ何人モ異論ヲ挟マサル所ナルベシト考フ

◎**小田柿** 門司ニ石炭部ヲ置カル、コト、ナレハ内外共石炭ノ取扱ハ凡テ該部ニ於テ統轄スルカ

◎**呉** 従來三池石炭ノコトニ付テハ凡テ本店ヨリ之ヲ指図セ

【四回ノ一 16 b】

然ルニ門司ニ石炭部ヲ設クルトキハ三池石炭ノ取扱モ門司

二一任シ部長ニ於テ本店ノ指図ヲ俟タス之ヲ処理シ得ルコト尚大阪綿花首部ノ棉花糸商売ニ於ケルカ如クナル乎

◎益田 大阪綿花首部ノ権限ニモ限界アリ何事モ本店ノ指図ヲ俟タス決行シ得ルニアラス石炭部ニ於テモ亦之ト同ジク其権限ニ区域ヲ立テ三池石炭ノ引合ニ関スル大方針ノ如キハ素ヨリ本店何出テ本店ハ之ヲ鉱山会社ニ引合シメル上指図スルコト、ナルベシ

楮石炭部ヲ門司ニ置クモノト仮定スレハ杵島郡ノ石炭ノ如キ長崎支店ノ取扱ニ属スルモノハ如何スヘキヤ

◎水谷 杵島郡ノ炭ハ長崎ニ出テ同地方ニ於テ販売セララル、モノニシテ門司ニテハ関係極メテ薄シ從テ是迄石炭部ニ

於テ干渉スルモ其実効ナシ

◎福井 門司ハ石炭ヲ最モ多ク取扱フ仕入地ナリ

◎益田 門司ハ石炭ノ主腦地ナリ他ノ石炭商ノ動靜ニ逐一之ヲ詳ニスルコトヲ得例ヘハ安川ハ如何ナル行動ヲ為シツ、アリヤ又何人カ香港ヘ赴キタルヤ等ノコトハ東京ニ在リテハ一向分ラサルモ門司ニ在ルトキハ百事手ニ取ルカ如シ其地採掘高並ニ貯炭ノ増減等細大トナリ之ヲ詳知シ得ヘシ勿論唐津炭ノ状態並ニ北海道炭ノ有様等ハ報告ヲ得テ之ノ知了スルノ外ナキモ要スルニ石炭ノ重モノル集散地ハ門司ノ

【四回ノ一 17 a】

外ナラサルヲ以テ同地ニ主腦ヲ置クコトハ商戦上最モ必要ノ事ニ属ス

◎寺島 白水ハ東京杵島ハ長崎ニテ取扱フコト尚支那棉ヲ長崎ニテ取扱ヒ得ルカ如クセハ差支ヲ見ス

◎平田 石炭部ヲ門司ニ置クコトハ至極可ナリト思考ス常磐

炭ハ全体ノ石炭相場ヲ左右セス否ナ門司ノ相場ニ係テ自ラ左右セラル、モノナリ從テ特ニ之ヲ東京ニ於テ取扱ハシムル如キ方法トシテ可ナラン

◎水谷 常磐炭ハ海外ニ関係ナシ此関係アルハ杵島ト唐津ノミ尤モ之トテモ今日東京ニテ統轄セルヨリ推セハ門司ニテ統轄スルモ可ナリ

◎益田 門司ニ居ル人丈ニテハ平日ノ用務ニ追ハレ取調モ成リ難シト考ヘ此度参事長長谷川氏ヲ門司ニ常置シ實際ニ付調査ノ上如何ニ其関係ヲ定ムレハ可ナルヤヲ研究シ其上叡石炭部ヲ門司ヘ置クコト必要有益ナレハ其事ニ取計フ談ナリ要スルニ大体ニ於テ諸君中ニ異論ナキモノト認ム

【四回ノ一 18 a】

尚兪石炭部設置ノ上ハ門司トノ関係ヲ一層機敏ニシ二百万屯ノ売捌上支障ヲ来サ、ル様各店共十分尽力セラレンコト

ヲ求ム惟フニ豊筑炭ノミニテモ百万屯ノ大嵩ニ達シ委託主  
モ一二人ニ止マラサル事故門司ニ在リテ直接委託主ニ接ス  
ル人ハ随分種々ノ苦情モ聞クナルヘク其間ニ処シテ委託主  
ヲ満足セシムル様措弁シ行クノ困難ハ中々推想ノ外ニ在ル  
ヘシ就テハ各販売産地ノ人ニモ十分奮勵競争者ニ後レヲ取  
ラサル様売捌方ヲ努力セラレタシ桑港ヘハ容易ニ日本炭ノ  
輸入ヲ見ルコト能ハサルヘシトハ考フレトモ小田柿氏カ先  
方ニ在リテ時々売捌方ニ付電信シ来ルコトハ大ニ其勞多シ  
トスル所ニシテ出来得ルナレハ少々安直ニテモ布哇并ニ桑  
港ヘハ売込度モノト考ヘツ、アル次ナリ

【四回ノ一 18 b】

各支店ニ特別掛り員ヲ置クノ件  
各店ニ於テ従来取扱ヒ又ハ今後取扱フヘキ商業ニ付テハ是  
等ノ經驗ニ徴シ特別ニ一部若クハ掛リナルモノヲ設ケ其掛  
員ヲシテ専心其事業ニ係ル事項ヲ調査研究セシムル事ニ大  
ニ有益ナルヲ確信ス即チ本店營業部中ノ毛類掛及ヒ棉糸布  
掛等はナリ依テ各支店ニ於テモ其例ニ倣ヒ之ヲ設クルハ有  
益ノ事ナルヲ以テ各自其必要ト認ムルモノニ付陳述有之度  
候事」

張ヲ施スヘキ大切ノ仕事ニ付テハ兼務ハ面白カラズ必スヤ  
専心專意之レニ当ルノ主任者ヲ定メ以テ十分力ヲ尽サシム  
ルコト該商売ノ擴張上必要ニシテ又上策ナリト信ス是迄各  
店ニテハ雜貨掛

【四回ノ一 19 a】

雜品掛又ハ売買掛等ノ名称ヲ用ヒ総合一括諸般ノ品物ヲ取  
扱ハシメタル有様ナルモ其内獨立セシムルノ要アルモノナ  
キヤ若シアリトセハ茲ニテ陳述セラレタシ

◎**名古屋** 差当リ綿布ノ掛ヲ獨立セシメタシ此他毛類、器械

其他種々ノ雜貨類アルモ何レモ未タ取扱高小ナレハ兼任セ  
シメテ可ナリ唯綿布ノミハ向後尤モ大ナル商売トナルヘク  
且其取扱綿密ニシテ且之ニ慣熟スルヲ要スルノミナラス少  
シク器械ノ心得アルコトヲ必要トスルカ故ニ此掛リ丈ハ獨  
立セシメ十分其發達ヲ計ラレ度考ナリ

◎**福井** 東京ニ於テハ金物掛ヲ置クコトニ致シタシ此掛ノ可  
減各店共之ヲ置キ以テ互ニ氣脈ヲ通スルコト、致シタシ棉  
花掛カ出来レハ綿花掛同志カ氣脈ヲ通シ棉布掛カ出来レハ  
又

【四回ノ一 19 b】

棉布掛相互ニ氣脈ヲ通シ以テ商売ノ擴張ニ資スルコトヲ得

如此各店各事情ヲ異ニスレトモ可成同一ノ掛ヲ置キ其名  
前モ同一ニスルトキハ商売上大ニ便宜ヲ得ヘシ今夫レ金物  
掛ノ名称ハ何レノ店ニテモ無之ヲ以テ東京ノミ之ヲ置クモ  
果シテ夫丈ノ効能アルヘキヤ否ヤ大ニ躊躇スル所ナレトモ  
大阪ニテモ亦名古屋ニテモ之ヲ置キ同身一体ノ働ヲナセハ  
其結果大ニ見フヘキモノアリト信ス

尚又是ハ一般ニ関係スル事ナルカ序ニ前ニ述ブル事トセシ  
ニ夫ノ統計ヲ明ニスルコトハ商売上極テ必要有益ナル事ニ  
テ各店共希望スル処ナルカ之ハ本店本部中ニ特ニ統計掛ヲ  
設ケラル、カ又ハ各支店ニ此種ノ掛ヲ設クルコトニ致シタ  
シ宜布御評議ヲ仰ク

◎益田 此事八名古屋ニテ大阪並ニ東京ノ人カ集リタルトキ  
モ談合アリタリトノコトナルカ実ニ尤モ千万ノ事ナリ就テ  
ハ參事中ニ特ニ

【四回ノ一 20 a】

統計掛ヲ設ケ之カ取調ニ当ラシムルコト、為スカ一番宜シ  
カラム而シテ統計掛ノ平日勉ムヘキコトハ日本ト海外ノ貿  
易ニ関係スルコトヲ取調フルカ其職務ノ一ナリ即チ大蔵省  
ノ取調ヘタルモノニテモ不十分ノ処アレハ之ヲ審実調査シ  
又大蔵省ノ取調ヘサルモノモ税関其他ニ付調査スヘシ又會

社ノ營業セル商品ニ付テノ産出額販売地ノ模様等ヲ調査ス  
ルモ其職務ノ一ナリ以上ハ常務トシテ為スヘキ仕事ニ屬シ  
其他ハ各店ノ依頼ニヨリテ取調ヲナス而シテ此等取調ノ結  
果ハ各関係店又ハ依頼店へ報告スルコトトス勿論古キ事迄  
モ取調ヘ統計鑑ノ如キ浩瀚ノモノヲ造ルモ功能薄シ時ニ役  
立ツモノヲ調査シ參考ニ供スルコトトスヘシ  
凡ヘテ今後ノ商売ハ統計ニ依ラサルヘカラス從テ此掛カ出  
來テ十分ノ働ヲ示ストキハ其利益勘ナカラサルヘシ尚參事  
中ノ設計

【四回ノ一 20 b】

掛ノミニテハ不足ナレハ各店ニモ其掛ヲ置クコト、スルモ  
可ナリ

◎松尾 旅順并ニ大連灣ニ於テハ種々ナルモノ、注文ヲ受ク  
之ハ此ニ細ナルモノニテモ引受ケ置ケハ後日ノ商売ヲ助長  
スルノ基トナル故可成取扱ヲ為ス考ナルカ其内石炭並ニ棉  
糸等ハ夫々其掛へ引合ヘハ可ナルモ其他ノ雜品ニシテ何レ  
ヘ引合可然哉分カラサルモノアリ引合上太甚不便ヲ感スル  
ニ付各店ニ関東省掛ヲ設ケ其掛へ引合ヘハ宜布様ニ到置貴  
ヒ度シ

◎福井 金物生糸ト云フカ如ク夫々ニ掛ヲ設ケ其仕事ニノミ  
專從セシムルトキハ其商売ハ非常ニ發達ス名古屋ニ於テモ

金物ノ取扱アレハ金物掛ヲ置キテハ如何

◎寺島 雜貨ノ取扱ハ口数非常ニ多キモ取扱金高少シ然ルニ一々人ヲ區別スレハ多人数ヲ要ス尤モ人ヲ増加シ掛リヲ

【四回ノ一 21 a】

區別スレハ夫丈ノ功能ハ必ラスアルヘキモ今日ノ処実行出来難シ

◎益田 福井氏ノ各店可成掛ノ名称ヲ同一ニスルコトハ余ハ同意ナリ一方ニテハ雜貨掛ト云ヒ一方ニテハ売買掛ト呼ビ居リテハ甚タ錯雜ヲ来スノ恐レアリ然レトモ各店悉ク其商売ヲ異ニスルニヨリ何レノ店ニモ同一ノ掛ヲ置クコトヲ得ス東京並ニ大阪ハ大抵同一ノ掛ヲ置キ差支ナカルヘキモ名古屋ニハ之ヲ応用スルコト能ハス殊ニ門司ノ如キニ至リテハ石炭ノ取扱重モナレハ同店ニ毛類綿布等ノ掛ヲ置クノ要ナキハ自明ノ理ナリ從テ福井氏ノ論ハ大体ニ於テハ可ナレトモ東京ト大阪ニ店ノ外ハ行ハレ得ス

◎浅野 三池支店ノ如キハ雜品掛ヲ二ツニ分ツコトスラ六ツカシ故ニ余ハ必スシモ掛ヲ区分セス商品毎ニ首部ヲ造リ雜品掛ハ首部ノ指図ニヨリ働クコト、セハ可ナリト考フ即チ大豆大豆粕ノ

【四回ノ一 21 b】

レポートハ兵庫ヨリ棉花ノレポートハ大阪ヨリ又棉布ノレポートハ東京ヨリ何レモ其首部ニコノ指図ヲ得之ニ依リ売込方ノ世話ヲ為スコト、セハ差支ナカラン

◎益田 大ナル商品ニ付テハ首部ヲ造ルモ可然モ小ナル商品ニ付首部ヲ造ルハ如何ナルヘキヤ寧ロ関西九州ハ大阪ヲ首部トシ同店ヘ問合ハセ相場ノ變動等モ同店ヨリ通知シ又静岡以東並ニ北海道ハ東京ヲ首部トシ名古屋ハ品物ニヨリ大阪又ハ東京ノ何レカヘ問合ハスコト、スル方可ナランカ

◎浅野 是迄東京ノ營業部力有スル銑鉄力神戸ニ在リ大阪支店ノ有スル銑鉄モ又神戸ニアリ而シテ其仕入時異ルカタメ双方値段異リ從テ三池ニテハ双方ヘ値段ヲ問合ハセ安キ方ヨリ買付ケ販売シタルカ如キコトアリシ

【四回ノ一 22 a】

◎福井 夫レハ金物ニ付テノ重モノナル引合店ハ何レナルヤヲ定メ置ケハ可ナリ而シテ金物ノ商売ノ經驗アリ且品物ヲモ持チ居ルハ東京ナレハ金物ニ付テハ東京ヲ引合店トシ又器械ニ付テハ大阪モ東京モ同一ノ經驗アル故何レニ問合ハスモ可ナリト考フ

◎寺島 掛ヲ区分シ一人數掛兼担トスルコトニシテハ如何  
◎福井 何レ商売ハ首部ニ依ツテ為スコト、ナラン金物モ亦引合店ヲ定メ恰モノノ部ノ如キ形トナス

◎**呉** 東京ノ鉄力神戸ニアリタルハ変則ナリ平素神戸ニアル鉄ハ大抵皆大阪ノモノナリ故ニ関西ノ各支店ヨリ現物ノ引合ヲ為スニハ大阪へ申送り之ニ反シテ大口ノ注文ハ東京營業部へ引合ヒ營業部ハ他ノロト組合ハセテ上海支店へ申送り漢口ヨリ買付ノ上社船便ヲ利用シテ之ヲ取寄スルコト、セハ可ナラン

◎**益田** 品物々々ニ依リ首部ヲ定ムルコトハ一説ナリ但シ首ハ主部ト改ムル方穩当ナラン

尚如何ナル品物ニ付テハ何レノ店ヲ主部トスヘキヤハ特別委員ヲ定メ其委員ニ取調ヲ附託スヘシ付テハ左ノ五名ヲ氏名スヘシ

飯田、福井、長谷川、呉、寺島

◎**呉** 神戸ニ於テ曩ニ船舶掛ヲ輸出、輸入、棉花輸入ノ三掛ニ区分シタル処其結果大ニ宜シ而シテ神戸ニハ商売少キ故商売ニ関スルコトハ雜貨掛ニ於テ之ヲ兼担セリ此外ニ為替ト雇船トノ特別仕事アリ為替ハ是迄勘定掛ノ附属仕事ト為シ居リタルモ銀行ヲ廻リテレートヲ聞キ合ハセ又大阪ト電話ニテ打合ヲナス等優ニ半日ノ仕事アリ神戸ニ於テ勘定掛員尚一名入用ナルハ即チ此仕事アルカ故ナリ尤モ他店ニ於テ為替掛ヲ

【四回ノ一 22 b】

分設スル仕組トナレハ神戸ニ於テモ特ニ為替掛ヲ設ケテ可ナリ又雇船ハ是迄支店長直轄ノ仕事トシ通信掛ヲシテ之レヲ取扱ハシメタリ之モ依然通信掛ノ取扱ト為シ置キ差支ナキモ其下ニ働クヘキ助手一名入用ナリ

◎**益田** 為替掛ハ支店長次役ニ於テ之ヲ取扱フコト能ハサルヤ勘定掛ハ勘定専門ナリ然ルニ為替掛ニハ大ニ一般營業上ノ頭ヲ要スルヲ以テ之ヲ勘定掛ニ兼任セシムルハ面白カラス

◎**呉** 次役ハ輸出掛主任ノ任ニ当リ且シブピングノ事ヲ監督ス此上外廻リハ出来難シ

◎**益田** ラリー社ニ於テ為替ノ事トシツピングノ事ハ非常ニ之ヲ重視シ二人ノ支配人ヲ置キ一人ニハ為替ノ事ヲ掌ラシメ他ノ一人ニハシツピングノ事ヲ取扱ハシム外廻リハ若手助手ニテ可ナリ

【四回ノ一 23 b】

支店長次席ノ人ハ為替ノ事ニ頭ヲ入レ夫々指揮ヲ与フルノ必要ナキヤ

◎**呉** 然ラハ勘定掛ハ勘定ノミトスベシ  
◎**益田** 銀行ヨリレートヲ聞キ廻ルニハブローカーモアリ又

【四回ノ一 23 a】



若手ノ人ヲ助手トシテ使用スルモ可ナリ而シテ大阪ノ希望  
ヲ聞キ為替ノ取極ヲ為スコトハ支店長ノ下ニ機敏ナル次席  
者ヲ置キ之ヲシテ取扱ハシムルヲ可トス但為替掛ヲ特ニ設  
クルノ要アリヤ

◎呉 助手ハ通信掛ニ附屬セシムレハ可ナリ

◎益田 先刻松尾氏ヨリ関東省掛ノ設置説出テタルカ此事ハ  
他へ出張スルモノ、身ニ取りテハ実ニ重大ノ事ナリ即其注  
文物ニ付問合ハセノ書状ヲ発スルモ更ニ其返事ナキ様ノ事  
実アリテハ出張員ハ立チ場ヲ失フコト、ナル故ニ関東省掛  
テフモノヲ特設セル訳ニハ行カズト

【四回ノ一 24 a】

スルモ此点ニ付テハ特ニ各店ノ注意ヲ喚起セサル可カラズ  
◎福井 此事ハ関東省ノミナラス向後追々揚子江沿岸地方へ  
モ人ヲ派出スルトセハ之レ等ニモ関鍵ヲ結局某ノ支店ニ明  
カニ属スルカ如キ商売ニ付テハ其支店ノ長又ハ当該店へ申  
送ルヘク然ラサレハ参事ニ於テ力ヲ致スコト、スル外ナシ  
◎益田 注文物アリタルトキ東京営業部長又ハ大阪支店長ニ  
申送ツルモ其品物カ重高モノニアラサレハ先以大口ノ入札  
物等ニ取掛リ出張員より申来リタル小口ノモノハ後ト廻シ  
トスルコトナシトモ限ラス故ニ一店ニ必ラス一名ノ通信員  
ヲ置キ其者カ書状ノ往復ヲ取調べ若シ支店長へ来リタル手

紙ニ対シ返事ナケレハ其返事ノ差出方ヲ支店長ニ廻リ又雜  
貨掛へ来リタル手紙対シ返事ナケレハ之ヲ雜貨掛ニ迫ルト  
云フカ如ク通信上ニ付キ

【四回ノ一 24 b】

責任ヲ有スル者ヲ定メ置クノ要ナキカ

◎福井 特ニ掛リヲ置クコトハ六カシカラシ

◎益田 電信掛若クハ書記ヲシテ取扱ハシメハ差支ナシ

◎福井 支店長へ来リタル手紙ヲ等閑ニ付シ置クカ如キ憂ハ  
ナカルヘシ

◎益田 他ニ大注文アルトキハ出張員ヨリ申越シタルセメン  
ト樽ノ如キ小口ノモノハ後廻シトナルハ人情ノ事ナリ然レ  
トモ出張員其人ニ取りテハ鉄道局ノ大入札ヨリモセメント  
樽ノ方大切ノ商売ナリ

◎長谷川 一寸掛リノコトニ関鍵シテ一言スヘシ先刻商品ニ  
ヨリ主部ヲ定ムルトノ説アリタリ而シテ仮リニ特設ノ部ヲ  
設ケサル品物ニ付関東関西ノ二大部二分ケ東部西部主  
部ト云フカ如キ名称ヲ付シ而シテ従来ノ趨勢上東京ヲ東部  
主部大阪ヲ西部

【四回ノ一 25 a】

主部トナスコトアリトセンカ海外出張員并ニ海外支店ニシ

テ何レニ引合可ナルヘキヤ分明ナラサルカ如キモノニ付テ  
ハ右主部へ問合ハセ来ルヘク而シテ東部主部へ問合ハセタ  
ル手紙ノコツピーハ西部主部ニ又西部主部へ問合ハセタル  
手紙ノコツピーハ東部主部へ送り問合ヲ受ケタル主部ニ於  
テ其品物ニヨリ夫々産地附近ノ支店へ注文ヲ発スルコトト  
シテハ如何

◎益田 主部ノ事ハ特別ノ委員ニ於テ協議決定シ更ニ報告ス  
ヘシ而シテ出張員ヨリノ問合ニ対シ各店ニ於テ其軽重ヲ付  
ケ返事ヲ出サ、ルモノ等アリテハ折角出張員ヲ出スモ何ノ  
効能ナキニ終ルヘキヲ以テ此点ハ如何ニ括リヲ為スヘキ  
カ此等モ特別委員ニ於テ研究スルコト、ナスヘシ

◎浅野 若シ長谷川氏ノ説ノ如ク関西主部関東主部ノ二ツニ

【四回ノ一 25b】

分ル、トセハ受渡上ニ混雜ヲ来スヘキヲ以テ是亦混雜ヲ防  
クタメ神戸ヲ関西受渡首部横浜ヲ関東受渡主部トシ受渡上  
間違ノ生セサル様ナサマルベカラス

◎呉 至極御尤ノ御説ト考フ

◎益田 其辺モ凡テ特別委員ニ於テ取調フベシ

【四回ノ一 1a】

第四回ノ二 一月二十一日午後

◎益田 庶務課ニ於テ何カ規則ノ改正等ニ付意見アレハ申述  
フベシ

此問ニ対シ庶務課田中ヨリ別段規則ノ改正ニ付意見ナキモ  
從來使用人入社ノ節写真二十四葉ヲ会社ノ費用ヲ以テ写シ  
取ラシメ之ヲ各店ヘ一葉ツ、配送シ来リタルモ之ハ差迄必  
要ナク且費用モ嵩ムコトユヘ之ヲ改正シ入社ノ節ハ自費ヲ  
以テ写真ニ葉ヲ会社ニ差出シ一葉ハ本店ニ備ヘ一葉ハ本人  
ノ勤務スヘキ支店ニ送り本人転勤ノ場合ニハ原勤務店ヨリ  
転勤先ヘ其写真ヲ送ルコト、セハ可ナラントノ意見ヲ申出  
シタルモ本来此写真制度ヲ設ケラレタルハ同シ物産会社ニ  
在

【四回ノ二 1b】

リナカラ互ニ顔ヲ知ラサル様ニテハ不便ナリトノ主意ニ出  
タルモノナレハ依然從來ノ通各店ニ一葉宛ヲ備付ケ置クコ  
ト、為スヘク又事実之アルトキハ転勤ノ辞令アリタル場合  
ニ如何ナル人カ来ルヘキヤ直ニ之ヲ知り得ヘシトノ呉、長  
谷川、松尾諸氏ノ意見アリ結局写真ハ従前ノ通り二十四葉  
宛ヲ差出サシムルコトニ決シ且三井家御主人方并三井各商  
店重役ノ写真ヲ一葉宛備付クルコトニ庶務課ニ於テ手配ス  
ルニ決セリ

次二田中ヨリ營業税届ノ方針ヲ一定スルコトニ付希望ヲ述

ヘタルモ之ヲ略ス

次ニ上田理事ヨリ各店業務要領ニハ大抵日々ノ出来事ヲ網羅アル故業務要領サヘ見レハ其大体ニ

【四回ノ二 2a】

通スルヲ得ヘキモ而モ重要ナルコトハ手紙ヲ以テ詳細申出アリ度近來手紙ノ書キ方減少シ氣脈ノ疎通ニ於テ遺憾ノ念ナキ能ハス宜シク反省ヲ望ム旨ノ申出アリ

次ニ益田専務理事ヨリ書状ハ可成要点ヲ簡潔明瞭ニ記載スヘク猥リニ冗長ニ涉ルトキハ卒読ニ堪ヘス自然用向ノ弁シ方遅ル、ノ弊アルヲ以テ此点ニ付テモ注意アリタシト述ヘラレ又福井氏ヨリ書状ハ可成一紙ニ認ムルコトニ致シタシトノ希望ヲ述ヘ専務理事ヨリ一件半紙位ニテ可然云々ノ警話モ出テタリ

(以上ハ一々議事ノ筆記ヲ登録スルノ要ナキヲ以テ単ニ要梗ノミヲ撮録ス)

【四回ノ二 2b】

◎益田 曩ニ形式調査委員ヲ設ケ売買、受渡、計算、支払并受取等ニ関スル形式ヲ定メ之ヲ実行セリ其結果事務ノ整頓ヲ致シタルヤ將タ単ニ手数ノ繁雜ヲ致シ贅費ヲ増加シタルニ過キササルヤ現況ヲ承リタシ加之目下參事ニ於テ当会社ニ

於ケル營業取扱手續ヲ編纂スルコトニ相成居リ其内ニ売買約定ヲ締結スルトキハ如何ナル約定書ヲ取替ハスヘキヤ又受渡ハ如何ニスルヤ船積方ハ如何等凡テ会社ニ於テ取扱フ諸般ノ手續ヲ記載スル都合ナリ若シ本書ニシテ編成セラ、トキハ新規ニ会社ニ入社シタルモノモ此書ニ依テ大体ノ取扱手續ヲ知了シ得ヘク大ニ便利ナリ又之ト同時ニ參事ニ於テ商業用語ヲ一定スルノ勞ニ從ヒツ、アリ蓋シ商業用語ノ一定ハ

【四回ノ二 3a】

極メテ困難ナル事業ニシテ現ニ「ビル、オフ、レーデン」テフ文字モ正金銀行ニ於テハ之ヲ船積証書ト訳シ郵船会社ハ引替証書ト訳シ又「オッフアー」ナル文字ハ訳語ヲ付セスシテ普通「オッフアー」ト称シ居レリ乍併訳語ニ二途ニ出ツルハ不都合少ナカラサルノミナラス又到底訳語ナキモノハ兎モ角モ然ラサル以上ハ原文ノ儘ヲ用ユルハ面白カラサレハ參事ニ於テ是等原文ノ訳語ヲ一定シ之ヲ各地方ニ於ケル商業学校ニ採用セシメ漸次其用途ヲ拡充スルトキハ遂ニ商業用語ノ一定ヲナスニ至ルヘシトノ考ヨリ頻リニ其事ニ從ヒツ、アリ故ニ此際形式実行ノ結果如何ヲ知ルハ必要ノ事ニ屬ス

◎福井 東京ニ於テハ最初ハ從來ノ慣習ヲ改メタルコトユヘ

一時

【四回ノ二 3 b】

遣り難カリシモ漸次慣ル、二從ヒ毫モ不便ヲ感セサルノミナラス大ニ便利ヲ得ルニ至レリ就中保管受渡ノ事明カニ区劃立チ何レノ倉庫中ニ仕舞込マレタルモノアリタレトモ昨今ハ斯ル事ナク在庫品ハ夫々人ノ目ニ留リ速ニ処分スルコトヲ得又勘定ノ事モ大ニ都合宜シク金ノ請求並ニ受取方モ延滞セス又当初ハ伝票ヲ使ヒ方不手際ナリシモ此節ハ大ニ之ニ慣熟シ伝票カ物ヲ言フ迄ニ進歩シ形式実行ノ趣旨ハ全然貫徹スルヲ得タリ尚多少改正ヲ加フヘキ箇所アルヘキモ大体ニ於テ結果至極良好ナリ

◎吳 神戸ニ於テハシツピングノ事其重ナルモノニシテ荷物ノ出入頻繁ナルカタメ時ニ荷物ノ行方不明ナルモノヲ生シ大ニ困難スルコトアリ曩ニ郵船会社船ニテ積来リノ米棉九十一俵行

【四回ノ二 4 a】

先不明トナリ郵船会社ノ帳簿ヲ見ルモ亦当社ノ帳簿ヲ調フルモ更ニ相分ラス大ニ困却セリ依テ形式掛ニ交渉シテ取扱手續ニ改良ヲ加ヘ今日ハ何品カ何レニ在リヤ又ハ何品ヲ出庫セリヤ等ノ事常ニ明瞭ヲ致シ且伝票ヲ出スニアラサレハ

倉庫掛ニ於テ荷物ノ出入ヲ肯ンセサルヲ以テ結果寔ニ宜シ尚今後仕事ノ増加スルニ從ヒ時ニ改正ノ必要ヲ感スルナラ

ン夫此本年一月四日主任會議ヲ開キ何人カ見ルモ成程文明のノ取扱ヲ為セリト首肯セシメ得ル様ナサ、ルヘカラストテ小泉吉彦ヲ形式委員長トシ目下改良ノ研究中ナリ又倉庫ハ伊達他人二郎之ヲ担任シ取締ヲ嚴ニシ伝票ナシニハ品物ノ出入ヲ為サ、ルヲ以テ其結果大ニ良好ナルコト右ニ一言シタルカ如ク検査員取調ノ結果モ定メシ大体ニ於テ

【四回ノ二 4 b】

不都合ナカリシモノト信ス此等ノ点ハ多少費用ヲ要スルモ益發達セシメサルヘカラス又当時参事ニ於テ会社ノ營業取扱ノ手續ヲ御編纂中ノ趣キナルカ此事ハ極メテ有益ノ事ト信ス我神戸支店ニ於テモ詰員ノ転動頻繁ナル処ヨリ各掛ノ事務取扱要領ヲ頂戴シ置クノ必要ヲ感シ小泉ヲ委員長トシ各掛ヨリ各其取扱事務ノ要領ヲ書面ニ認メテ差出サシメ之ヲ書類編纂シ一部ヲ重役ニ提出シ一部ヲ支店ニ保存スルノ計画中ナリ

◎福井 營業部ニ於テモ一目シテ用事ノ分り得ル様各掛ノ事務取扱手續書ヲ調製中ナリ

◎益田 夫等ハ何レモ参事ノ編纂材料トシテ提出スヘク印刷方見合ハスヘシ他ニ参事希望ナキカ又用語一定ノ事ハ如何

ナル

進ミニアルヤ

【四回ノ二 5 a】

◎長谷川 伊沢氏之ヲ調製シ余ハ其校閲ヲ引受ケタルモ更ニ進歩セス此度門司詰トナリタルニ付テハ大野氏ニ引継ク考ナリ

◎臼井 昨日来ノ御話合ノ結果トシテ参事ノ職責非常ニ重キヲ加ヘタリ然ルニ参事ハ居ナカラニシテ各店ノ事情ニ通スルコト能ハス去リトテ毎季考課状ノ提出ヲ待チ居リテハ時期ヲ失スヘキニ依リ各店ヨリハウィークリー若クハモンズリーニ其店ノ事情ヲ報告セラル、様致シタシ

◎福井 業務要領日報ニテハ分ラサルヤ

◎大野 業務要領日報ヲ詳シクスレハ格別今日ノ俣ニテハ到底不十分ナリ

◎益田 大阪並本店営業部ヨリ毎週売買約定高ノ報

【四回ノ二 5 b】

告出ツルモ之ハ一応ノ参考タルニ止マリ売買取消ノモノモアルヘク必スシモ此表ニ信ヲ措ク能ハス

◎福井 實際受渡ヲ了リタル高ハ受渡掛ヨリシテ正確ニ報告スルコトヲ得ヘシ

◎上田 臼井氏ノ説ハ調査課ニ関係アリ元方監査方時代ニ於テハ各店ヨリ種々ノ表ヲ取寄セ同方ニ於テ各店ノ形勢并勘定ノコトヲ知り得ルノ仕組ニ相成リ居リタルモ斯クテハ各店ニ於テ種々ノ表ヲ造ラサルヘカラス非常ノ手数ナリトテ調査課ハ自ラ出掛ケテ取調ヲナスノ方法ニ改メタリ其結果各店ハ大ニ手数ヲ省ケタルモ調査課ニ於テハ一向各店ノ状況ヲ詳ニスル能ハサルコト、ナリタリ從テ参事ニ於テ各店業務ノ現況ヲ知ルニ足ルヘキ材料ナキニ苦ムト共ニ調査課ニ於テモ此種ノ

【四回ノ二 6 a】

材料ヲ得ルノ必要ヲ感セサルカ

◎臼井 何レヨリモ発案ナケレハ参事ヨリフオームヲ造リ各支店ヘ廻ハシ其フオームニ依テ報告ヲ受クルコト、ナスヘシ

◎長谷川 各支店ヨリ表ノ提出ヲ求ムルモ至極名案ナレトモ現今我社ノ仕事ハ非常ニ増加シタルニ依リ「アクチーブ」ノ人ヲ一二人造リ恰モ「トラベリング、エゼント」ノ如ク各地ヲ巡回セシムルコト、ナス方可ナルヘシ

◎福井 輸出督励掛アリ之ヲシテ其任ニ当ラシムレハ可ナラシ

◎呉 督励掛カ商売ニ干渉スルコトハ不可ナリ輸出拡張ノコ

トハ何人モ脳裡ニ銘スル処ナレハ督励掛ハ単ニ之ヲ刺激スレハ足レリ

◎益田 奨励掛ハ商売ニ干渉スルニアラス唯小言ヲ云フノミ

【四回ノ二 6b】

而シテ其小言ヲ聞カサレハ重役ニ其旨申出ツレハ重役ヨリ克々命令ヲ下スコト、ナルナリ

參事ニ於テ其時ノ成行ヲ知ルタメニ八日々ニ約定ノ成立チ行ク分ノ報告ヲ取レハ可ナリ而シテ商売ノ結了高ハ毎季ノ考課狀ニ依テ之ヲ知ルコトヲ得ヘシ即チ參事ハ今日大阪并東京營業部ヨリ提出シ居ル約定週報ノ如キモノヲ集ムレハ足ルヲ以テ「フオーム」ヲ作り之ヲ各店ニ送り毎週一回其「フオーム」ニ基キ報告セシムルコト、為スヘシ

◎臼井 「フオーム」ヲ造ルコト、セム尤モ考課狀ハ本店ニ於テ全体ノ分ヲ取纏メタルモノヲ調製シ之ヲ各支店ニ送付シ置クモ各支店ノ考課狀ハ常ニ本店ノ振合通りニ行カサルモノ多シ甚タシキニ至リテハ全ク意味ヲ取違ヘ販売

【四回ノ二 7a】

約定高ト結了高トヲ混淆セルモノアリ斯ル有様ナルヲ以テ仮令「フオーム」ヲ造ルモ尚取扱者ト打合ヲ要スルコトモ生スヘシ

◎淺野 間違アリタルモノニハ符箋ヲ付シテ送り戻シ訂正ヲ為サシムレハ次回ヨリハ「フオーム」通りノモノヲ差出し得ルニ至ラム

◎益田 報告ニ付テハ參事ヨリ送付ノ「フオーム」ニシテ實際ニ適合セスルトキハ之ヲ改メテ可ナリ乍去考課狀ハ必ス本店ノ振合ニ係ルコト、セサルヘカラス

◎臼井 各地出張常置員ニモ各支店同様考課狀ヲ提出セシムルコト、致シタシ桑港ノ如キ考課狀ナキタメ何レヨリ品物來リタルヤ分ラス又売リタル品モ研究不能ニシテ考

【四回ノ二 7b】

課狀編成上甚タ差支ヲ感ス

◎小田柿 委細承知セリ

◎益田 用事ヲナスタメニ常置セラレタル出張員ハ支店同様ニ見做スヘキモノナレハ勿論考課狀等ヲ差出サ、ルヘカラス其責任モ支店長ト同様ナリ

◎小田柿 桑港ニ於テ仕事ヲナスニ方リテモ小田柿一己ノ名義ニテハ取引ヲナスヲ得ス從テ三井、エンド、コー又ハ三井物産会社等ノ名義ヲ用イサルヘカラス向後ハ Mitsui & Co. ナル名称ヲ用ヒ度考ナリ

◎益田 桑港旅順ノ如キハ支店同様ノモノニシテ単ニ一時出張員ノ派出セラレタルトハ異ナリ

◎長谷川 厦門出張員ニ付テモ研究ノ末三井洋行ノ看板ヲ

【四回ノ二 8 a】

掛ケサレハ取引ヲナス能ハサルヲ以テ其看板ヲ掛ケシムルコト、シ而シテ銀行等ニ示ス委任状ニハ余ノ本店ヨリ受ケ居ル委任状中復代理人ヲ選定シ得ルトノ条項ニ基キ同一条項ノ委任ヲ厦門出張員ニ与ヘタリ又サインヲ為スニ付テモ「エゼント」テフ文字ヲ用ユルトキハ恰モ他人カ三井ノ代理店ヲ為シ居ルカノ如キ觀アルヲ以テ矢張「パープロキユレーション」デ「サイン」セシムルコト、セリ

◎松尾 ビクトリアベイニ於テモ商人ニ一等ヨリ五等迄ノ鑑札アレトモ当社カ店ヲ出ストナレハ勢ヒ一等鑑札ヲ受ケ堂々ト看板ヲ掛ケサルヘカラス

◎福井 会社ヲ代表スル人ト代表セサル人トヲ分チ唯ニ前者ノミナラス後者ノ人ヲモ派出シ出張シテ用事ハ弁スルモ独

【四回ノ二 8 b】

立シテ他ト契約ヲナシ若クハ手形等ニサインヲ為シ能ハサルコト、シ以テ容易ニ此種ノ人ヲモ出シ得ルコトニ為サ、ルヘカラス

◎益田 一時出張取調ノ場合ニハ委任状ヲ要セサルモ常置員トシテ取引ニ当ル上ハ相当ノ権限ヲ与ヘサルヘカラス

◎福井 其取引事項ニ対シ時々委任権限ヲ与フルコト、シテハ如何

◎益田 権限ノ範圍ハ別問題トシ苟モ出張員トシテ常置セシムル以上ハ予メ委任権限ヲ附与シ置クニアラサレハ日常ノ用務ヲ弁シ能ハサルベシ

◎福井 向後鎮江九江等諸方ヘ人ヲ派出スルコト、ナレハ單ニ一個ノ通信員ノ如キ名義トシ商売ヲナスノ都度別ニ委任ヲ与フルコト、スル方法モ用ヒサルヘカラス然ラサレハ人ヲ容易ニ

【四回ノ二 9 a】

派出シ得サル結果トナル

◎益田 海外ニ派出スルモノニ三等ノ區別ヲ付スルコトヲ得ヘシ桑港并旅順口大連湾出張員ノ如キハ殆ント支店同様ノモノニシテ第一等ニシテ其次ハ或ル部分ノ商売ヲ為サシムルタメ出張セシメタルモノニシテ其仕事ヲナス丈ノ権限ヲ有ス是レ第二等ナリ又其次キハ純然タル通信員ノ如キモノニシテ第三等ニ位ス

◎福井 漢口出張員ノ地位如何

◎益田 上海ノ出張員ニシテ通信員ノ重キモノナリ即チ棉糸等ノ商売ニ付上海支店ノ委任ヲ受ケ居ルモノナリ

◎福井 常置員ニテモ何等ノ権限ナキモノモ置クコトニ致タ

シ

◎益田 三井ノ出張員トシテ常置シ用事ヲ弁セシムル以上ハ

全ク権限ナキモノトスルヲ得ス

【四回ノ二 9 b】

◎長谷川 常置員ニハ委任状ヲ与ヘサルヘカラス然ラサレハ  
仕事ヲナスヲ得ス

◎益田 芝罘ニ出張セシメ居ル大岡ノ如キハ問屋ヘ出張シテ  
上海支店ヨリノ電信并指図ノ受次ヲナスモノナリ故ニ上海  
支店ヨリ綿糸五百俵何十何両ニテ売却スヘシト申送り大岡  
之ヲ先方問屋ヘ申込ムトキハ上海支店カ申込ヲナシタルト  
同一ノ効力アリ即チ大岡ハ「リミツテッド、パワー」ヲ有  
スル者ナリ

◎福井 外国人ノ遣り方ハ如何

◎益田 品物ニ係リ「リミツテッドパワー」ヲ有シ居ル場合ニ於  
テモ一応本店ヘコンファーマーシヨンを為シタル後約定ヲ  
取結フヲ普通トス然レトモ物産会社ノ出張員トシテ看板ヲ

【四回ノ二 10 a】

掛ケ居ル場合ニ於テハ其人ノ行為ニ付物産会社ハ無責任ヲ  
主張スルコトハ信義上并ニ向後ノ取引關係上到底不能ナル  
ヘシ

次ニ輸出入商売擴張ノタメ工業家ニ資金ヲ貸与スルノ可否  
ニ付議スル処アルヘシ

〱〱〱

輸出入商売擴張ノ目的ヲ以テ工業家ニ資金ヲ貸与シ其事業  
ヲ發達セシムルノ可否

我社取扱ノ商売八年々長足ノ進歩ヲ為シ輸出入共ニ全国  
貿易高ノ要部ヲ占ムルニ到リタルハ誠ニ賀スヘキ事柄ナリ

【四回ノ二 10 b】

尚一層之ヲ伸張セントスルニ方リ或ハ見込アル工業家ニシ  
テ資本欠乏ノモノアリ或ハ小資本家ノ個々経営セル事業ニ  
シテ合同團結ノ上ナラテ<sup>(P. 10)</sup>バ当社ノ信ヲ措キテ取引スルニ足  
ラサルモノアリ是等ノモノニ対シテハ資金ノ幾分ヲ貸与シ  
テ其ノ事業ヲ發達セシムルノ得策ナルモアランカ会社全体  
ノ資本金融通力等ヲ斟酌シテ其可否ヲ審議シタシ

〱〱〱

◎益田 本件ニ付テハ一々仕事ニ付テ諮問セサルモ今後資本  
ヲ貸与シ事業ヲ起サシムル上ニ於テ自カラ結果現ハルヘシ  
而シテ外国品ヲ日本ニ於テ製造シ既ニ輸入ヲ防キタルモ  
ノ、取調ハ井上伯カ經濟会ニ示スタメ調査セラレ居リ又如  
何ナル事業ハ之ヲ起セハ利益アリ会社ヨリ之ニ資本ヲ貸



【四回ノ二 11 a】

渡スモ可ナリヤトノコトハ營業部ニ於テ大分取調ヘタルモノアリ後ニ之ヲ述フルコト、スヘシ

元來物産会社カ人ニ事業ヲ起スコトヲ勸ムルトキハ第一ニ資本ノ補助ヲ得タシトノ申込ヲ受クヘク然ルトキハ寧ロ三井一手ニテ其事業ヲ經營スル方可ナルニアラスヤトノ考モ出ツヘシ乍去物産会社ノ大方針ハ仮令資本ヲ貸渡スモ可成他人ニ其事業ヲ經營為致当社ハ其製造品ノ売捌若クハ原料ノ買入ヲ一手ニ引受クル方利益ナリ何トナレハ若シ一手ニ資本ヲ出シテ其事業ヲ經營スルトキハ其製造品ノ取扱ノミトナリ〔他ノ競争同業者ノ製造品ノ取扱ノミトナリ〕を抹消〕他ノ競争同業者ノ製造品ノ取扱ヲ為シ能ハサルモノ之ニ反シテ可成人ニ事業ヲ起サシメ大キク同業者ノ合同販売ヲ引

【四回ノ二 11 b】

受クルコトニ勉ムル方商売ヲ拡張スル上ニ於テ得策ナレハナリ此方針ニ依リ当社力資金ヲ貸与スヘキ事業如何ヲ調査スルコトハ決シテ無用ノ業ニ非ス而シテ近頃起リタル鉄道関係ノ事業ハ姑ク擱キモスリン製造業毛織物製造業并ニ今後起ルヘキトップ製造業、釘并電気ニ関スル事業ノ如キ蓋シ有望ナルモノナラム電氣器械類ノ取扱ヲ為スニハ芝浦ノ

製作品ノミヲ取扱フヤ又米國ゼネラルエレクトリックコンパニーノ代理店ヲモ引受クルヤ將又芝浦ヲシテゼネラルエレクトリックト組ミ合ハセ当社ニ於テ其製品ノ販売ヲ引受クヘキヤ是等ノ点モ講究ヲ要ス先ツ福井氏ヨリ取調ヲナシタルモノニ付述フル所アルヘシ

◎福井 品物ハ種々アルヘキモ現在物産会社カ取扱ヒ居ル

【四回ノ二 12 a】

品物ニ密接ノ関係アリテ且其業カ後日大ニ發達スヘキモノヲ撰ハサルヘカラス而シテ今日我々カ取扱ヒ居ルモノニテ益盛大トナルヘキ見込アルモノハ毛類関係ノ仕事ナリ之ハ向後益々發達セシメ当社ニ於テ其全權ヲ握ルコトニ致度其為メ后藤毛織物製造株式会社ヲ助ケ大ニ其業務ノ拡張ヲ計ラシメタルコトハ既往ニ於テ諸員ノ熟知セラル、所ナリ茲ニ尚一ツ新規ニ起シ度ト考フルハ羊毛ヲ梳クトップヲ造ル事業ナリトップハ羊毛ノ半製品ニシテ之ヨリ直チニ毛糸ヲ紡キ得ルモノナルカ日本ニ於テハ未タ之ヲ製造セス尤モ二ヶ所ニ於テ少々ハ製造セラル、モ規模小ニシテ独立營業ニアラス即チ王子ノ製絨会社ニ於テトップヲ製造スルモ自家ニ於テ使用スルモノ、一部ヲ充タスニ過キス又千住製絨所ニ於テモ僅少額ヲ

【四回ノ二 12 b】

製造スルモ是亦同所ノ需用スラ充タスニ足ラス元來我國へハ一ヶ年間ニ羊毛類參百万円ノ輸入アルモ原毛ヲ支那濠州印度等ヨリ輸入スルモノ少ク多クハトツプニテ欧州ヨリ輸入ヲ仰ク有様ナリ故ニ内地ニ於テトツプノ製造業ヲ起スコトハ極メテ有望ナルノミナラス此製造業ヲ間接ニ当社ノ手ニ握ルコトハ毛織物并ニ原毛ノ商売上勲ナカラサル便益ヲ得ルヲ以テ余ハ三井家ニ於テ十分此事業ニ着手セラル、ノ価値アリト信ス尚本事業ニ関シテハ聊カ取調ヲナシタル所アリ且予算モ出来シ居ル故何レ近日有力者ヲ集メ下相談ヲ始ムル考ニテ熱心ナル賛成者アルヘキ見込ナレハ必ス其成立ヲ見ルヘキコト、考フ現ニ独乙人ニテトツプ製造器械ヲ二十ヶ年位低利ニテ貸渡シ原料ヲ自カラ供給スルノ条件ニテ

【四回ノ二 13 a】

本事業ノ成立ヲ計ラシメント計画シツ、アル趣ナレハ旁此際当社ニ於テカヲ添へ先鞭ヲ着クルコトニ致シタキモノナリ  
次ニ紙ノコトニ付テハ先日輸出商品ノ処ニ於テ詳述シタルカ夫ノ爾來大ニ輸出ノ見込アルコッピ紙ノ如キハ第一ニ製造家ヲ糾合シテ堅固ノ団体ヲ形造ラシメサルヘカラス而

シテ製造家ニ資金ヲ貸与スルカ又ハ団体ニ製品ヲ抵当トシテ貸金ヲ為ス等ノ方法ニ依リ以テ其業務ノ發達ヲ助成セサルヘカラス又先日藤野氏ヨリ述ヘタル足利ノ縮ハ嘗テ外国へ少ナカラサル輸出アリタルモ近年大ニ減少ノ傾アリ蓋シ資本少ク国家ノ為メヲ思フ暇ナク唯其時限リ金ニナルモノヲ造ルタメ粗製濫造ニ流レ声價ヲ落シ輸出減少ノ結果ヲ來シタルナリ故ニ小製造家ヲ合同セシメ其組合ニ資金ヲ貸与ス

【四回ノ二 13 b】

ルカ若クハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ助成セサルヘカラス又砂糖ノ精製業モ今後益發展スベシ從來物産会社ハ精糖会社ニ対シ資金ヲ貸与セサルモ原料売込方ニ付金融ノ便ヲ与へ或ハ約束手形ヲ受取り或ハ現品ヲ預リ置キ現金引替ニ一部分宛ノ引渡ヲ為ス等ノ方法ニ依リ製精糖会社ニ対シ二十五万円ノ信用ヲ与へ居レリ斯ノ如クニシテ砂糖ノ商売ヲ当社ノ手ニ握リ他人ハ到底手出シヲ為スコト能ハサル有様ヲ呈シ当社砂糖商売益隆盛ヲ致スト共ニ製精糖会社モ安心シテ安直ニ原料ヲ買入ル、コトヲ得社運益發達セリ今後毛精糖事業ニ対シテハ出来得ル丈ノカヲ添へ責メテハ香港ヨリ輸入スル精糖ヲ防遏致度キモノナリ

【四回ノ一 14 a】

又電気ニ関スル仕事モ必スシモ物産会社ニハ限ラサルモ三井家ノ内ニテ手ヲ付ケ日本ノ需用ヲ充タスコト、セサルヘカラス之ニ付テハ資金ヲ要スルコトモ大ナルヘク又急速ノコトニハ參ラサルヘキモ營業部ニ於テハ常ニ此点ニ注意シ居リ何時カハ此商売ヲ手ニ入ル、コトニ致度考ナリ又少シク岐路ニ入ルモ米國ニハ大電気工業会社三個アリ一ハゼネラルエレクトリックコンパニーニシテ又一ハウエスチングハウスナリ後者ハ已ニ高田商会ト組合ヒ居ルヲ以テ当社ハ前者ヲ手ニ入レサルヘカラス此事モ考ノ内ニ置クヘク又電氣ノ器械ハ日本ニ於テ製造セサレハ割高ニ当ルモノモアルヲ以テ此点モ取調ヘ置カサルヘカラス

又石炭ノ商売ヲ盛ニスルタメ運搬ノ道ヲ付クルコトニ助力セサルヘカラス現ニ目下磐城ノ某坑主ヨリ運搬費割高ニ当ルニ

【四回ノ一 14 b】

依リ或地方ヘ小港ヲ築クカ又ハ水戸ヘ鉄道ヲ敷設シ度資金ノ貸与ハ出来サルヤトノ相談アリ如此モ我社石炭商売ノ擴張ヲ計ルタメニハ助勢ヲ必要トス此他種々ノ資金を注入スヘキ事業アルヘシ之ヲ要スルニ当社力取扱ヒツ、アル仕事ニシテ後日見込アルモノヲ取調ヘ其事業カ人ノ手ニテ成立

兼居ル場合ニハ会社ヨリ直接資金ヲ貸与スルカ若クハ又間

◎長谷川

会社ノ商品ヲ擴張スルタメニハ工業家ニ資金ヲ貸与シ其事業ノ成立ヲ計ラシムルコトモ必要ナレトモ尚一步ヲ進メ外国輸入品ニ對抗スヘキ毛織物類ノ製造綿織子并ニ毛織子ノ織立金巾ノ製織等ヲ盛ニシ内地ノ需要ヲ充タシ外国品ノ輸入ヲ防クト共ニ朝鮮并支那

【四回ノ一 15 a】

地方ヘモ供給スルノ段階トシテ倫敦支店ニ尽力ヲナサシメ同地ノ器械製造家ヲシテ器械ヲ日本ニ持来ラシメ且幾分ノ資本ヲモ出サシメ右等ノ事業ヲ經營スルカ又ハ三井ニテ其組合ニ加盟スルコト差支ユルナレハ他人ヲシテ組合ハシメ物産会社之ヲ監督スルカ如キ仕組トナスコトモ必要ナルヘシト考フ現ニ村井兄弟商会ニ於テハ米國煙草会社ト組合ヒ外資輸入ノ端緒ヲ開キタリ余カ先年倫敦ニ在ルノ日マンチエスターノ製造家等ニ此事ヲ談シタルニ若シ三井カ此事ニ從フナレハ器械モ持ち行クヘク又工場モ建ツルコトトスルモ可ナリトマテ云ヒタルモノ兩三軒アリタリ今日ハ時機モ大ニ熟シタル故倫敦支店ニ於テ尽力セシメハ案外容易ニ目的ヲ達シ得ルナラント考フ

【四回ノ二 15 b】

◎益田 夫等ノコトモ努メサルヘカラス併シ器械ヲ持チ来リ日本人ト組合ヒテ製造業ニ従事スルカ如キハ中々行ハレサルヘシ何トナレハ日本人ハ中々ノ働キ手ニシテ器械ヲ持チ来リ共同營業ヲ為スモ數年ヲ出スシテ其事業ヲ日本ノ手中ニ奪ハル、ノ恐レアルヲ以テ容易ニ此相談ニ応スルノ外人ナカルヘシ村井ト米國燐寸会社トノ組合ハ純粹ノ商売ナリシユヘ合同スルヲ得タルモノナルヘシ

福井氏ノ述ヘタル如ク会社カ資本ヲ貸渡シ商売ヲ取ルコトハ先方ノ人次第ナリ即其事業ノ確實ナルヲ要スルハ勿論堅忍不拔能ク其事業ヲ仕遂クルカ如キ人物ヲ見込ミテ貸渡スコト、セサルヘカラズ斯ル人ナレハ必スヤ成功スヘシ例ヘハ渋沢氏ノ古河、浅野両氏ニ於ケルガ如シ

【四回ノ二 16 a】

又当社カ后藤ニ助力シ又精製糖会社ニ助勢シツ、アルカ如キハ必竟後藤及精製糖会社ノ鈴木氏ヲ見込ミタルニ依ルモノニテ必竟其成效ヲ見ルヘキヲ信ス

◎寺島 モスリン会社ハトップヲ造ルコトハ断念シタルヤ

◎福井 差当り望ミナシ

◎寺島 日本ノ織物ニ使用スル上等ノ毛糸ヲ造ルコトモ必要ナルヘシ

◎福井 毛糸ハ需用多カラズ故ニ着目スヘキ程ノ価値ナシ即チ需用高ハ百五六拾万円ニ止リ内百万円程ハ日本ニ於テ造ラレツ、アリ

◎長谷川 輸出奨励ノコトハ上下拏テ熱中セル所ナルモ我國ニ於テハ未タ輸出スヘキ品物甚タ少ナシ爾後大ニ其發達ヲ

【四回ノ二 16 b】

図ルヘキハ勿論ナルモ亦一方ニ於テ内地ニテ製造シ得ヘキ物品ハ可成其製造ヲ盛ニシ以テ外国品ヲ市場ヨリ驅逐セサルヘカラス左ニ参考ノタメ輸入外国品ニ対抗スル内地産品ノ一二ヲ述フベシ

一、羅紗 二十八年後ニ於ケル羅紗ノ輸入高ハ如左(万位ニ止ム)

二十八年 二十九年

三、一一〇、〇〇〇円 四、一一〇、〇〇〇円

三十年 三十二年

二、三三〇、〇〇〇円 三、二四〇、〇〇〇円

三十一年度ニ於ケル内地ノ産出高ハ如左

千住製造所 一、二〇〇、〇〇〇円

後藤毛布織物会社 六〇〇、〇〇〇円

王子製造所 五〇〇、〇〇〇円

合計 二、三〇〇、〇〇〇円

向後製造高ヲ増加スルトキハ自然外国品ノ輸入ヲ減スヘシ

二、毛布 ノ輸入高ハ如左

【四回ノ二 17 a】

二十八年 二十九

一、五六九、〇〇〇円 一、九四〇、〇〇〇

三十年 三十一年

六二七、〇〇〇円 五一九、〇〇〇円

三十一年度ニ於ケル内地生産高ハ如左

日本毛布株式会社(東京) 二〇〇、〇〇〇円

大阪毛布株式会社 一八〇、〇〇〇

其他 一〇〇、〇〇〇

合計 四八〇、〇〇〇

大阪毛布会社ハ大ニ其製造力ヲ増加シタレハ昨年度ニアリ

テハ合計九拾万円位ニ上リタルナラム

三、モスリン ノ輸入高ハ如左

二十八年

【四回ノ二 17 b】

二十九

三、六三〇、〇〇〇円

六、四九〇、〇〇〇

三十年

三十一年

三、八三〇、〇〇〇

四、四〇〇、〇〇〇

三十一年度ニ於ケル内地産出額ハ如左

東京モスリン紡織株式会社 一、八〇〇、〇〇〇円

大阪モスリン紡織株式会社 六〇〇、〇〇〇

合計 二、四〇〇、〇〇〇

四、フランネル ノ輸入高ハ如左

二十八年 二十九

九六〇、〇〇〇円 一、九九〇、〇〇〇

三十年 三十一年

一、一八〇、〇〇〇 一、三六〇、〇〇〇

三十一年度ニ於ケル内地産出額ハ大阪毛糸製造株式会社ニ

於テ製造スルモノ式拾三万円位ノミニニ過キス

五、帽子 ノ輸入高ハ如左

二十八年 二十九

八二、〇〇〇円 二七七、〇〇〇

三十年 三十一年

二六八、〇〇〇 二四七、〇〇〇

三十一年度ニ於ケル内地生産額ハ如左

東京帽子会社 二〇〇、〇〇〇円

帝国帽子会社 一二〇、〇〇〇

明治製帽会社 一〇〇、〇〇〇

【四回ノ二 18 a】

大阪浜谷 一〇〇、〇〇〇

其他 七五、〇〇〇

合計 五九五、〇〇〇

六、印刷用紙 ノ輸入高ハ如左

二十八年

三〇七、〇〇〇円

三十年

八五六、〇〇〇

二十九年

七二三、〇〇〇

三十一年

二、二八二、〇〇〇

【四回ノ二 18 b】

三十年度ニ於ケル内地生産高ハ如左

王子製紙会社 八六一、〇〇〇円

有恒舎 七二、〇〇〇

神戸 五一八、〇〇〇

四日市 五〇四、〇〇〇

富士製紙会社 九二八、〇〇〇

千寿製紙会社 五四二、〇〇〇

大阪下柳 六二、〇〇〇

大阪安部 一、〇〇八、〇〇〇

京都磯野 二五二、〇〇〇

東肥 五〇〇、〇〇〇 (昨三十一年火災アリ工場一部分焼失セリ従テ其産額減少セシナラム)

大阪真島 五〇四、〇〇〇

合計 五、七五一、〇〇〇

印刷用紙ハ如此製出盛ナルヲ以テ二十八年以降如左海外ニ輸出シ居レリ

二十八年

四〇、〇〇〇円

二十九年

五四、〇〇〇

三十年

六七、〇〇〇

【四回ノ二 19 a】

◎福井 毛糸ハ大阪毛糸会社ニ於テ製造スル式拾參万円ノ外

後藤ニテ製造スルモノ尚式拾万円余アリ合計四十万円以上

トナル

◎益田 愛知県下ニ於テモ毛織物若クハ精糖ノ会社等起ラサルヤ

ルヤ

◎寺島 精糖会社ノコトハ当時伊藤伝七氏取調中ナリ又亀崎

紡績設立見合ニ付其資金ヲ以テ人造肥料会社ヲ設置セント

スルノ目論見アリ此他一ノ宮附近ニ毛糸紡績会社

【四回ノ二 19 b】

ヲ起サントノ相談モアリタリ

◎益田 各支店ニ於テ豊田織機ノ販売ヲ助勢スルコト、ナリ

タルニ付テハ一応同機械ニ関スル大要ノコトヲ寺島氏ヨリ

陳ヘラルヘシ

◎寺島

近來女工ノ払底ヲ來シ賃銀騰貴シタル結果手織事業ハ漸ク器械織布ニ移ラントスルノ傾向ヲ生シ愛知県ニ於テハ其氣運殊ニ盛ナリ即チ龜崎ニ於テ粗末ナル木製器械百台ヲ据付ケ蒸氣機関ヲ以テ之カ運転ヲ試ミタルモ構造不完全ナリシカ為メ蹉跌ヲ來シタルヲ初メトシ岡崎龜崎辺ニ於テ続々織機ノ發明セラル、モノアリ中ニハ其原料ヲ鉄ニ取ルモノモアリテ無慮數十個ノ織機カ諸方ニ於テ發明セラレタリ豊田織機モ即チ其一ニシテ大体ノ構造ハ他ノ織機ト異

【四回ノ二 20 a】

ナラサルモ杼カ右ニテモ左ニテモ止マルコトガ同織機ノ特色トシテ専売ト相成リ居ル点ナリ外國製ノ織機ハ単ニ左右何レカ一方ニ於テ止ルノミ聞ク処ニ依レハ近頃又々日本ニ於テ杼カ何レノ処ニ於テモ止ルモノカ發明セラレントシツ、アリト云フ蓋シ杼カ右若クハ左ニ於テ止ルトキハ反物ニ不同ヲ生スルモ之ニ反シテ何レノ処ニ於テモ止ルトキハ糸ノ切レタル際直チニ其所ニ於テ糸ヲ接続シ得ルヲ以テ反物ニ「ムラ」ヲ生スルコトナク此点ニ於テ豊田織機ハ未タ完全無欠ノモノト云ヒ得サルモ兎ニ角右ニテモ左ニテモ止ルコトハ其ノ一特色ナリ

豊田織機ハ一人ニテ四台迄ヲ受持チ得既ニ実行シツ、アルハ一人ニテ三台ヲ受持チ一日十二時間ノ操業ニテ三反半ヲ

織立ツルコトヲ得ヘシ而シテ最初ハ一尺巾ノモノヲ製造シタルモ之ハ単ニ

【四回ノ二 20 b】

内地向ニ止マリ清國輸出向ノ棉布ヲ織ルニハ適當セス從テ一尺一寸巾ノモノヲ織立テ得ル器械ヲ作りタリ當時続々注文アルモ何レモ一尺一寸巾物ナリ而シテ此程更ニ二尺巾ヲ織リ得ルモノヲ造リ之ヲ試験シタルニ其結果可也良好ナリ即チ初メハ二十手ト三十手ノ糸ニテ織リタルニ結果宜シク依テ次キニハ三十八手ト四十手ヲ用ヒ又且下縦三十八手横四十二手ヲ以テ試ミ中ナリ右ハ概シテ其結果良好ナレトモ唯一ノ欠点ハ巾広物ハ器械之狂ヒアルカ為メカ布目歪ニナルノ嫌アリ此点改良中ナリ又巾広物ハ織上ケノ上一度ロールニ掛ケサルヘカラズ然ルニ之カ設備ナキ為メ仏作りテ魂ヲ入レサルノ姿ナレハ是亦完備ヲ要ス

【四回ノ二 21 a】

豊田機械ハ可成二十台若クハ五十台位ノ口ニ売込ミ度百台二百台ト纏マリタル台数ヲ据付ケシムルコトハ一考ヲ要ス何トナレハ機械其モノハ可也ノモノナレトモ前後ノ設備未タ完全セサルヲ以テ大数ヲ据付クルモ之カ始末方困難ナレハナリ現ニ今日ハ糊付器械ノ設備ナキ為メ糊ヲ手ニテコネ

一反宛塗ルト云フカ如キ有様ナリ又機ニ掛ケル前糸ヲ揃ヘル器械ノ如キモ旧式ノモノニ抛リツ、アル現況ナレハ是等モ改良ヲ要ス余モ最初ハ五百台若クハ八百台ノ大高ヲ売却スル考ニテ三重紡績分工場等へ相談シタルモ何分前二述フルカ如ク糊付器械等完備セサルカ為メ中間ノ織機丈ハ安値ナルモ前後ノ器械ハ鉄製ノ外国品等ヲ買入レサルヘカラス甚タ不釣合ノ次第ニテ斯ル大口物ハ引合ヲ見合ハセタリ要スルニ今日ノ処ニテ八十台二十台位ヲ据付ケ水車又ハ石油機関ヲ応用シテ織立ヲ為

【四回ノ二 21 b】

ス位カ丁度相当ナレハ余リ多数ヲ勸メ大仕掛ニ取掛カラシムルトキハ後ニテ困難ヲ引起シ当社迄モ迷惑スルコトナシトセス故ニ大高ヲ据付シムルコトハ熟考ヲ要ス

今日ハ製造方ヲ名古屋車輛会社ニ託シ一ヶ月五百台宛ヲ造ルノ約束ナルモ其運ニ至ラス十二月二ハ五十台一月二ハ二百台ヲ造り得ヘキ予定ナリ然ルニ注文ハ非常ニ多ク名古屋ノミニテモ既ニ注文台数七百五十二上リ其後続々申込アルモ出来期限不明ナルヲ以テ仮相談ニ止ムル位ナリ此他大阪九州地方ヨリモ注文アリ中々ノ盛況ナリ而シテ織機ノ売込ニ伴フテ石油発動機関等ノ売行モ之アルヘキ見込ナルヲ以テ大阪支店へ協議ノ上四馬力乃至七馬力位ノモノヲ取寄セ

置クコト、セリ

◎益田 豊田織機ハ今日我国ノ手織業進歩ノ一段階トシテ

【四回ノ二 22 a】

將タ今日ノ織<sup>（イマ）</sup>長短定マリナキ綿糸ヲ以テ織立ヲ為スニハ適當ノ器械ト思料シタルヲ以テ当社其一手販売ヲ引受ケンカト考ヘタレトモ当社ニ於テハプラット社ノ織機ノ代理店ヲモ引受ケ居リ而シテ同社トノ約定ニ依レハ織機ノ望ムアレハ先以テプラット社ノ織機ヲ勸メサルヘカラス斯クシテ注文主カ尚ホ特ニ某々ノ織機ヲ買取り呉レヘシトノ注文ヲ為ス場合ニハ其織機ノ買付方ヲ取計ヒテ差支ナキコトニ相成リ居ルヲ以テ全上織機ノ一手販売ハ松本服部両名ヲシテ之ヲ引受ケシメ而シテ当社ハ豊田織機ノ買付ヲ申込ム者アレハ其取扱ヲ為ステフ手續ニ取極メタリ就テハ各支店ニ於テハ当社カ一手販売ヲ引受ケ居ルト同様十分注文引受ニ勉メラルヘク是實ニ我社ノ利益ニ止マラス我木綿織物業上ノ進歩ヲ來

【四回ノ二 22 b】

スコト、ナルヘキナリ

◎浅野 三池支店ニ於テハ折角久留米熊本地方等ヲ勧誘シテ注文ヲ引受ケタリ現今ハ差向キ堅縞ヲ織ル都合ナルモ行ク



〳〵白木綿ヲ織ルコト、ナルヘシ行見込ハ如何アルヘキヤ海外ノ模様ハ時々本店棉布首部ヨリ報告ヲ得タシ

◎**福井** 時々報告スヘシ尚名古屋ニテ試ミタル二尺巾ノ木綿カ立派ニ織立出来タル趣キナレハ天竺木綿ハ該織機ニ依リ容易ニ織成セラルヘク而シテ本品ハ支那地方ニ無限ノ需用アルヲ以テ売約ニハ困難ナカルヘシ

◎**寺島** 豊田織機ニテ天竺木綿ヲ織ルコトハ困難ニアラサルモ織立ノ上ロールニ掛ケサレハ輸出品ニ適セス故ニロール器械モ

【四回ノ二 23 a】

織機ト共ニ販売スルコト、為サ、ルヘカラス

◎**福井** 豊田織機ニ依リテ織立テタル木綿ノ内、内地向ノモノハ相当利益アルモ輸出向一尺一寸巾以上ノモノハ勘定余リ面白カラス就テハ此上共十分研究ノ上若シ利益アル勘定トナレハ三井家ニ於テ工場ヲ起シ輸出向綿布ヲ織立ツルカ若クハ又製織品ヲ上直ニ買入ル、ノ約ヲ以テ他人ヲシテ工場ヲ起サシムルカ何レカノ方法ヲ執ラサルヘカラス此等ノコトハ尚ホ飯田寺島両氏ト協議スルコト、スヘシ

◎**浅野** 豊田織機ノ販売方ニ付一考ヲ要スル事ハ此織機ハ極メテ簡單ナルモノニシテ必竟手工ヨリ器械工業ニ移ル一階段トモ見ルヘキモノナレハ他日大仕掛ノ織布業起ルノ日ハ

豊田織機ハ顧ミラレサルコト、ナルヘキヤモ未タ知ルヘカラス故ニ今日ヨリシテ

其改良方ヲ工夫シ以テ工業界進歩ニ伴随セシムル様心掛クルコト必要ナルヘシ

【四回ノ二 23 b】

◎**福井** 良キ發明アレハ其専売ヲ讓受クルコトアルヘク又外國ノ良法ヲ模擬スルコトモアルヘク十分改良ヲ加フル管ナリ現ニ此度仏國大博覧會開設ニ付テハ「ノースロップ」其他新發明ノ織布機械カ種々出陳セラレ居ルヘケレハ見物旁渡仏致度旨豊田ニ於テ申居ル位ナリ

又今日我國ノ綿系ハ良好ノ機械ヲ以テ織成スルニ適セサルノミナラス支那ニ於テ細系ニテ織リタル綿布ヨリモ日本ノ太糸ニテ織リタル綿布ノ方需用多シ又器械精良ナレハ其原価高キタメ利息ニ逐ハレ該機械ニテ織成シタル綿布ハ到底勞銀ノ低廉ナル支那ヘハ売込ミ能ハサル結果トナルヘシ

【第四回了】

